



平成 26 年度 後期
学生による授業評価(アンケート調査)
集計結果

日本赤十字看護大学 看護学部

平成26年度 後期 授業評価実施科目

No.	科目 コード	講義名称	担当教員	履修登 録者数	評価用紙 種類	配当 学年	学期	必修選 択の別
—	講義全体集計平均							
1	1B0201	生命倫理	榊原 哲也	83	講義	2・編3	後期	必修
2	1B0202	生命倫理	榊原 哲也	82	講義	3・編4	後期	必修
3	1B0400	心理学Ⅱ	遠藤 公久	36	講義	2	後期	選択
4	1B0403	心理学Ⅱ	遠藤 公久	11	講義	編3	後期	選択
5	1B0600	現代教育論	山崎 裕二	14	講義	1	後期	選択
6	1B0700	身体運動論Ⅰ（理論）	梅澤 佳子	97	講義	1	後期	選択
7	1B0900	生活環境論	岡本 菜穂子	154	講義	2・編3	後期	必修
8	1C0200	社会学Ⅱ	三橋 弘次	64	講義	2・編3	後期	選択
9	1C0401	家族社会学	三具 淳子	12	講義	2	後期	選択
10	1C0402	家族社会学	三具 淳子	16	講義	2	後期	選択
11	1C0500	世界の文化と宗教	佐藤 眞	16	講義	2	後期	選択
12	1C0600	国際関係論	小池 政行	76	講義	1・編3	後期	選択
13	1C0700	日本国憲法	吉田 直正	115	講義	1	後期	選択
14	1C0800	医療と文化	井上 陽介	38	講義	2	後期	選択
15	1D0200	数学Ⅱ	二宮 真理子	10	講義	1	後期	選択
16	1D0400	生物学Ⅱ	熊澤 武志	34	講義	1	後期	選択
17	1D0600	化学Ⅱ	小林 孝彰	19	講義	1	後期	選択
18	1E0100	情報学概論	逸見 功, 高田早苗	119	講義	1	後期	選択
19	1E0201	情報科学	逸見 功	15	講義	2	後期	選択
20	1E0202	情報科学	逸見 功	14	講義	2	後期	選択
21	1F0301	英語R 1－2	川崎 修一	37	講義	1	後期	必修
22	1F0302	英語R 1－2	佐藤 眞	34	講義	1	後期	必修
23	1F0303	英語R 1－2	川崎 修一	36	講義	1	後期	必修
24	1F0304	英語R 1－2	佐藤 眞	35	講義	1	後期	必修
25	1F0501	英語W 1－2	遠藤 花子	27	講義	1	後期	選択
26	1F0502	英語W 1－2	Brennen L.Terrill	30	講義	1	後期	選択
27	1F0503	英語W 1－2	遠藤 花子	30	講義	1	後期	選択
28	1F0504	英語W 1－2	Brennen L.Terrill	32	講義	1	後期	選択
29	1F0701	英語L S 1－2	Benjamin Tutcher	27	講義	1	後期	選択
30	1F0702	英語L S 1－2	Tony Dani	23	講義	1	後期	選択
31	1F0703	英語L S 1－2	Brennen L.Terrill	15	講義	1	後期	選択
32	1F0704	英語L S 1－2	Benjamin Tutcher	23	講義	1	後期	選択
33	1F0705	英語L S 1－2	Tony Dani	21	講義	1	後期	選択
34	1F0706	英語L S 1－2	Brennen L.Terrill	23	講義	1	後期	選択
35	1F0901	英語R 2－2	富田 佳子	44	講義	2・編3	後期	必修
36	1F0902	英語R 2－2	皆川 健次郎	40	講義	2・編3	後期	必修
37	1F0903	英語R 2－2	富田 佳子	33	講義	2	後期	必修
38	1F0904	英語R 2－2	皆川 健次郎	39	講義	2	後期	必修
39	1F1100	英語W 2－2	佐藤 眞	32	講義	2	後期	選択
40	1F1103	英語W 2－2	佐藤 眞	11	講義	編3	後期	選択
41	1F1300	英語L S 2－2	川崎 修一	3	講義	2	後期	選択
42	1F1500	英語文献を読むⅡ	川崎 修一	10	講義	3	後期	選択
43	1F1701	中国語Ⅱ	王 英輝	23	講義	1	後期	選択
44	1F1702	中国語Ⅱ	王 英輝	11	講義	1	後期	選択
45	1F1901	フランス語Ⅱ	坂原 眞里	8	講義	1	後期	選択
46	1F1902	フランス語Ⅱ	坂原 眞里	8	講義	1	後期	選択

平成26年度 後期 授業評価実施科目

No.	科目 コード	講義名称	担当教員	履修登 録者数	評価用紙 種類	配当 学年	学期	必修選 択の別
47	1G0201	基礎ゼミⅡ	遠藤 公久	15	講義	1	後期	必修
48	1G0202	基礎ゼミⅡ	川崎 修一	8	講義	1	後期	必修
49	1G0204	基礎ゼミⅡ	佐藤 眞	12	講義	1	後期	必修
50	1G0205	基礎ゼミⅡ	佐藤 裕子	14	講義	1	後期	必修
51	1G0206	基礎ゼミⅡ	東浦 洋	9	講義	1	後期	必修
52	1G0207	基礎ゼミⅡ	逸見 功	6	講義	1	後期	必修
53	1G0208	基礎ゼミⅡ	山崎 裕二	12	講義	1	後期	必修
54	1G0209	基礎ゼミⅡ	越後 敬子	9	講義	1	後期	必修
55	1G0210	基礎ゼミⅡ	國頭 英夫	13	講義	1	後期	必修
56	1G0211	基礎ゼミⅡ	小林 孝彰	12	講義	1	後期	必修
57	1G0212	基礎ゼミⅡ	井上 陽介	11	講義	1	後期	必修
58	1G0213	基礎ゼミⅡ	吉田 健一	13	講義	1	後期	必修
59	1G0214	基礎ゼミⅡ	吉田 直正	7	講義	1	後期	必修
60	1G0230	基礎ゼミⅡ	山崎 裕二	11	講義	編3	後期	必修
61	1H0400	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	佐藤 裕子	142	講義	1	後期	必修
62	1H0500	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	佐藤 裕子	142	講義	1	後期	必修
63	1H0600	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	佐藤 裕子	142	講義	1	後期	必修
64	1H0700	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	鈴木 憲史	142	講義	1	後期	必修
65	1H1000	薬理学	吉見 猛, 井上直路	136	講義	3	後期	選択
66	1H1200	遺伝と遺伝カウンセリング	守田美奈子, 笠井靖代	148	講義	3・編3	後期	選択
67	1H1300	栄養学	保瀬 由江	137	講義	3	後期	必修
68	1I0400	看護の歴史	川原 由佳里	6	講義	3	後期	選択
69	1L0101	精神保健看護学Ⅰ	武井麻子, 小宮敬子, 鷹野朋美, 堀井湖浪	73	講義	2	後期	必修
70	1L0102	精神保健看護学Ⅰ	武井麻子, 小宮敬子, 鷹野朋美, 堀井湖浪	83	講義	2・編3	後期	必修
71	1M0300	発達看護学Ⅰ①	谷津裕子, 佐々木美喜, 山本由香	144	講義	2	後期	必修
72	1M0501	発達看護学Ⅱ①	江本リナ, 川名るり	72	講義	2	後期	必修
73	1M0502	発達看護学Ⅱ①	江本リナ, 川名るり	73	講義	2	後期	必修
74	1M0700	発達看護学Ⅲ①	坂口千鶴, 清田明美, 江見香月, 比留間絵美	145	講義	2	後期	必修
75	100100	地域看護学	福井小紀子, 乙黒千鶴	155	講義	2・編3	後期	必修
76	100200	公衆衛生看護活動論	澤井美奈子, 乙黒千鶴	78	講義	3・編3	後期	選択
77	100400	疫学	逸見 功	61	講義	2・編3	後期	選択
78	1P0100	看護管理学Ⅰ	安部陽子, 鶴田恵子	148	講義	3・編3	後期	必修
79	1P0300	看護教育学Ⅰ	佐々木幾美, 西田朋子	148	講義	3・編3	後期	必修
80	1R0200	国際看護学Ⅱ	岡本 菜穂子	15	講義	3	後期	選択
81	1R0401	災害看護論Ⅰ	小原真理子, 亀井 縁, 槇島敏治	72	講義	1	後期	必修
82	1R0402	災害看護論Ⅰ	小原真理子, 亀井 縁, 槇島敏治	81	講義	1	後期	必修
83	H10200	看護学概論Ⅱ	高田早苗, 守田美奈子	150	講義	4・編4	後期	必修
84	O10900	地域看護学概論Ⅱ	岡本有子, 福井小紀子	5	講義	4	後期	選択
85	1A0300	赤十字国際活動論演習	東浦 洋	14	講義	3	前期	選択
—	演習全体集計平均							
86	1J0201	看護技術論Ⅱ①	樋口佳栄, 田中孝美, 吉田みづ子, 殿城友紀, 安島幹子	72	演習	1	後期	必修
87	1J0202	看護技術論Ⅱ①	樋口佳栄, 田中孝美, 吉田みづ子, 殿城友紀, 安島幹子	69	演習	1	後期	必修
88	1J0501	看護技術論Ⅲ②	樋口佳栄, 吉田みづ子, 殿城友紀, 田中孝美, 川原由佳里, 源川奈央子, 安島幹子	72	演習	1	後期	必修

平成26年度 後期 授業評価実施科目

No.	科目 コード	講義名称	担当教員	履修登 録者数	評価用紙 種類	配当 学年	学期	必修選 択の別
89	1J0502	看護技術論Ⅲ②	樋口佳栄, 吉田みつ子, 殿城友紀, 田中孝美, 川原由佳里, 源川奈央子, 安島幹子	69	演習	1	後期	必修
90	1N0501	健康レベル別看護学演習Ⅰ	下村裕子, 丹羽淳子, 和田美也子, 住谷ゆか り, 山本伊都子, 梅田亜矢, 餘目千史, 川上明 希	72	演習	2	後期	必修
91	1N0502	健康レベル別看護学演習Ⅰ	下村裕子, 丹羽淳子, 和田美也子, 住谷ゆか り, 山本伊都子, 梅田亜矢, 餘目千史, 川上明 希	74	演習	2	後期	必修
92	1R0700	災害看護活動論Ⅱ	小原真理子, 亀井 縁, 安島幹子	28	演習	2	後期	選択
93	1T0201	研究方法論Ⅱ	谷津裕子, 遠藤公久, 坂口千鶴, 川名る, り安 部陽子, 山崎裕二, 岡本菜穂子, 齋藤英子, 藤 田淳子, 堀井湖浪	67	演習	3	後期	必修
94	1T0202	研究方法論Ⅱ	谷津裕子, 遠藤公久, 坂口千鶴, 川名る, り安 部陽子, 山崎裕二, 岡本菜穂子, 齋藤英子, 藤 田淳子, 堀井湖浪	79	演習	3・編3	後期	必修
—	実習							
95	1S0100	看護援助論実習Ⅰ（レベルⅠ）	守田美奈子, 他	142	実習	1	後期	必修

(授業コード) ()	(担当教員名)	(科目名)
-----------------------------------	---------	-------

授 業 に 関 す る 調 査

この評価票は、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に活かされます。記入にあたっては、授業全体を視野に入れた上で、責任ある評価が求められています。あなたの真摯なご協力をお願いします。なお、この評価票の記載内容や提出の有無があなたの成績に影響することは一切ありません。

以下のそれぞれの項目について、右のような5段階評価に従って、最も適切な番号に○を付けてください。この授業に該当しない場合、あるいは不明の場合には、空欄のままにしてください。

強く
そう思う
 5
 4
 3
 2
 1
 全く
そう
は
思
わ
な
い
 5
 4
 3
 2
 1

①授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	4	3	2	1
②授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	4	3	2	1
③教員の話し方（声量、スピード、マイクの使い方など）は適切だった。	5	4	3	2	1
④授業の内容はわかりやすかった。	5	4	3	2	1
⑤授業の内容は興味のあるものだった。	5	4	3	2	1
⑥この授業は自分にとって価値があった。	5	4	3	2	1
⑦授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5	4	3	2	1
⑧シラバス（または講義予定表）に沿った授業が行われていた。	5	4	3	2	1
⑨授業の進行速度は適切だった。	5	4	3	2	1
⑩教員の熱意が伝わってきた。	5	4	3	2	1
⑪教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5	4	3	2	1
⑫教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5	4	3	2	1
⑬私の授業への出席率は（5は9割以上、4は8～7割程度、3は6～5割程度、2は4割程度、1は3割以下）だった。	5	4	3	2	1
⑭私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	4	3	2	1
⑮私は授業の学びやすい環境作り（私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等）に協力した。	5	4	3	2	1

自由記入欄にもご記入下さい

①この授業でよかったこと。

②この授業で改善してほしいこと。

③その他の意見・感想（今回の授業評価に関する意見・感想もあわせてお願いします）。

(授業コード) ()	(担当教員名)	(科目名)
----------------	---------	-------

授 業 (演 習) に 関 する 調 査

この評価票は、授業改善を目的として実施するものです。あなたの意見は今後の授業改善に活かされます。記入にあたっては、授業全体を視野に入れた上で、責任ある評価が求められています。あなたの真摯なご協力をお願いします。なお、この評価票の記載内容や提出の有無があなたの成績に影響することは一切ありません。

以下のそれぞれの項目について、右のような5段階評価に従って、最も適切な番号に○を付けてください。この授業に該当しない場合、あるいは不明の場合には、空欄のままにしてください。

強く
そう思う
 5
4
3
2
1

①演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	4	3	2	1
②演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5	4	3	2	1
③教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5	4	3	2	1
④技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5	4	3	2	1
⑤演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感ずることができた。	5	4	3	2	1
⑥実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5	4	3	2	1
⑦学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5	4	3	2	1
⑧演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	5	4	3	2	1
⑨演習の時間配分は適切だった。	5	4	3	2	1
⑩教員の熱意が伝わってきた。	5	4	3	2	1
⑪教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	5	4	3	2	1
⑫教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5	4	3	2	1
⑬私は事前学習をして演習に臨んだ。	5	4	3	2	1
⑭私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	5	4	3	2	1
⑮私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	5	4	3	2	1

自由記入欄にもご記入下さい

①この授業でよかったこと。

②この授業で改善してほしいこと。

③その他の意見・感想（今回の授業評価に関する意見・感想もあわせてお願いします）。

実習指導アンケート

科目名 :

グループ番号 :

(アンケート用のグループ番号を記入して下さい。)

	強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない
1 教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5	4	3	2	1
2 教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	5	4	3	2	1
3 教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5	4	3	2	1
4 教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5	4	3	2	1
5 教員は、相談しやすい雰囲気があった。	5	4	3	2	1
6 教員と実習指導者の連携がとれていた。	5	4	3	2	1
7 実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	5	4	3	2	1
8 実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	5	4	3	2	1
9 実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	5	4	3	2	1
10 実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあたっていた。	5	4	3	2	1
11 実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	5	4	3	2	1
12 学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	5	4	3	2	1
13 学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	5	4	3	2	1
14 学生は、実習目標に到達できるように努力した。	5	4	3	2	1

自由記載

良かったことや改善してほしいことなどについて、具体的に記載してください。

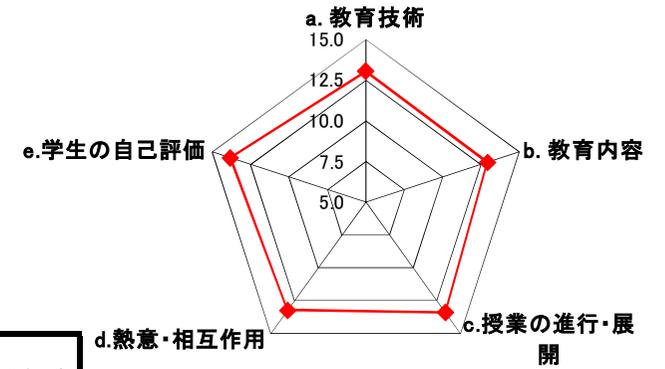
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	4,344	回収数	3,173	回収率	73.0%
------	-------	-----	-------	-----	-------

[00]

科目:
担当者:

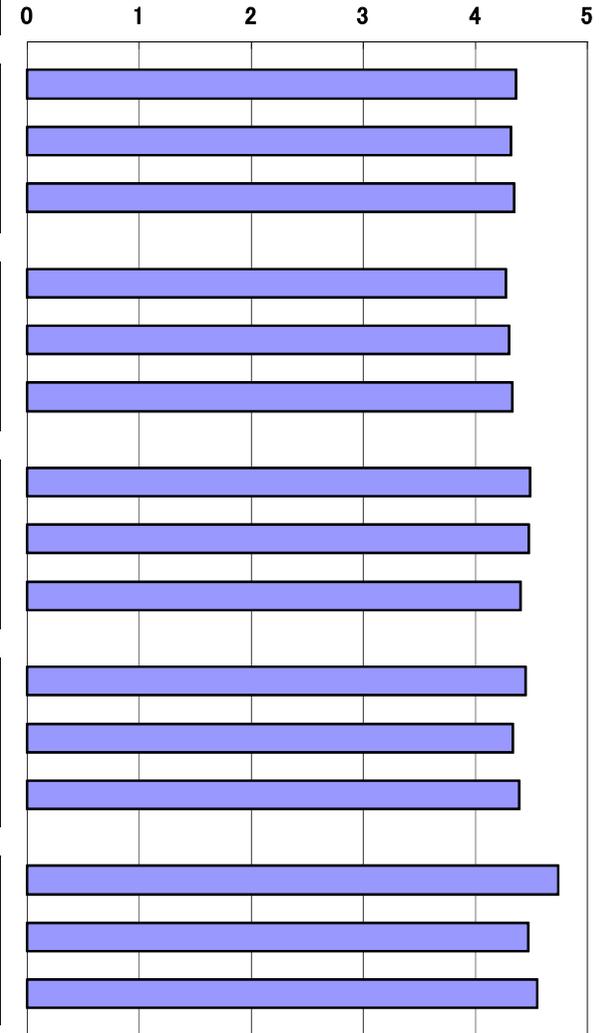
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,168	13.05	2.35	3,168	13.05	2.35
b. 教育内容	3,166	12.93	2.50	3,166	12.93	2.50
c. 授業の進行・展開	3,167	13.40	2.11	3,167	13.40	2.11
d. 熱意・相互作用	3,154	13.22	2.27	3,154	13.22	2.27
e. 学生の自己評価	3,159	13.83	1.62	3,159	13.83	1.62



N=3319

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		5点	4点	3点	2点	1点	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	1693	1061	326	75	16	2	4.37	0.81
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	1670	1000	390	89	22	2	4.32	0.85
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1742	951	357	97	23	3	4.35	0.86
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	1640	966	412	119	32	4	4.28	0.91
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	1669	980	382	105	35	2	4.30	0.89
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	1713	979	354	89	35	3	4.34	0.87
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	1953	907	253	46	12	2	4.49	0.74
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1922	936	264	33	13	5	4.48	0.75
⑨	授業の進行速度は適切だった。	1828	923	330	66	23	3	4.40	0.82
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	1898	905	310	39	18	3	4.46	0.78
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	1735	923	399	91	23	2	4.34	0.86
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1849	884	341	68	15	16	4.40	0.86
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	2509	560	85	5	2	12	4.74	0.58
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1928	912	282	29	10	12	4.48	0.77
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	2076	840	227	14	3	13	4.55	0.71

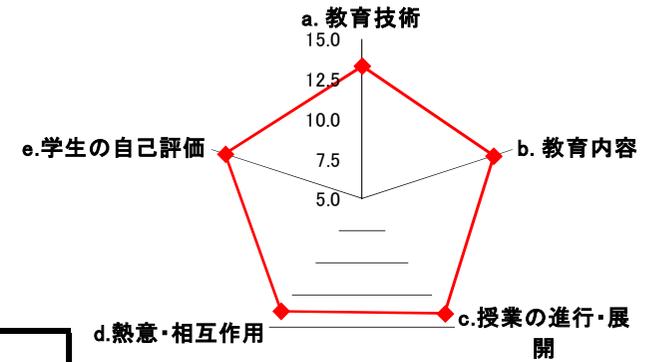


授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	83	回収数	47	回収率	56.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:生命倫理
担当者:
榊原 哲也

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	13.34	1.86
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	13.74	1.76
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.89	1.60
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	13.72	1.58
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.11	1.37

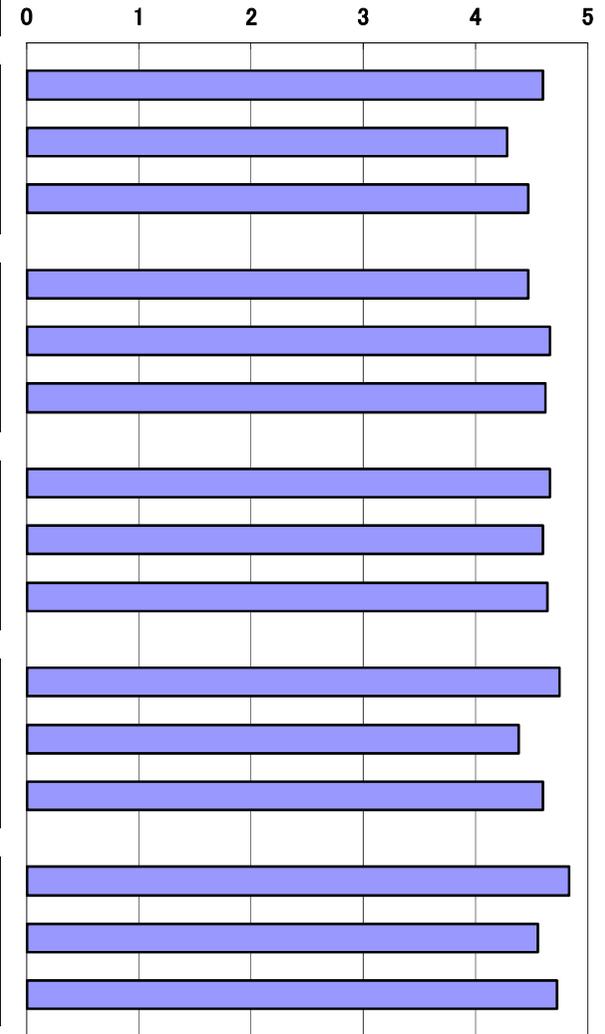


[00]

N=72

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	33	10	3	1	0	0	4.60	0.70
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	23	15	8	1	0	0	4.28	0.82
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	27	15	5	0	0	0	4.47	0.68
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	29	12	5	1	0	0	4.47	0.77
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	33	12	2	0	0	0	4.66	0.56
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	34	8	5	0	0	0	4.62	0.67
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	33	12	2	0	0	0	4.66	0.56
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	30	15	2	0	0	0	4.60	0.57
⑨	授業の進行速度は適切だった。	32	13	2	0	0	0	4.64	0.56
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	38	6	3	0	0	0	4.74	0.56
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	24	18	4	1	0	0	4.38	0.73
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	30	15	2	0	0	0	4.60	0.57
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	41	4	2	0	0	0	4.83	0.48
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	30	13	4	0	0	0	4.55	0.65
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	37	7	3	0	0	0	4.72	0.57



科目コード	1B0201	科目名	生命倫理	担当教員名	榑原哲也
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

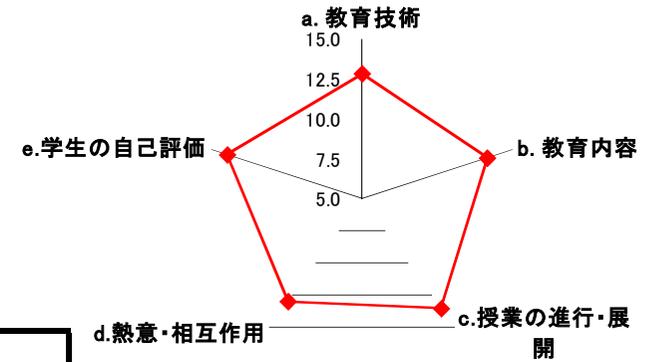
アンケートの結果を参考にして、より実り豊かな授業になるよう努めたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	82	回収数	47	回収率	57.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:生命倫理
担当者:
榊原 哲也

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	12.85	2.85
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	13.34	2.58
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.49	2.37
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	12.98	2.65
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.98	1.85

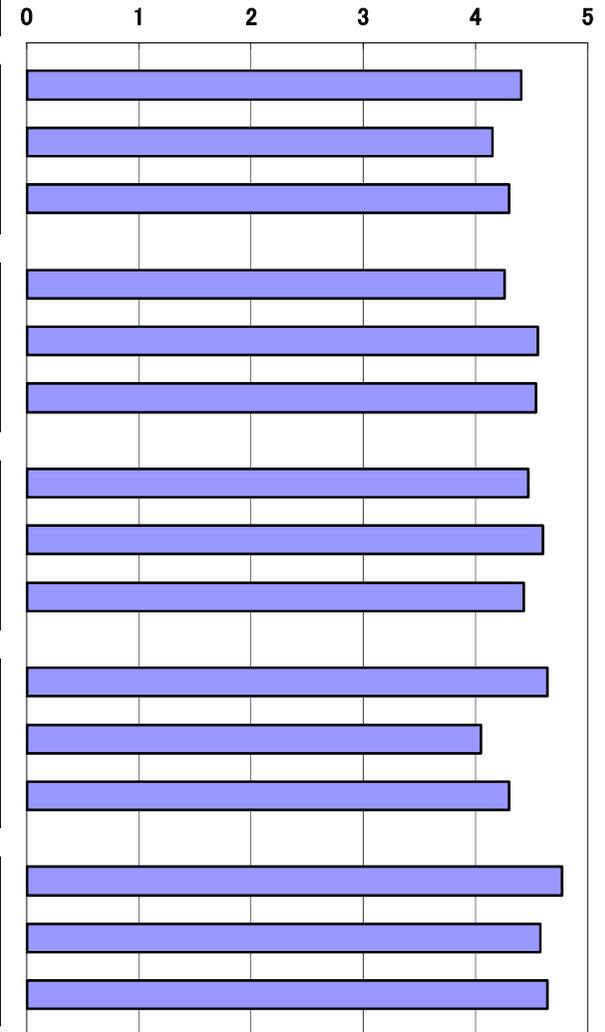


[00]

N=76

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	29	11	5	1	1	0	4.40	0.91
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	27	5	11	3	1	0	4.15	1.11
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	28	10	5	3	1	0	4.30	1.03
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	27	10	6	3	1	0	4.26	1.04
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	32	12	1	1	1	0	4.55	0.82
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	32	11	2	1	1	0	4.53	0.85
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	31	11	2	2	1	0	4.47	0.92
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	32	12	2	1	0	0	4.60	0.67
⑨	授業の進行速度は適切だった。	31	10	2	3	1	0	4.43	0.98
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	34	10	2	1	0	0	4.64	0.67
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25	8	7	5	2	0	4.04	1.22
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	28	9	7	2	1	0	4.30	1.01
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	38	8	0	1	0	0	4.77	0.55
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	33	10	2	2	0	0	4.57	0.76
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	35	9	1	2	0	0	4.64	0.73



科目コード	1B0202	科目名	生命倫理	担当教員名	榑原哲也
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

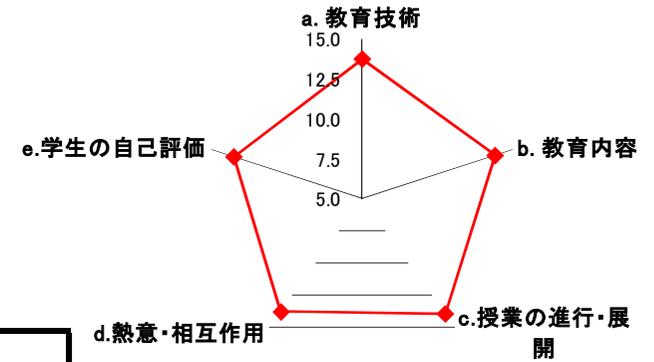
アンケートの結果を参考にして、今後とも、より実り豊かな授業になるよう努めたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	36	回収数	31	回収率	86.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:心理学Ⅱ
 担当者:
 遠藤 公久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	31	13.77	1.45
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	31	13.84	1.61
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	30	13.93	1.50
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	31	13.74	1.68
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	30	13.53	1.65

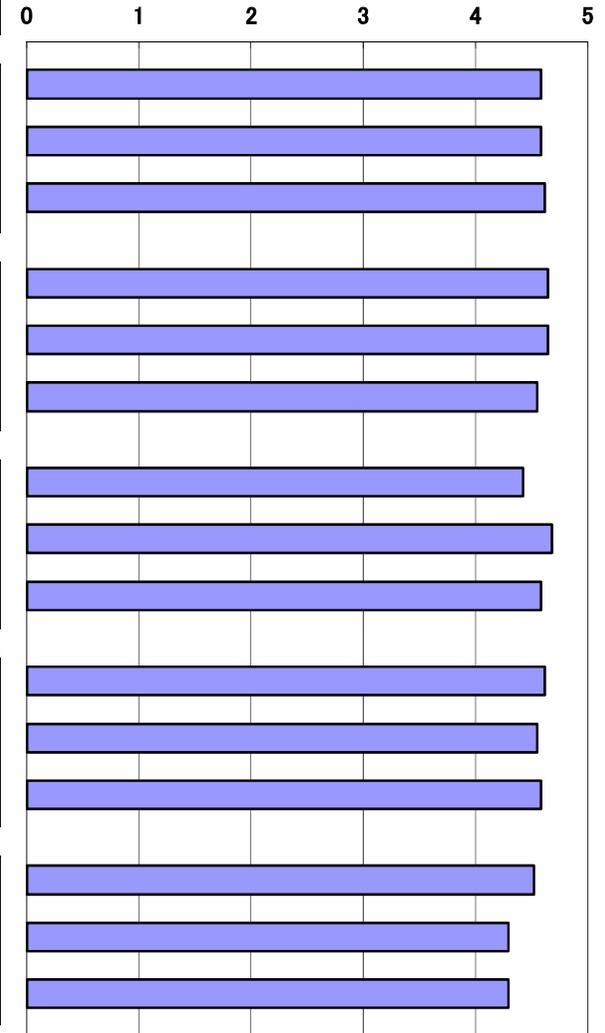


[00]

N=31

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	13	0	0	0	0	4.58	0.49
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	18	13	0	0	0	0	4.58	0.49
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19	12	0	0	0	0	4.61	0.49
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	20	11	0	0	0	0	4.65	0.48
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	20	11	0	0	0	0	4.65	0.48
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	20	10	0	0	1	0	4.55	0.80
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	10	0	1	0	1	4.42	1.04
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21	10	0	0	0	0	4.68	0.47
⑨	授業の進行速度は適切だった。	20	10	0	1	0	0	4.58	0.66
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	20	10	1	0	0	0	4.61	0.55
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19	11	0	1	0	0	4.55	0.66
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	19	11	1	0	0	0	4.58	0.55
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	20	10	0	0	0	1	4.52	0.95
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	12	1	1	0	1	4.29	1.05
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	16	12	1	1	0	1	4.29	1.05



科目コード	1B0400	科目名	心理学Ⅱ	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

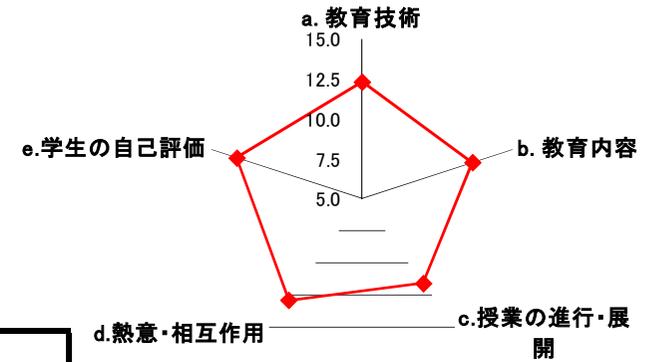
授業で改善してほしいというメッセージはありませんでした。概ね授業評価は良好でしたし、学生の自己評価も高かったようです。ただ、授業の面白さに差があったようで、一人から「楽しいときとつまらないときの差が激しい」という感想がありました。どのようにつまらないのかももう少し具体的に書いていただくと、私の勉強になるかと思いました。いずれにせ、来年に向けて常に楽しい授業になるように心がけつつ、履修学生とコミュニケーションをとっていきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	11	回収数	9	回収率	81.8%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:心理学Ⅱ
 担当者:
 遠藤 公久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	12.33	1.56
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	12.33	1.76
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	11.56	1.83
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	9	12.89	1.29
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	13.33	1.63

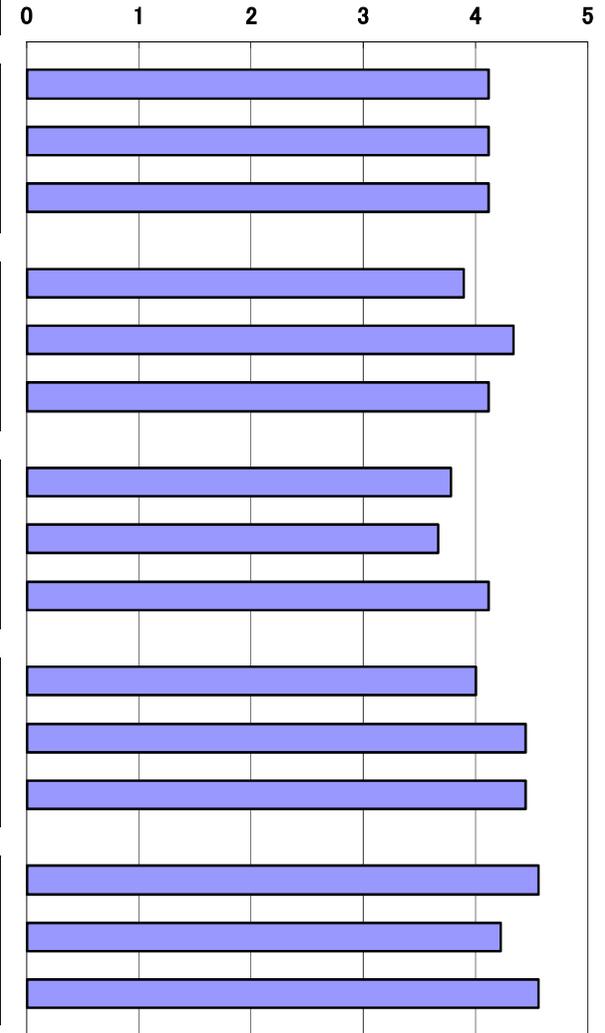


[00]

N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	2	6	1	0	0	0	4.11	0.57
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	2	6	1	0	0	0	4.11	0.57
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2	6	1	0	0	0	4.11	0.57
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	2	4	3	0	0	0	3.89	0.74
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4	4	1	0	0	0	4.33	0.67
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	2	6	1	0	0	0	4.11	0.57
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	1	5	3	0	0	0	3.78	0.63
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1	5	2	1	0	0	3.67	0.82
⑨	授業の進行速度は適切だった。	2	6	1	0	0	0	4.11	0.57
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	1	7	1	0	0	0	4.00	0.47
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	6	2	1	0	0	0	4.56	0.68
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3	5	1	0	0	0	4.22	0.63
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50



科目コード	1B0403	科目名	心理学Ⅱ（編入）	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	----------	-------	------

<教員からのコメント>

「授業内容が身近に感じられる話題ばかりで毎回楽しく授業を受けることができた」「生活や仕事のなかで当たり前であると思っていることや気持ちが心理を通して理解できてよかった」などの授業内容を評価してくれて人たちがありがとうございました。また、「少人数であったので、質問やディスカッションもできてよかった」という編入クラスならではのメリットがあったかと思います。その一方で、改善点としては、もっと臨床的、応用的な視点が欲しかったようでもあります。理論的な研究の紹介ばかりではなく、実践的、具体的なことが知りたいということでした。そのことについて、私なりに実践的な具体的な研究などを紹介していきたいと思います。また、内容的に難しかったというコメントもありました。心理テストやグループワークのような形式を取り入れたらどうかとの助言もいただきました。検討してみたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	14	回収数	14	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:現代教育論

担当者:

山崎 裕二

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	14	14.64	0.89
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	14	14.79	0.77
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	14	14.64	0.89
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	14	14.71	0.80
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	14	14.79	0.77

N=14

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12	2	0	0	0	0	4.86	0.35
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	12	2	0	0	0	0	4.86	0.35
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26

c. 授業の進行・展開

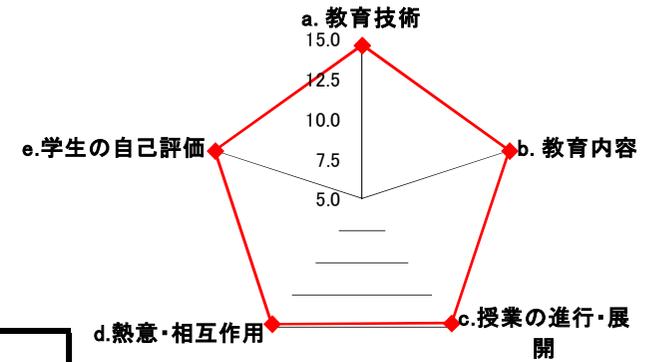
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12	2	0	0	0	0	4.86	0.35
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	12	2	0	0	0	0	4.86	0.35

d. 熱意・相互作用

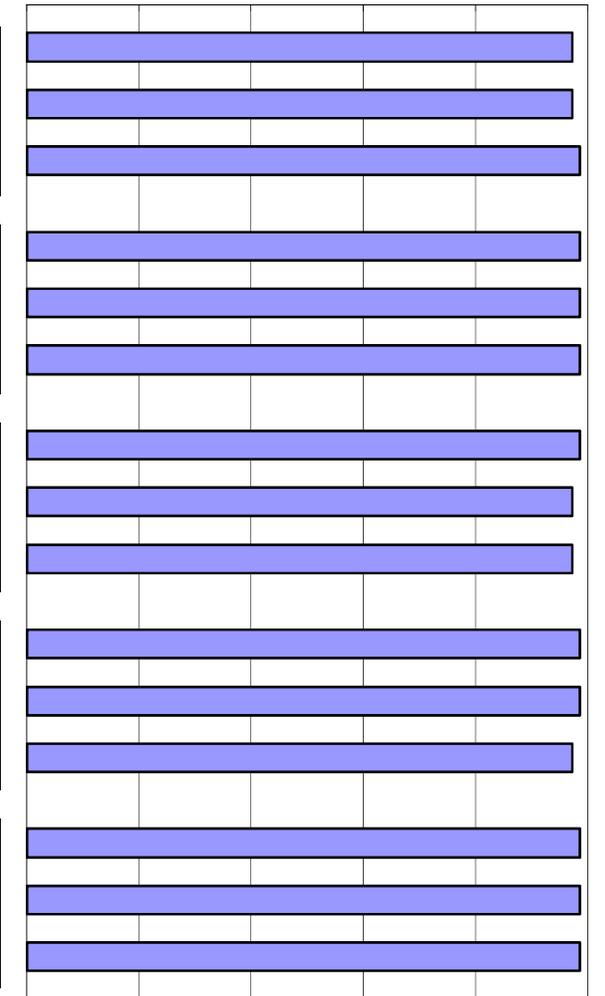
⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12	2	0	0	0	0	4.86	0.35

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	13	1	0	0	0	0	4.93	0.26



0 1 2 3 4 5



[00]

科目コード	1B0600	科目名	現代教育論	担当教員名	山崎 裕二
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

- ・教員の説明を聞くだけの授業と異なり、討論中心の授業に対する満足度が高いことが今年度も確認できました。
- ・ほとんど学生が自分とは違う発想や思考をする「他者」の存在に気づくことができていたと思います。
- ・「授業回数をへらしてほしい」との要望がありましたが、1週間に2日連続で授業があった時のことでしょうか。時間割編成の制約があると思いますが、なるべく連続しないように教務にお願いしてみます。

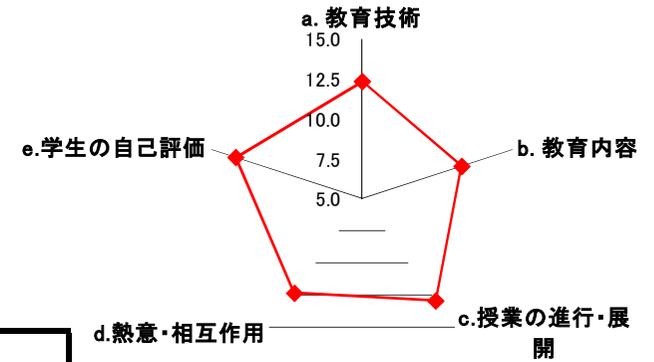
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	97	回収数	47	回収率	48.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:身体運動論 I (理論)

担当者:
梅澤 佳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	46	12.37	2.87
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	46	11.61	3.35
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	45	12.91	2.15
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	45	12.31	2.58
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	46	13.41	1.86

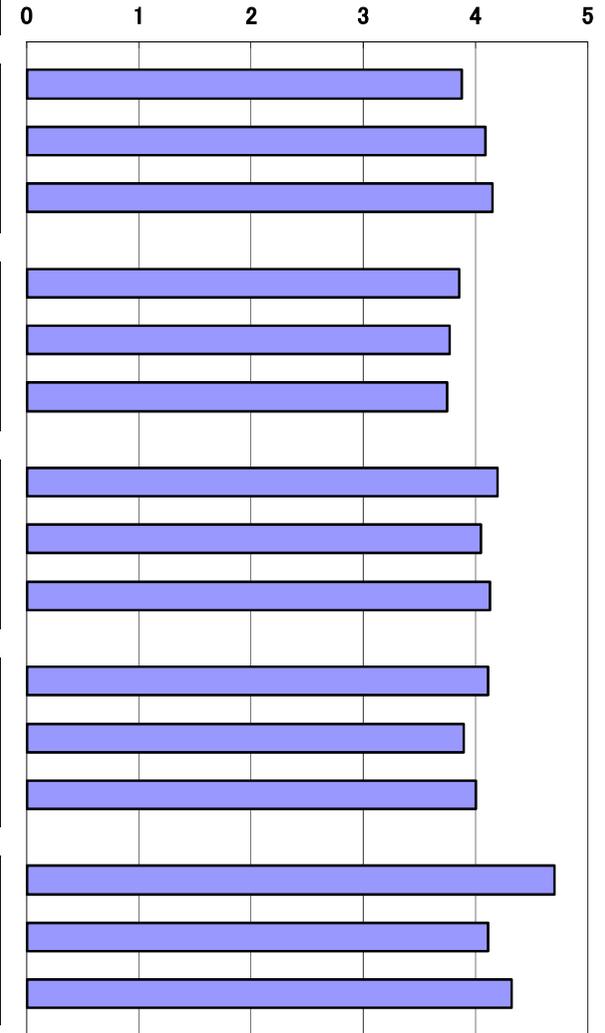


[00]

N=96

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	20	12	7	6	1	1	3.87	1.27
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	23	12	7	4	0	1	4.09	1.15
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	24	13	6	2	1	1	4.15	1.15
51.1		27.7	12.8	4.3	2.1	2.1			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	20	10	10	5	1	1	3.85	1.25
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	19	10	9	7	1	1	3.77	1.29
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	18	10	12	4	2	1	3.74	1.28
38.3		21.3	25.5	8.5	4.3	2.1			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	23	16	6	0	0	2	4.19	1.12
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21	14	9	1	0	2	4.04	1.18
⑨	授業の進行速度は適切だった。	23	14	7	1	0	2	4.13	1.18
48.9		29.8	14.9	2.1	0.0	4.3			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	23	12	10	0	0	2	4.11	1.17
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	21	7	14	4	0	1	3.89	1.19
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	22	8	14	2	0	1	4.00	1.13
46.8		17.0	29.8	4.3	0.0	2.1			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	39	5	2	0	0	1	4.70	0.85
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24	10	9	3	0	1	4.11	1.13
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	27	12	6	1	0	1	4.32	1.01
57.4		25.5	12.8	2.1	0.0	2.1			



科目コード	1B0700	科目名	身体運動論 I (理論)	担当教員名	梅澤 佳子
-------	--------	-----	--------------	-------	-------

<教員からのコメント>

履修者数97名、授業評価回収率99.0%という高い数値に、講義担当者として心より感謝申し上げます。

「自由記載」は、37件頂戴いたしました。その内訳は、肯定的なコメントが16件、改善すべき点に関するコメントが17件、「教室が暑い」、「先生があまり好きでない」等の教員として改善が難しいコメントが4件です。肯定的な評価コメントについては、励みにして次年度さらに良いものにしていきたいと考えております。

[教員が改善すべきコメントについての回答]

1. 「講義で使用したパワーポイントをすべて欲しい」というコメントが多数ありました。配布資料については、昨年度の課題であったことから、今年度はその反省を踏まえて改善しました。但し、私の方針として、講義で使用したパワーポイントは配布せず、配布資料を別に作成しています。理由は、講義中にメモをとり、資料を完成させることも重要であると考えているからです。スライドは、授業内で紹介している参考文献、インターネットで入手可能です。この点については、授業中、メモを取るよう何度かお願いしておりますが、より詳細に説明するようにします。講義後の復習を含め、主体的に学んでもらいたいと思っています。また、省資源を目的に配布資料の枚数は極力減らすようにしています。

2. 「医療関係者に歴史や文化、社会の知識は、必要ない。」というコメントも複数ありました。科学的知は勿論重要ですが、歴史、文化、社会的側面からのもの見方・考え方が不要であるとは思いません。むしろ人間としてバランスのとれた視点、視野の広さが重要であると考えております。「身体運動論」という名称と講義内容の整合性については、第1講、第2講で丁寧に説明しておりますが、学生の皆さんに伝わるよう次回な改善してまいります。

3. 「何を伝えたいのかわからない」「要点をまとめてほしい」というコメントも複数いただきました。毎回、講義のはじめに講義のテーマを説明し、講義の終わりにまとめておりますが、気をつけます。

4. 「参加型の授業にしてほしい」というコメントについて。8回という講義回数、100名弱の受講者という条件で多少無理がありますが、来年度の履修状況によっては、アクティブラーニングの導入を検討します。因みに以前担当した4年生対象の講義(当時の名称は「ボディワーク」)では、受講者数が少なかったためアクティブラーニングを導入しておりました。以上です。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	154	回収数	47	回収率	30.5%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:生活環境論

担当者:

岡本 菜穂子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	13.60	1.85
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	13.62	1.82
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.94	1.62
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	13.87	1.68
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.00	1.58

[00]

N=126

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	28	15	4	0	0	0	4.51	0.65
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	29	15	3	0	0	0	4.55	0.61
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	30	12	5	0	0	0	4.53	0.68

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	31	14	2	0	0	0	4.62	0.57
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	28	15	4	0	0	0	4.51	0.65
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	28	14	5	0	0	0	4.49	0.68

c. 授業の進行・展開

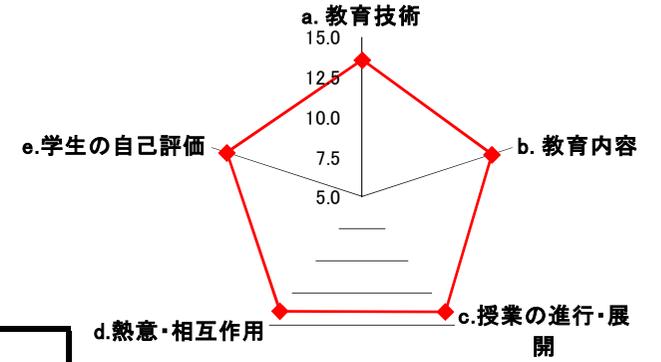
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	33	12	2	0	0	0	4.66	0.56
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	32	14	1	0	0	0	4.66	0.52
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60

d. 熱意・相互作用

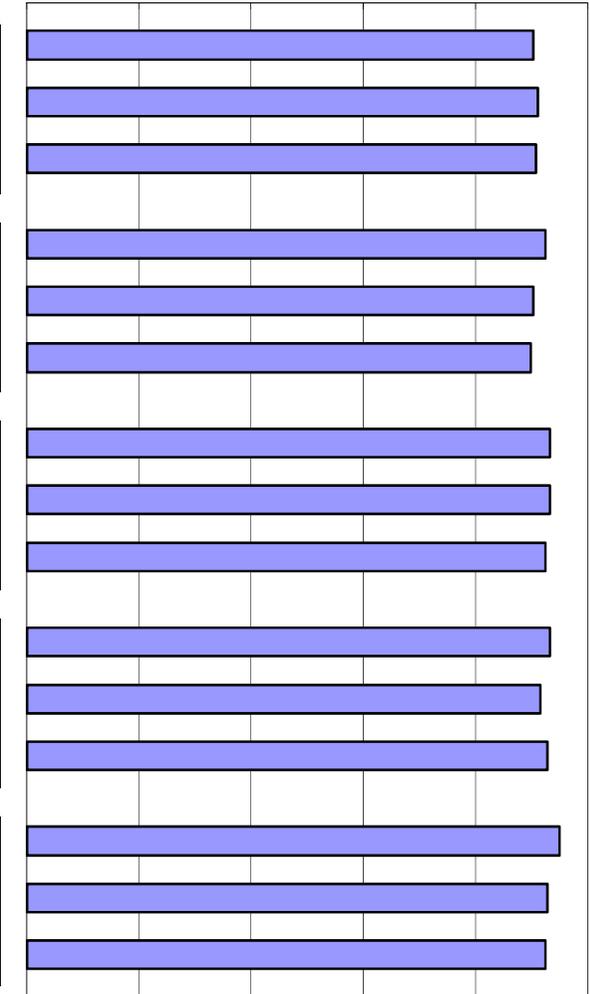
⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	32	14	1	0	0	0	4.66	0.52
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	32	10	5	0	0	0	4.57	0.68
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	33	11	3	0	0	0	4.64	0.60

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	38	6	3	0	0	0	4.74	0.56
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	33	11	3	0	0	0	4.64	0.60
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60



0 1 2 3 4 5



科目コード	1B0900	科目名	生活環境論	担当教員名	岡本菜穂子
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

授業に主体的に積極的に参加をしてくださりありがとうございました。皆さんがより参加ができる授業になるようさらに工夫と改善をしていきたいと思ひます。授業中の私語については、極力注意をしていくように努めたいと思ひます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

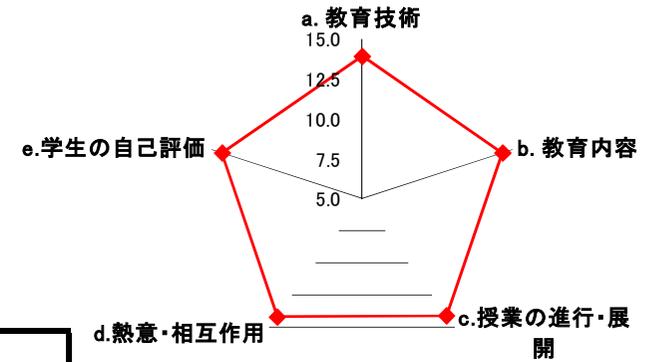
履修者数	64	回収数	47	回収率	73.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:社会学Ⅱ

担当者:

三橋 弘次

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	13.96	1.74
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	14.32	1.19
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	14.09	1.72
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	14.15	1.35
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.32	1.19

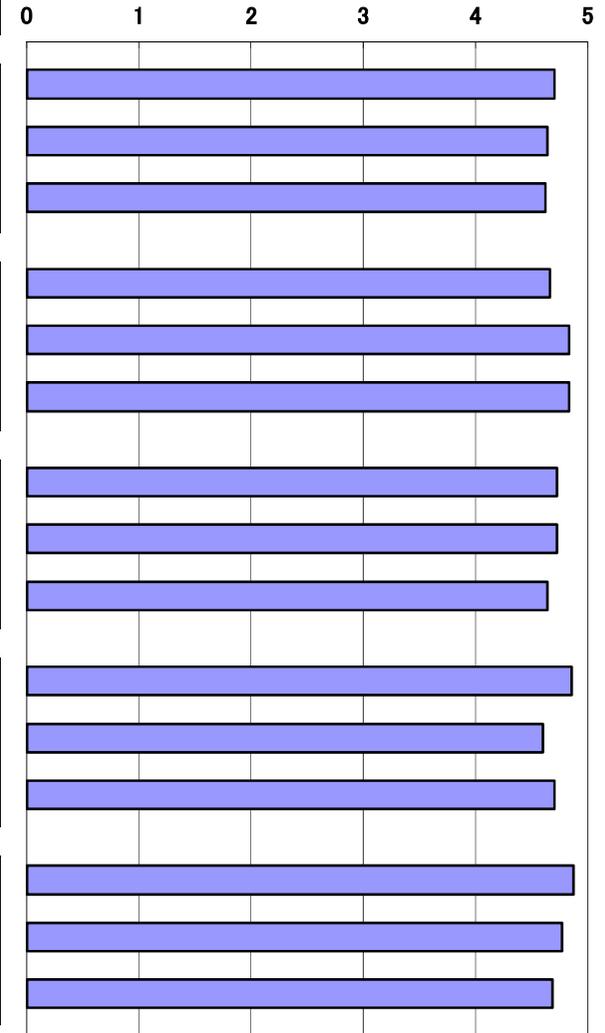


[00]

N=56

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	33	11	3	0	0	0	4.64	0.60
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	35	8	2	2	0	0	4.62	0.76
74.5		17.0	4.3	4.3	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	34	11	1	1	0	0	4.66	0.63
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
83.0		17.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	8	1	1	0	0	4.72	0.61
⑨	授業の進行速度は適切だった。	35	8	3	1	0	0	4.64	0.70
74.5		17.0	6.4	2.1	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	33	9	5	0	0	0	4.60	0.67
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	36	8	3	0	0	0	4.70	0.58
76.6		17.0	6.4	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	35	10	1	1	0	0	4.68	0.62
74.5		21.3	2.1	2.1	0.0	0.0			



科目コード	1C0200	科目名	社会学Ⅱ	担当教員名	三橋弘次
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

全体としての高評価に驚き、うれしく思っています。特に、学生の授業に対する「自己評価」が高かった点が私としては一番うれしいことです。それだけ、積極的に授業に取り組む学生に恵まれたということだと思います。こうした積極的な学生の学びに貢献すべく、今後とも内容をしっかりと工夫していきたいと考えています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

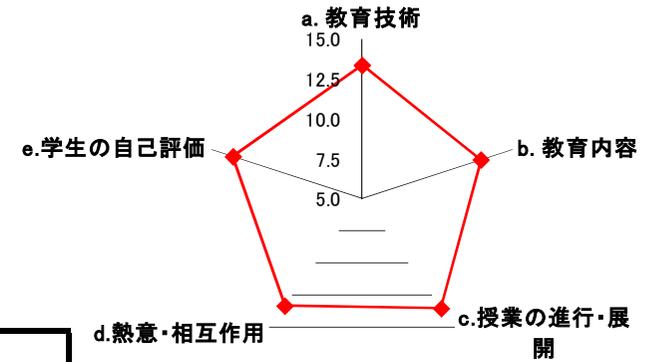
履修者数	12	回収数	10	回収率	83.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:家族社会学

担当者:

三具 淳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	10	13.40	2.11
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	10	12.90	2.51
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	10	13.50	2.01
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	10	13.30	2.24
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	10	13.60	1.69



[00]

N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	3	1	0	0	0	4.50	0.67
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	6	3	1	0	0	0	4.50	0.67
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	2	2	0	0	0	4.40	0.80

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	6	3	1	0	0	0	4.50	0.67
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	5	3	1	1	0	0	4.20	0.98
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	5	3	1	1	0	0	4.20	0.98

c. 授業の進行・展開

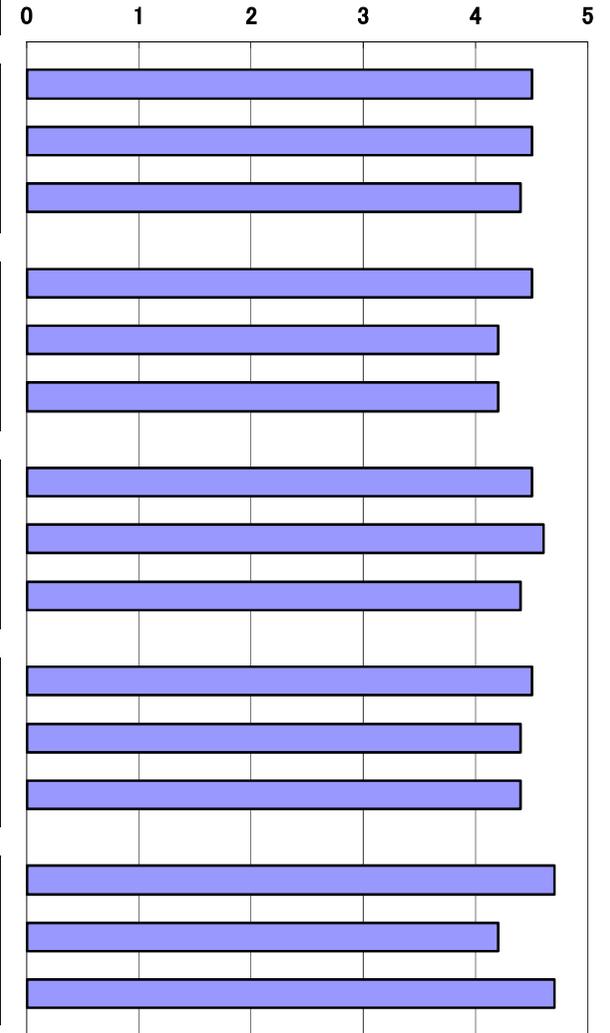
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6	3	1	0	0	0	4.50	0.67
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7	2	1	0	0	0	4.60	0.66
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	6	2	2	0	0	0	4.40	0.80

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	6	3	1	0	0	0	4.50	0.67
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6	2	2	0	0	0	4.40	0.80
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6	2	2	0	0	0	4.40	0.80

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	7	3	0	0	0	0	4.70	0.46
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	1	0	4.20	1.25
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	7	3	0	0	0	0	4.70	0.46



科目コード	1C0401	科目名	家族社会学	担当教員名	三具 淳子
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

実際に自分が経験している「家族」以外の「家族」を知る機会はありません。
社会の中で起こっている様々な変化と、それが家族におよぼす影響やその逆の現象を
捉えながら、家族について考えるきっかけを提供したいと思っています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

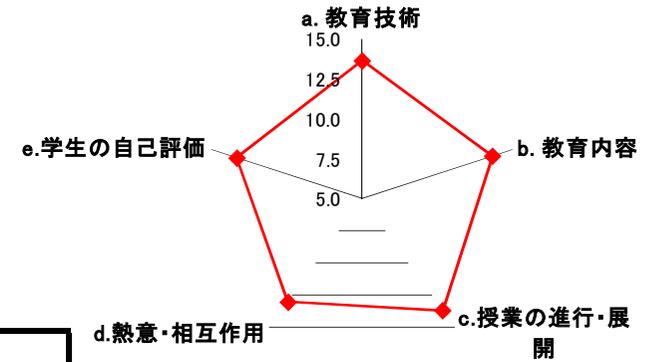
履修者数	16	回収数	9	回収率	56.3%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:家族社会学

担当者:

三具 淳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	13.67	1.49
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	13.67	1.49
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	13.67	1.49
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	8	13.00	1.58
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	13.33	1.33



[00]

N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50

c. 授業の進行・展開

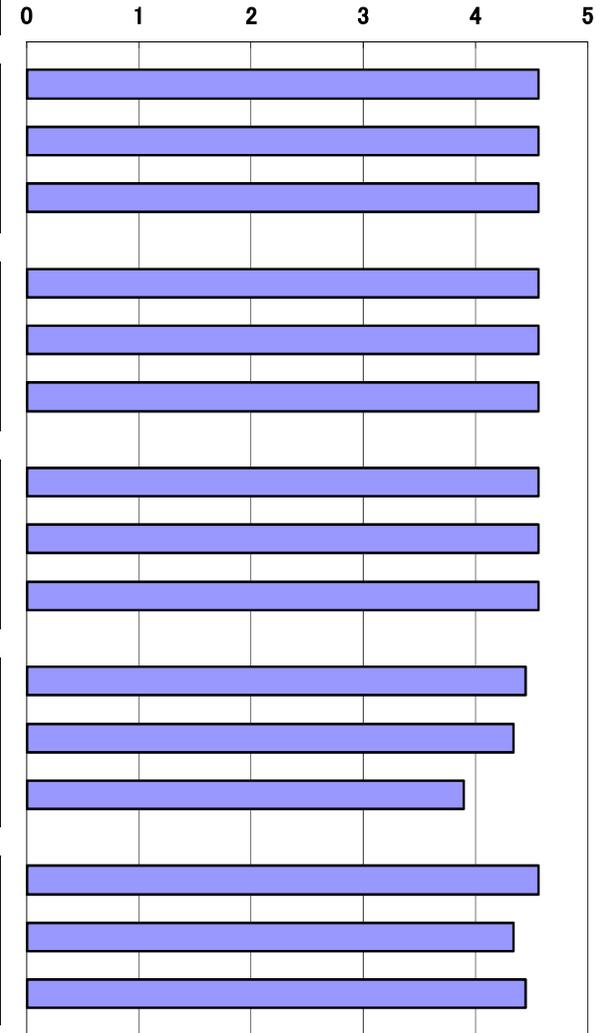
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	4	1	0	0	0	4.33	0.67
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	3	5	0	0	0	1	3.89	1.45
	33.3	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1		

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	4	1	0	0	0	4.33	0.67
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
	44.4	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1C0402	科目名	家族社会学	担当教員名	三具 淳子
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

実際に自分が経験している「家族」以外の「家族」を知る機会はありません。
社会の中で起こっている様々な変化と、それが家族におよぼす影響やその逆の現象を
捉えながら、家族について考えるきっかけを提供したいと思っています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	16	回収数	13	回収率	81.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:世界の文化と宗教

担当者:

佐藤 真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	13	14.62	0.84
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	13	14.77	0.80
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	13	14.69	0.82
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	13	14.77	0.80
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	13	14.62	0.84

N=13

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27

c. 授業の進行・展開

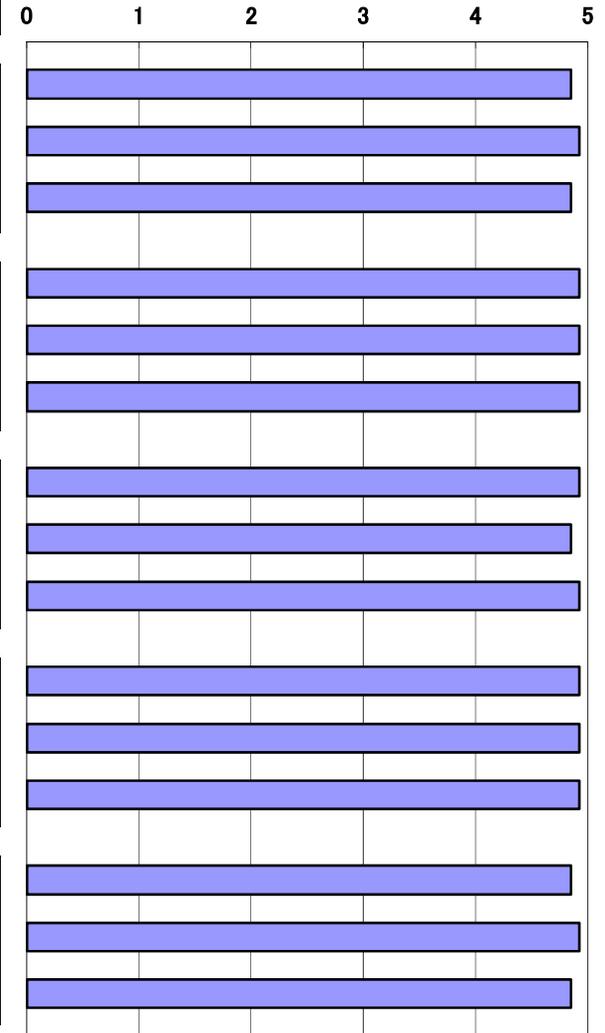
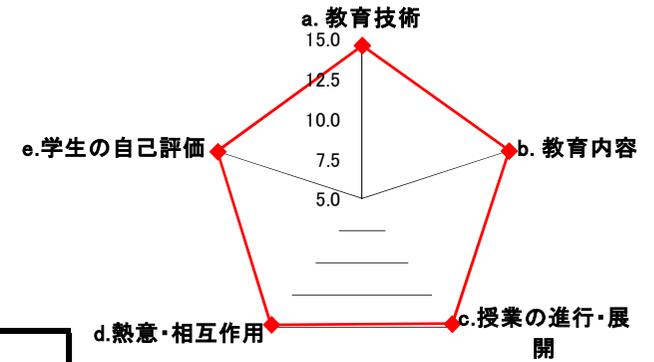
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	1	0	0	0	0	4.92	0.27
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	11	2	0	0	0	0	4.85	0.36



[00]

科目コード	1C0500	科目名	世界の文化と宗教	担当教員名	佐藤眞
-------	--------	-----	----------	-------	-----

<教員からのコメント>

実際にいくつかの宗教施設を訪問することは、その宗教を理解する上で大切だと考えていますので、今後も続けていきたいと思ひます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

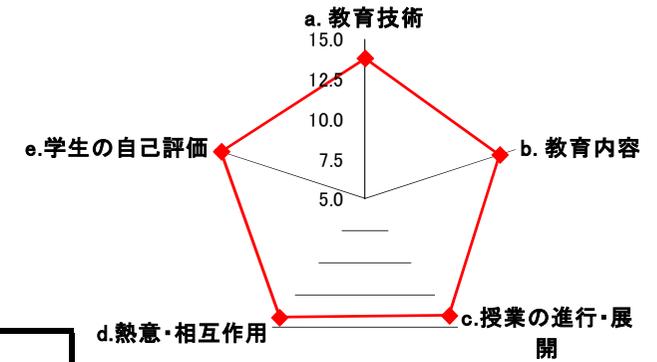
履修者数	76	回収数	21	回収率	27.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:国際関係論

担当者:

小池 政行

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	21	13.81	1.74
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	21	13.95	2.08
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	21	14.05	2.10
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	21	14.19	1.74
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	21	14.57	0.90

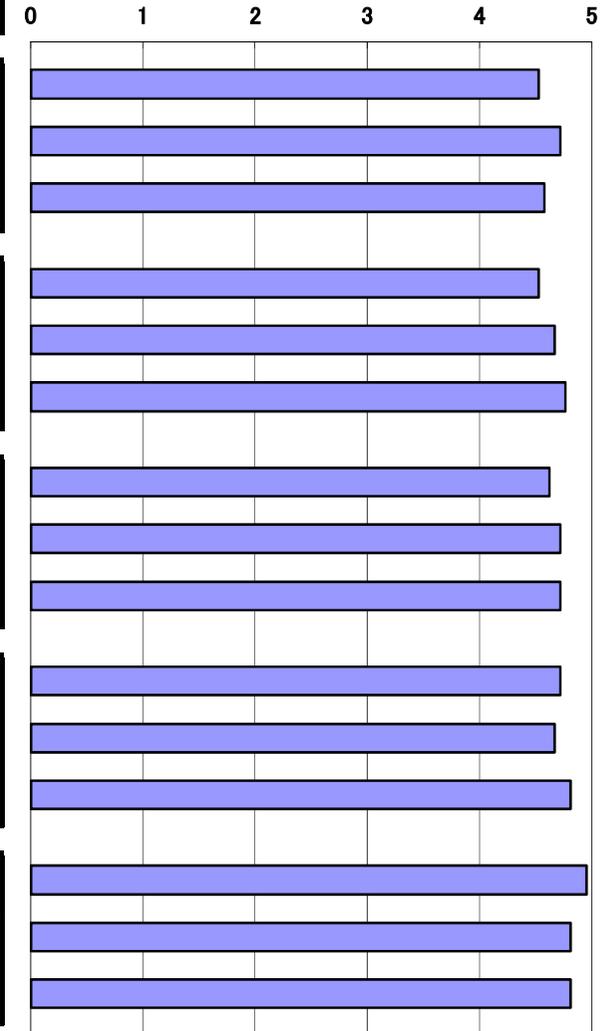


[00]

N=21

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	14	5	1	1	0	0	4.52	0.79
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	15	6	0	0	0	0	4.71	0.45
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	15	4	1	1	0	0	4.57	0.79
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	14	5	1	1	0	0	4.52	0.79
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	16	4	0	1	0	0	4.67	0.71
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	18	2	0	1	0	0	4.76	0.68
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	16	3	1	1	0	0	4.62	0.79
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	3	0	1	0	0	4.71	0.70
⑨	授業の進行速度は適切だった。	17	3	0	1	0	0	4.71	0.70
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17	3	0	1	0	0	4.71	0.70
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	16	4	0	1	0	0	4.67	0.71
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	17	4	0	0	0	0	4.81	0.39
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	20	1	0	0	0	0	4.95	0.21
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17	4	0	0	0	0	4.81	0.39
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	17	4	0	0	0	0	4.81	0.39



科目コード	1C0600	科目名	国際関係論	担当教員名	小池政行
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

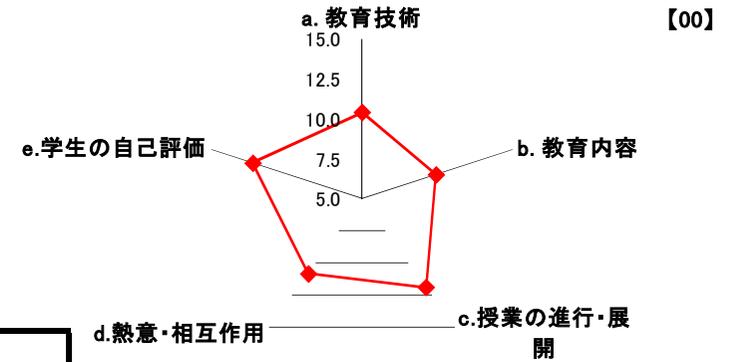
「国際関係論」については、毎年例えばICRC駐日事務所所長、UNICEF東京事務所、UNHCR東京事務所、国連広報センター所長等、通常では聴けない方々の特別講演を講義の中に取り組み、アンケートの自由記載を見る(僅か二例)とグラフを見る限り、学生の好意的な反応が伺われる一方、自由記載の二例に「適当すぎる」、「結論が二転、三転する」と、どのような根拠と、同じような表現の自由記載が凡そ何例あったのか解らないまま、右のような誹謗・中傷に近い自由記載を抽出記載するなら、より多く、もし業者が行うなら、なおさら他の自由記載も載せていくことが適切な評価につながると思慮申し上げる。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	115	回収数	47	回収率	40.9%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:日本国憲法
担当者:
吉田 直正

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	10.43	2.66
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	9.91	3.03
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	11.87	2.31
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	46	10.80	3.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	46	12.28	2.03



N=81

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	19	18	4	1	0	3.49	0.87
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	17	18	4	3	0	3.36	1.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7	19	17	2	2	0	3.57	0.94
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	6	13	18	7	3	0	3.26	1.06
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	12	18	6	4	0	3.26	1.12
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8	15	15	6	3	0	3.40	1.10
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	16	10	2	0	0	4.11	0.88
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	14	16	14	3	0	0	3.87	0.91
⑨	授業の進行速度は適切だった。	13	17	16	1	0	0	3.89	0.83
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8	17	16	4	2	0	3.53	1.01
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	17	12	5	3	0	3.55	1.13
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	16	14	4	1	1	3.62	1.12
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	30	13	3	0	0	1	4.49	0.90
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	15	15	4	0	1	3.68	1.07
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16	13	16	0	1	1	3.85	1.09



科目コード	1C0700	科目名	日本国憲法	担当教員名	吉田 直正
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

時々忘れませんが、毎回、講義のはじめに前回までの内容について、質問はありますか、と尋ねています。
講義を聴いて、教科書の該当部分を読んで、理解出来ないところを指摘してくれば、十分に対応します。
レジュメではありませんが、教科書で説明が不足している部分についてはプリントを配付しています。
リケジョの方々には、関心の薄い分野ではあるでしょうが、新聞の政治面、国際面などの理解には、不可欠ですので、とにかく話を聞いてくださるよう、お願いします。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	38	回収数	28	回収率	73.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:医療と文化

担当者:

井上 陽介

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	28	14.79	0.77
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	28	14.79	0.77
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	28	14.79	0.77
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	27	14.78	0.79
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	27	14.44	1.10

N=28

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26

c. 授業の進行・展開

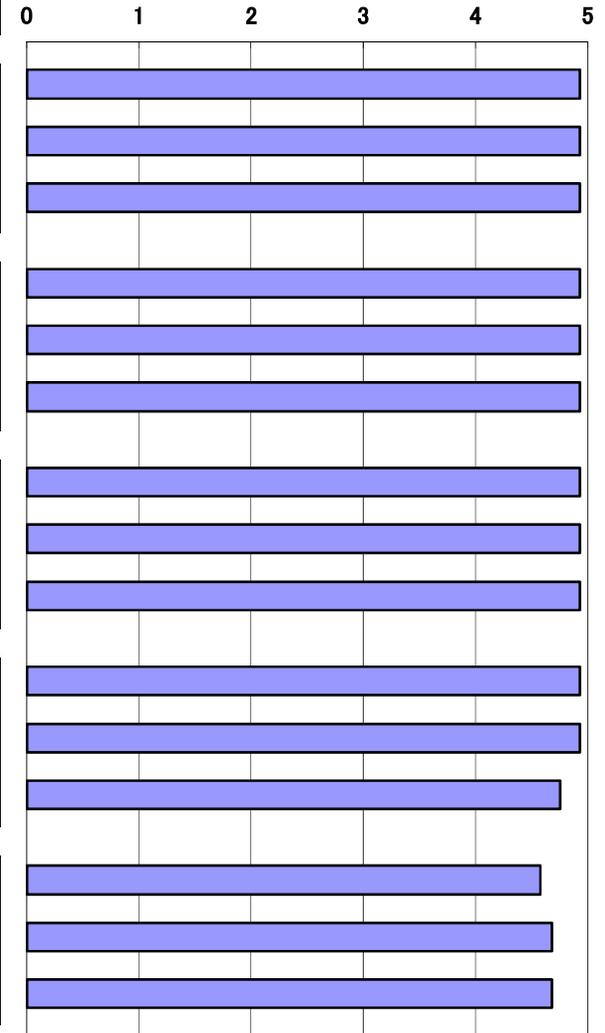
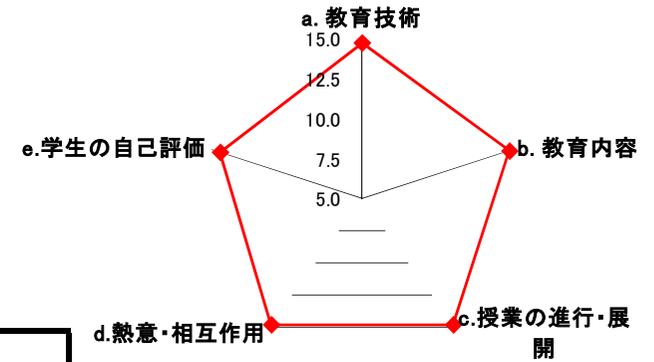
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	2	0	0	0	1	4.75	0.95

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	21	5	1	0	0	1	4.57	1.02
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	4	0	0	0	1	4.68	0.97
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	23	4	0	0	0	1	4.68	0.97



[00]

科目コード	1C0800	科目名	医療と文化	担当教員名	井上陽介
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

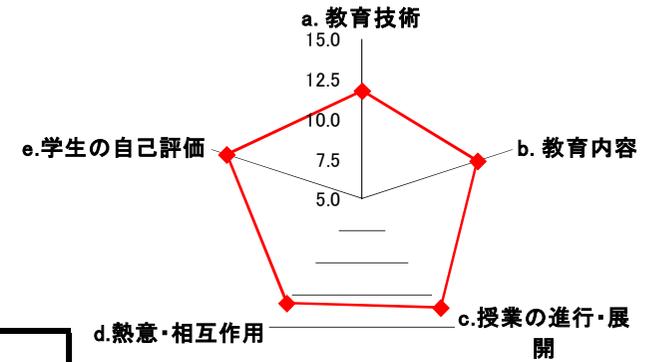
みなさんのレポートを採点しながら、私が授業でお伝えしたかったことはちゃんと伝わっていたように思いました。また授業での「つぶやき」は私にとっても、とても勉強になりました。これからみなさんが看護師や保健師として患者さんと向かい合うときには病気だけではなく、その人が暮らす文化についても意識を向けてください。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	10	回収数	9	回収率	90.0%
------	----	-----	---	-----	-------

科目: 数学Ⅱ
 担当者:
 二宮 真理子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	11.78	2.82
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	12.67	2.16
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	13.44	1.57
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	9	13.11	2.38
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	14.00	1.25

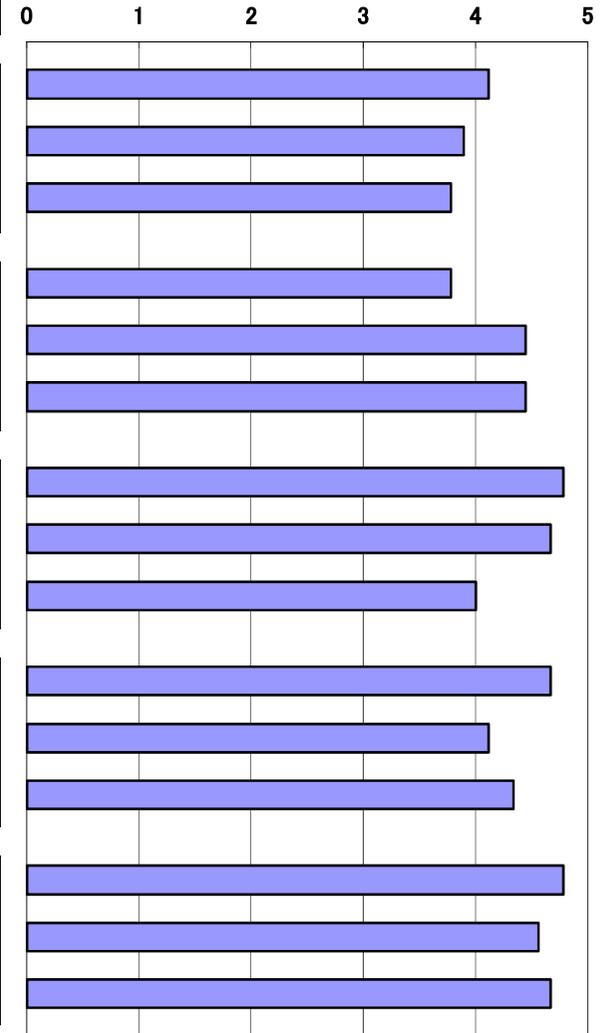


[00]

N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	3	4	2	0	0	0	4.11	0.74
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	3	3	2	1	0	0	3.89	0.99
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	3	2	0	1	0	3.78	1.23
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	3	3	2	0	1	0	3.78	1.23
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	5	3	1	0	0	0	4.44	0.68
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	5	3	1	0	0	0	4.44	0.68
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	7	2	0	0	0	0	4.78	0.42
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47
⑨	授業の進行速度は適切だった。	4	3	1	0	1	0	4.00	1.25
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5	2	1	0	1	0	4.11	1.29
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5	2	2	0	0	0	4.33	0.82
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	7	2	0	0	0	0	4.78	0.42
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47



科目コード	1D0200	科目名	数学Ⅱ	担当教員名	二宮真理子
-------	--------	-----	-----	-------	-------

<教員からのコメント>

数学Ⅱでは自ら問題解決の方法を模索する力を身につけることを目的に講義を行っています。より積極的に学生が講義に参加できるよう心掛けたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	34	回収数	28	回収率	82.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:生物学Ⅱ

担当者:

熊澤 武志

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	28	14.89	0.56
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	28	14.86	0.58
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	28	14.89	0.56
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	28	14.89	0.56
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	28	14.61	1.11

N=28

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	26	2	0	0	0	0	4.93	0.26
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19

c. 授業の進行・展開

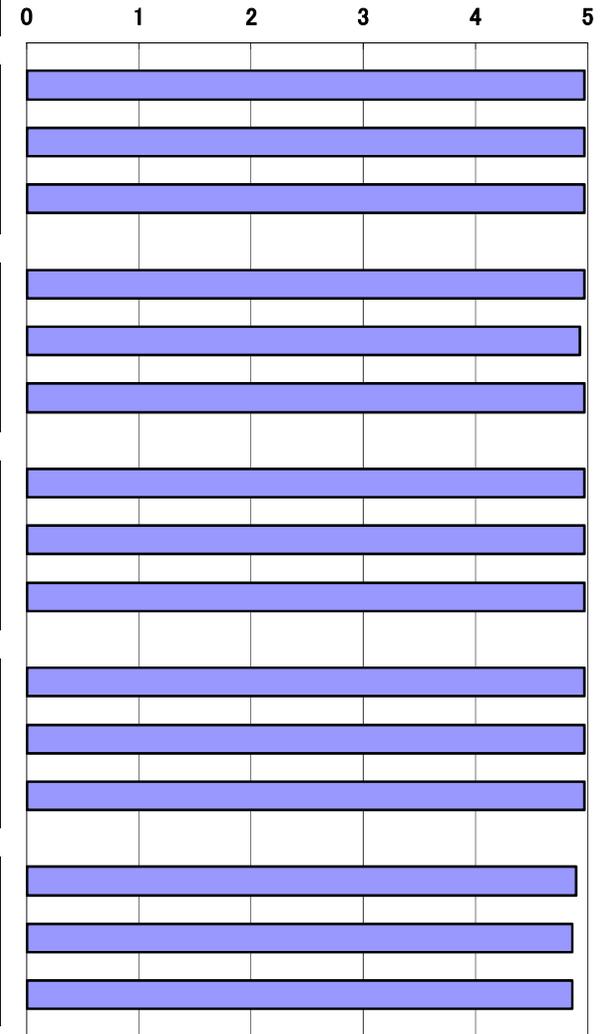
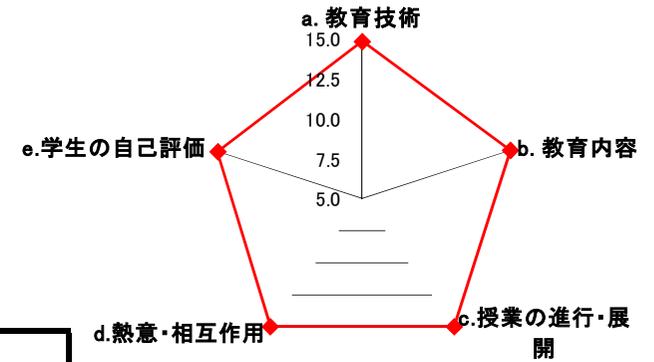
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	27	1	0	0	0	0	4.96	0.19

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	25	3	0	0	0	0	4.89	0.31
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25	2	1	0	0	0	4.86	0.44
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25	2	1	0	0	0	4.86	0.44



[00]

科目コード	1D0400	科目名	生物学Ⅱ	担当教員名	熊澤 武志
-------	--------	-----	------	-------	-------

<教員からのコメント>

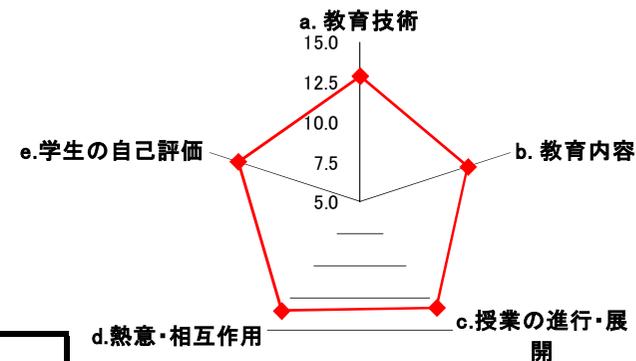
改善点のコメントの中に、「ねむくなる声」、「量が多い気がした」がありました。来年度は、学生さん達が眠くならないような声で授業を行うことを心がけたいと思います。また、「量が多い気がした」ですが、来年度はもう少し授業内容を吟味して、そういう印象を持たれないように改善を加えたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	19	回収数	18	回収率	94.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:化学Ⅱ
担当者:
小林 孝彰

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	18	12.89	2.28
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	18	12.17	2.69
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	18	13.22	2.12
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	18	13.44	1.71
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	18	13.11	1.49

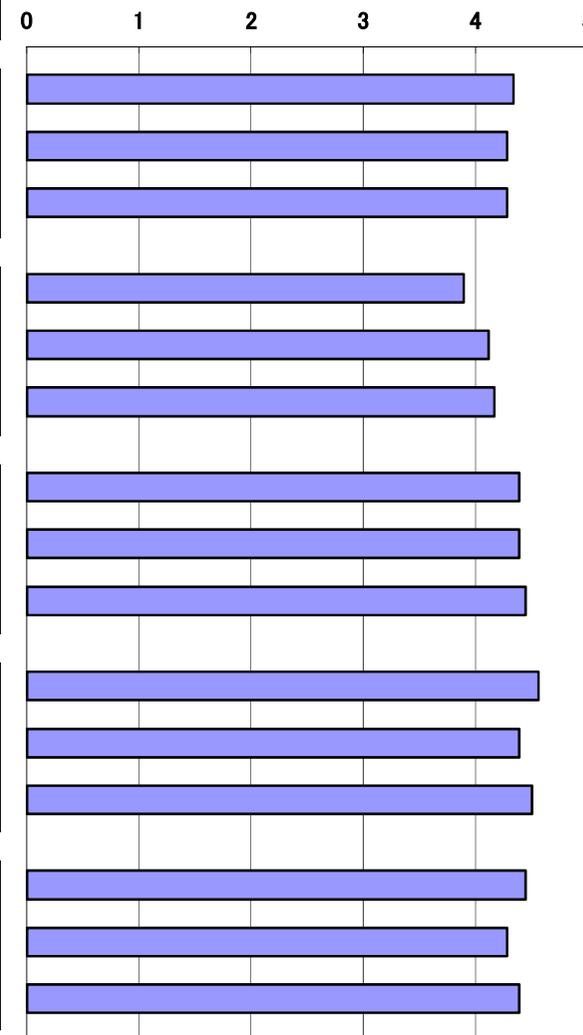


[00]

N=18

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	6	3	0	0	0	4.33	0.75
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	5	4	0	0	0	4.28	0.80
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	5	4	0	0	0	4.28	0.80
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	7	6	2	2	1	0	3.89	1.20
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	7	3	1	0	0	4.11	0.87
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7	7	4	0	0	0	4.17	0.76
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10	5	3	0	0	0	4.39	0.76
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	7	2	0	0	0	4.39	0.68
⑨	授業の進行速度は適切だった。	11	4	3	0	0	0	4.44	0.76
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11	6	1	0	0	0	4.56	0.60
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	7	2	0	0	0	4.39	0.68
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	5	2	0	0	0	4.50	0.69
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	9	8	1	0	0	0	4.44	0.60
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8	7	3	0	0	0	4.28	0.73
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	7	2	0	0	0	4.39	0.68



科目コード	1D0600	科目名	化学 II	担当教員名	小林 孝彰
-------	--------	-----	-------	-------	-------

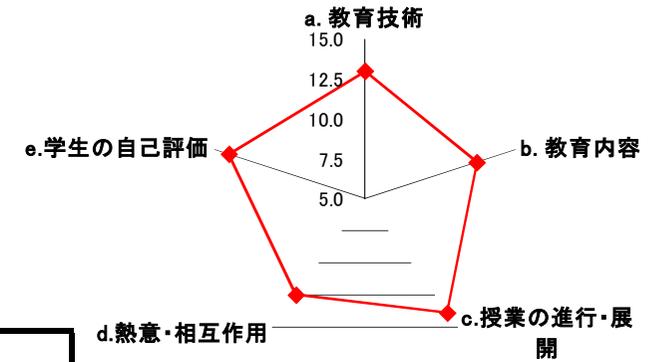
あとで質問しようと思っていると、話の展開を追う間に「さっき何を質問しようとしたのだったかしら？」ということになりかねないので「思い立ったが吉日」を奨励したつもりでした。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	119	回収数	47	回収率	39.5%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:情報学概論
 担当者:
 逸見 功,高田早苗

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	13.00	2.20
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	12.45	2.73
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.85	1.71
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	46	12.46	2.37
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.06	1.39

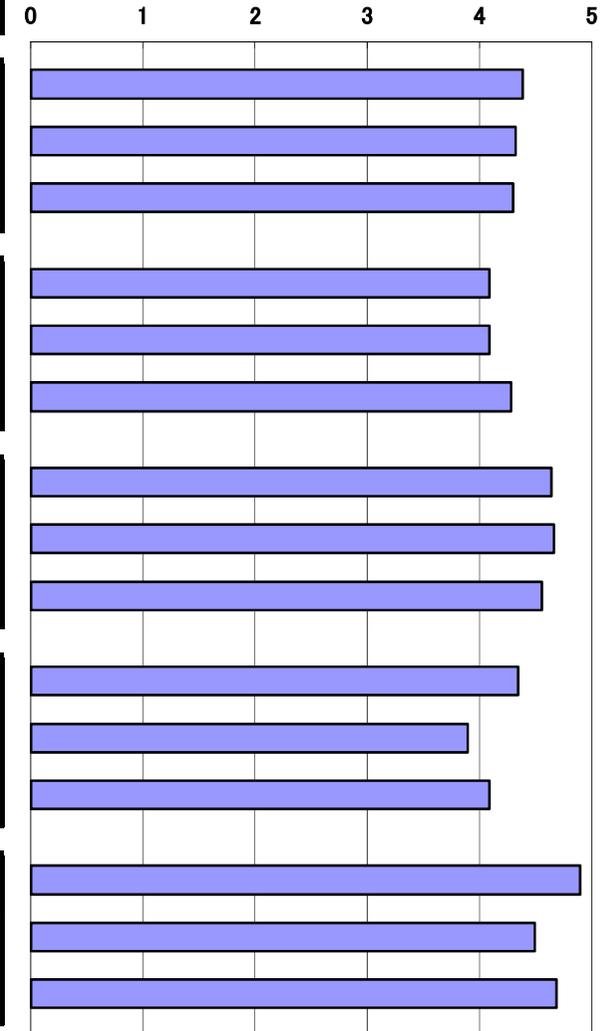


[00]

N=112

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	授業の内容はわかりやすかった。	授業の内容は興味のあるものだった。	この授業は自分にとって価値があった。	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	授業の進行速度は適切だった。	教員の熱意が伝わってきた。	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。
24	25	25	20	19	25	33	34	31	26	17	21	43	28	36
51.1	53.2	53.2	42.6	40.4	53.2	70.2	72.3	66.0	55.3	36.2	44.7	91.5	59.6	76.6
17	12	11	14	18	13	11	10	11	13	13	15	3	14	7
6	10	11	11	6	7	3	3	5	7	12	7	1	5	4
0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	5	3	0	0	0
0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
0	0	0	2.1	2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.38	4.32	4.30	4.09	4.09	4.28	4.64	4.66	4.55	4.34	3.89	4.09	4.89	4.49	4.68
0.70	0.80	0.82	0.96	0.99	0.94	0.60	0.59	0.68	0.88	1.02	1.09	0.37	0.68	0.62



科目コード	1E0100	科目名	情報学概論	担当教員名	逸見 功、高田早苗
-------	--------	-----	-------	-------	-----------

<教員からのコメント>

一般の情報と看護情報の両方を学べた点を評価されたことをうれしく思います。

実験については、理解を深めるのに役立ったという肯定的意見と、ただらして時間が無駄という否定的意見がありました。実験に協力的でない学生がいたために、ただらしたのであって、インストラクションに従って手際よく実施できるようにしたいと思います。

質問を書いても答えてくれないとのコメントがありました。時間的制約からすべての質問に答えることができないため、授業内容に関連するものから選択して答えています。

なるべく多くの質問に答えたいですが、理解して下さい。

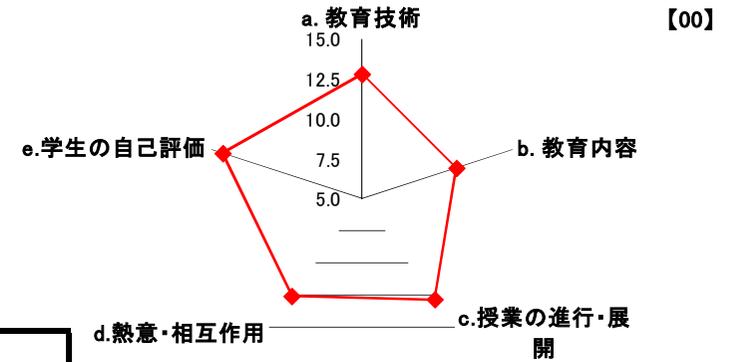
スライドやプリントはよりわかりやすいものに改善していきます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	15	回収数	11	回収率	73.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:情報科学
担当者:
逸見 功

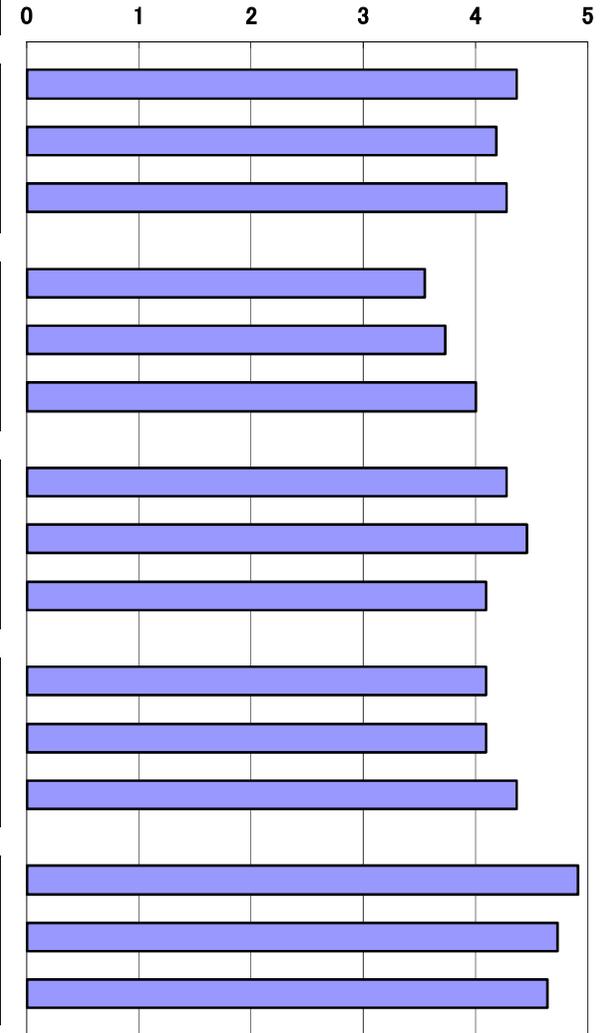
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	11	12.82	1.95
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	11	11.27	2.80
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	11	12.82	2.04
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	11	12.55	1.92
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	11	14.27	0.96



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	5	5	1	0	0	0	4.36	0.64
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	3	3	0	0	0	4.18	0.83
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	4	2	0	0	0	4.27	0.75
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	3	3	2	3	0	0	3.55	1.16
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	3	3	4	1	0	0	3.73	0.96
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4	3	4	0	0	0	4.00	0.85
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6	3	1	1	0	0	4.27	0.96
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7	2	2	0	0	0	4.45	0.78
⑨	授業の進行速度は適切だった。	4	4	3	0	0	0	4.09	0.79
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	4	4	3	0	0	0	4.09	0.79
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	4	3	0	0	0	4.09	0.79
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5	5	1	0	0	0	4.36	0.64
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48



科目コード	1E0201	科目名	情報科学	担当教員名	逸見 功
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

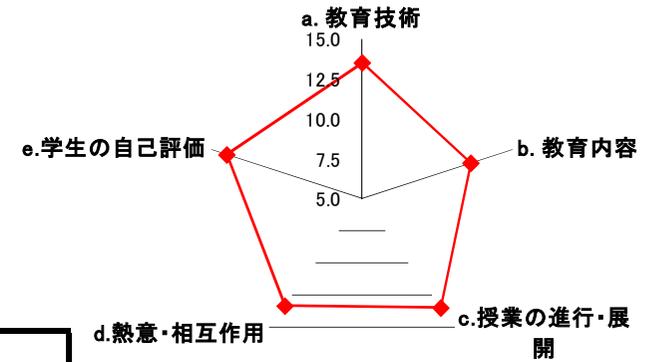
前期で履修した統計学を復習しながら、PCの演習を行いました。疑問点に答えながら授業を進めましたが、統計学の理解不足の学生には少し難しく感じたようです。演習により履修前より統計の理解が進んだのは良かったです。これからも疑問点を解消しながら、授業を進めていきたいと思ひます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	14	回収数	13	回収率	92.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:情報科学
担当者:
逸見 功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	13	13.54	1.87
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	13	12.23	3.04
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	13	13.46	1.91
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	13	13.31	2.16
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	12	14.00	1.58

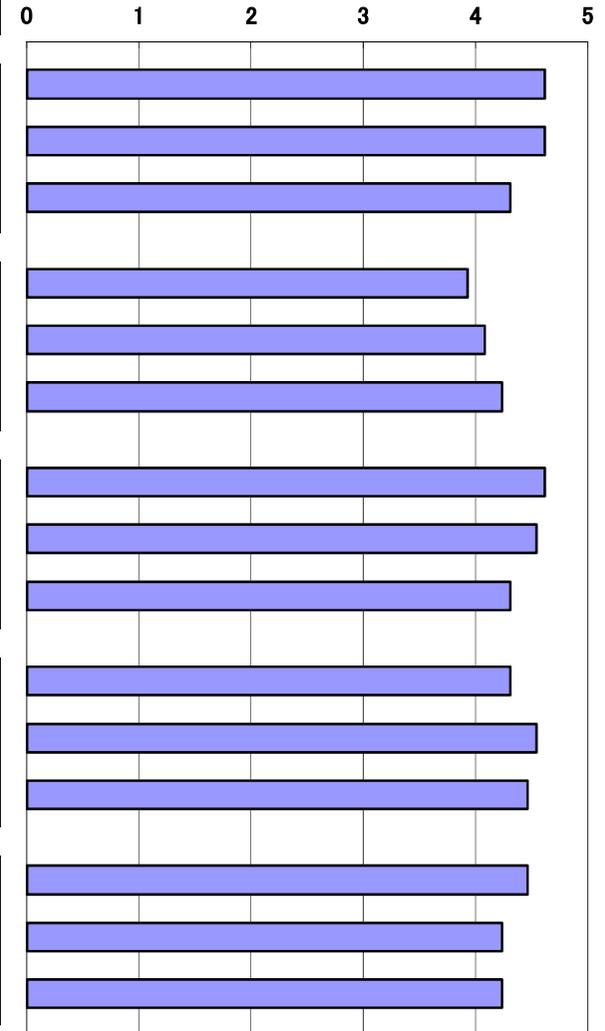


[00]

N=13

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	3	1	0	0	0	4.62	0.62
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	3	1	0	0	0	4.62	0.62
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7	4	1	1	0	0	4.31	0.91
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	6	1	5	1	0	0	3.92	1.07
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	2	2	2	0	0	4.08	1.14
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7	3	2	1	0	0	4.23	0.97
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	3	1	0	0	0	4.62	0.62
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	4	1	0	0	0	4.54	0.63
⑨	授業の進行速度は適切だった。	7	3	3	0	0	0	4.31	0.82
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	7	3	3	0	0	0	4.31	0.82
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	2	2	0	0	0	4.54	0.75
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	3	2	0	0	0	4.46	0.75
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	2	0	0	0	1	4.46	1.34
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8	3	1	0	0	1	4.23	1.37
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8	3	1	0	0	1	4.23	1.37



科目コード	1E0202	科目名	情報科学	担当教員名	逸見 功
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

前期で履修した統計学を復習しながら、PCの演習を行いました。疑問点に答えながら授業を進めましたが、統計学の理解不足の学生には少し難しく感じたようです。演習により履修前より統計の理解が進んだのは良かったです。

レポートのテーマは学生自らが決めるようにしましたが、何をデータにとるか悩む学生がいました。一層の相談に応じて行きたいと思います。

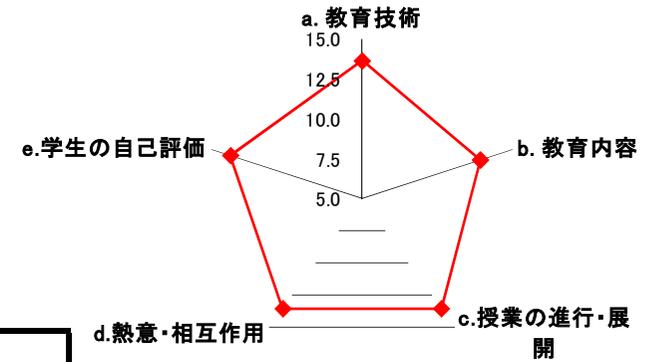
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	37	回収数	31	回収率	83.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-2

担当者:
川崎 修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	31	13.68	1.40
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	31	12.87	1.79
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	31	13.52	1.68
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	30	13.53	1.56
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	31	13.77	1.24

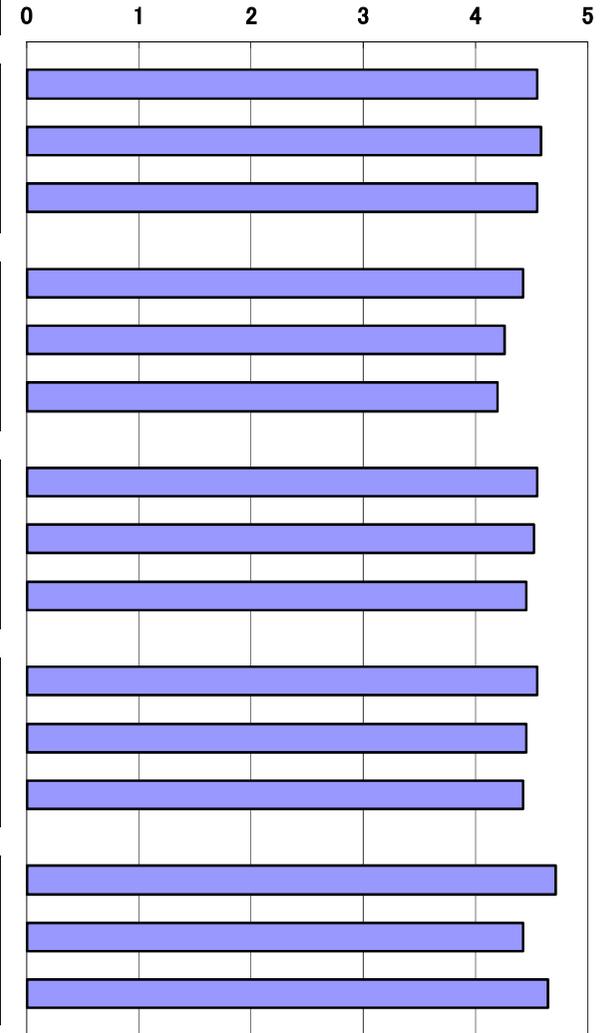


[00]

N=31

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17	14	0	0	0	0	4.55	0.50
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	18	13	0	0	0	0	4.58	0.49
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	12	1	0	0	0	4.55	0.56
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	14	16	1	0	0	0	4.42	0.55
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11	17	3	0	0	0	4.26	0.62
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12	14	4	1	0	0	4.19	0.78
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	10	2	0	0	0	4.55	0.61
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	18	11	2	0	0	0	4.52	0.62
⑨	授業の進行速度は適切だった。	16	13	2	0	0	0	4.45	0.61
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18	12	1	0	0	0	4.55	0.56
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	15	15	1	0	0	0	4.45	0.56
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	18	11	1	0	0	1	4.42	0.98
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	22	9	0	0	0	0	4.71	0.45
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14	16	1	0	0	0	4.42	0.55
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	21	9	1	0	0	0	4.65	0.54



科目コード	1F0301	科目名	英語R1-2	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。改善点としては、看護だけでなく様々なジャンルの英文を読むようにしたいと思います。また、前提となる知識についてもできる限り丁寧に説明したいと思います。過大な評価には恐縮します。これを励みに更に精進したいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

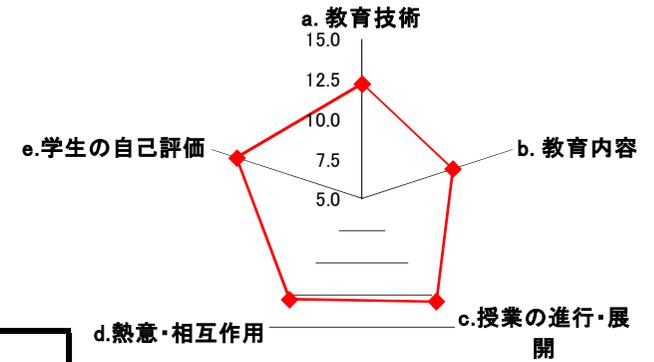
履修者数	34	回収数	32	回収率	94.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-2

担当者:

佐藤 真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	32	12.22	1.96
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	32	11.03	2.26
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	31	12.97	1.62
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	32	12.81	2.05
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	32	13.34	1.74

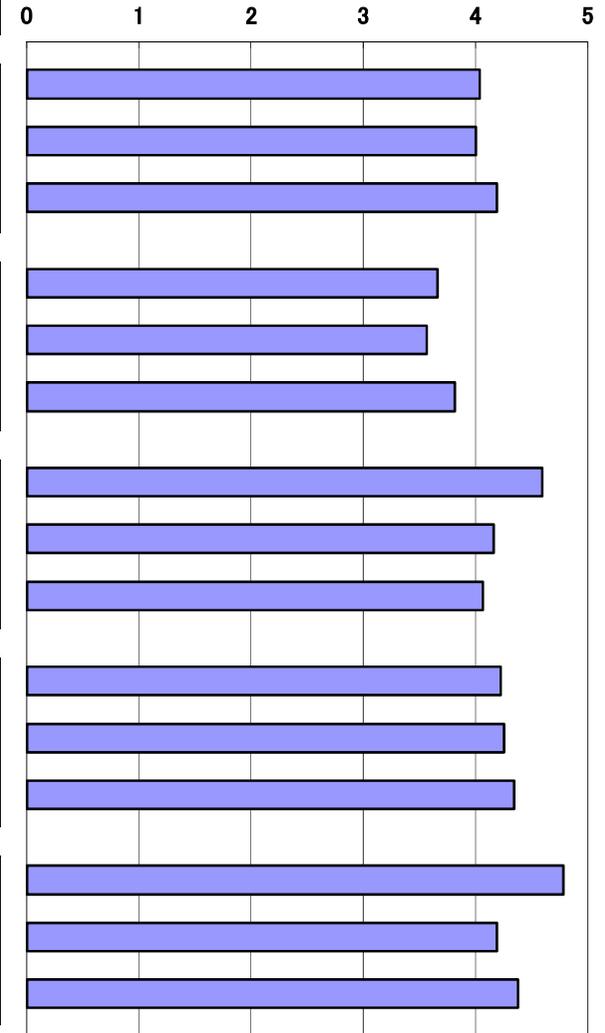


[00]

N=32

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	16	6	1	0	0	4.03	0.77
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	10	14	6	2	0	0	4.00	0.87
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	16	5	0	0	0	4.19	0.68
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	4	15	11	2	0	0	3.66	0.77
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	6	10	13	2	1	0	3.56	0.97
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	5	18	7	2	0	0	3.81	0.77
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	20	11	1	0	0	0	4.59	0.55
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12	16	3	0	0	1	4.16	0.97
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9	17	5	1	0	0	4.06	0.75
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13	13	6	0	0	0	4.22	0.74
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14	12	6	0	0	0	4.25	0.75
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	16	11	5	0	0	0	4.34	0.73
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	26	5	1	0	0	0	4.78	0.48
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	13	5	1	0	0	4.19	0.81
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	17	11	3	1	0	0	4.38	0.78



科目コード	1F0302	科目名	英語R1-2	担当教員名	佐藤眞
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

“Study Guide” はみなさんの予習の手助けになるように配っています。そこに書かれていることだけを調べるのではなく、積極的に他のことも調べると、テキストの理解が深まると思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

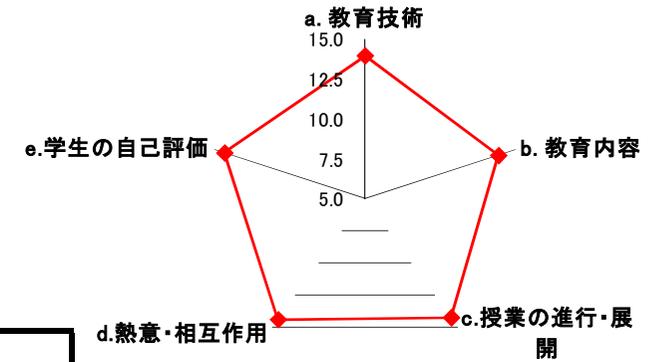
履修者数	36	回収数	34	回収率	94.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-2

担当者:

川崎 修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	34	13.97	1.42
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	34	13.85	1.52
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	34	14.24	1.24
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	34	14.38	1.16
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	34	14.35	0.97

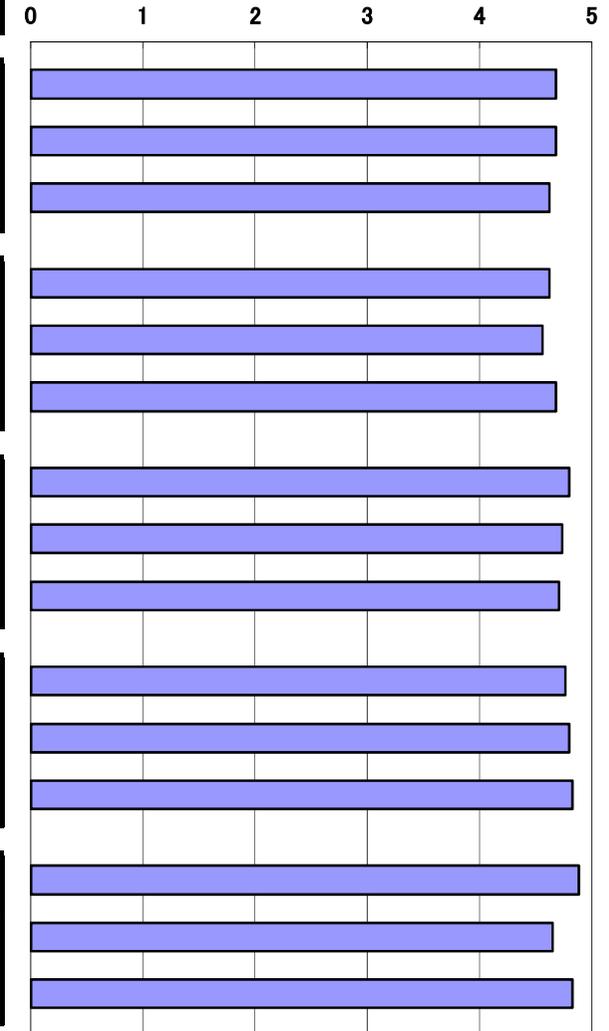


[00]

N=34

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	24	9	1	0	0	0	4.68	0.53
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	23	11	0	0	0	0	4.68	0.47
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	22	11	1	0	0	0	4.62	0.54
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	22	11	1	0	0	0	4.62	0.54
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	22	10	1	1	0	0	4.56	0.69
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	24	9	1	0	0	0	4.68	0.53
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	27	7	0	0	0	0	4.79	0.40
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	25	9	0	0	0	0	4.74	0.44
⑨	授業の進行速度は適切だった。	24	10	0	0	0	0	4.71	0.46
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	26	8	0	0	0	0	4.76	0.42
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	27	7	0	0	0	0	4.79	0.40
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	28	6	0	0	0	0	4.82	0.38
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	30	4	0	0	0	0	4.88	0.32
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	10	1	0	0	0	4.65	0.54
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	28	6	0	0	0	0	4.82	0.38



科目コード	1F0303	科目名	英語R1-2	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。日本語訳の配布については今後検討します。過大な評価には恐縮します。これを励みに更に精進したいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

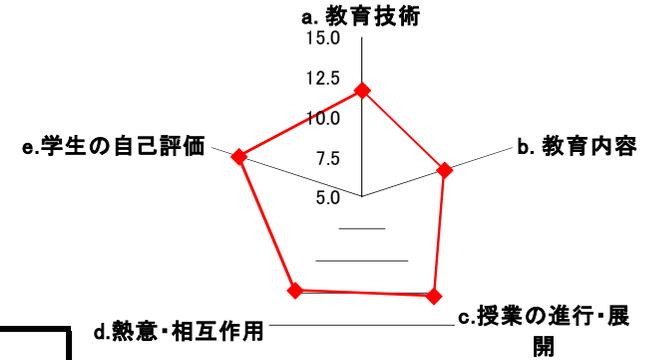
履修者数	35	回収数	33	回収率	94.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R1-2

担当者:

佐藤 真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	33	11.67	3.09
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	33	10.45	3.27
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	33	12.70	2.47
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	33	12.24	2.95
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	33	13.21	2.04

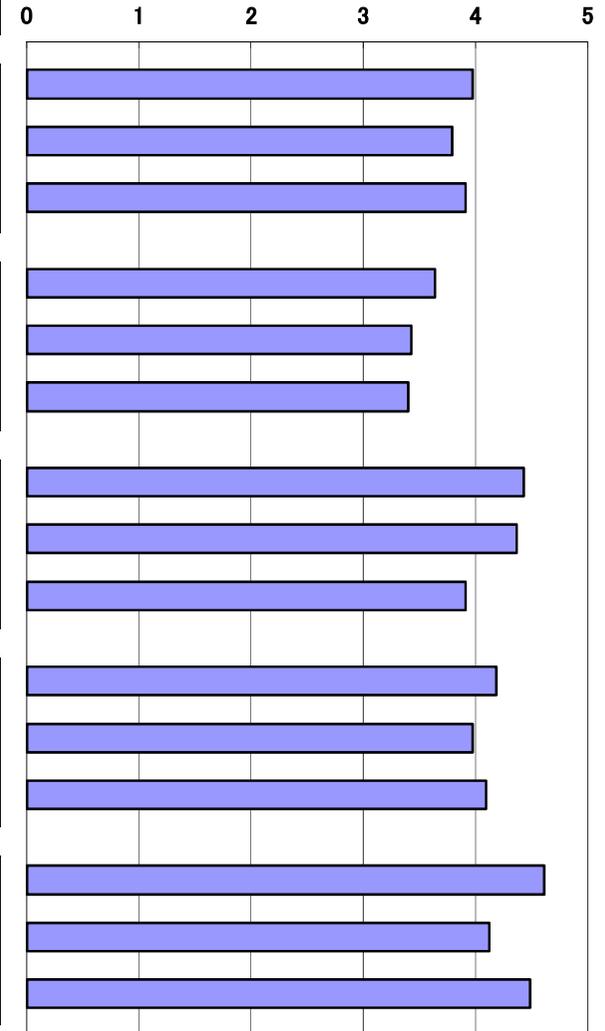


[00]

N=33

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	13	9	8	3	0	0	3.97	1.00
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	10	12	7	2	2	0	3.79	1.12
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	14	7	9	1	2	0	3.91	1.16
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	9	9	6	0	0	3.64	1.07
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	9	11	3	3	0	3.42	1.18
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7	9	10	4	3	0	3.39	1.20
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	20	8	4	1	0	0	4.42	0.82
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	11	5	0	0	0	4.36	0.73
⑨	授業の進行速度は適切だった。	15	6	8	2	2	0	3.91	1.22
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	16	8	8	1	0	0	4.18	0.90
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	15	7	6	5	0	0	3.97	1.11
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	17	6	6	4	0	0	4.09	1.08
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23	7	3	0	0	0	4.61	0.65
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	14	11	7	0	1	0	4.12	0.95
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	22	5	6	0	0	0	4.48	0.78



科目コード	1F0304	科目名	英語R1-2	担当教員名	佐藤眞
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

PC上でテキストを配布したり、みなさんにも授業中にPCを使うように勧めたりしています。PCを授業に使うことに賛否両論あります。レポートや卒業研究などをPCで作成することになりますので、早くからいろいろな使い方を憶えてもらいたいと思っています。

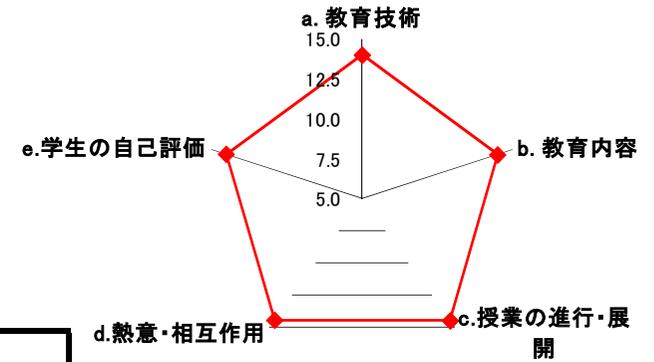
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	27	回収数	24	回収率	88.9%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-2

担当者:
遠藤 花子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	24	14.04	1.27
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	24	14.00	1.53
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	24	14.46	1.12
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	24	14.42	1.15
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	24	14.04	1.21

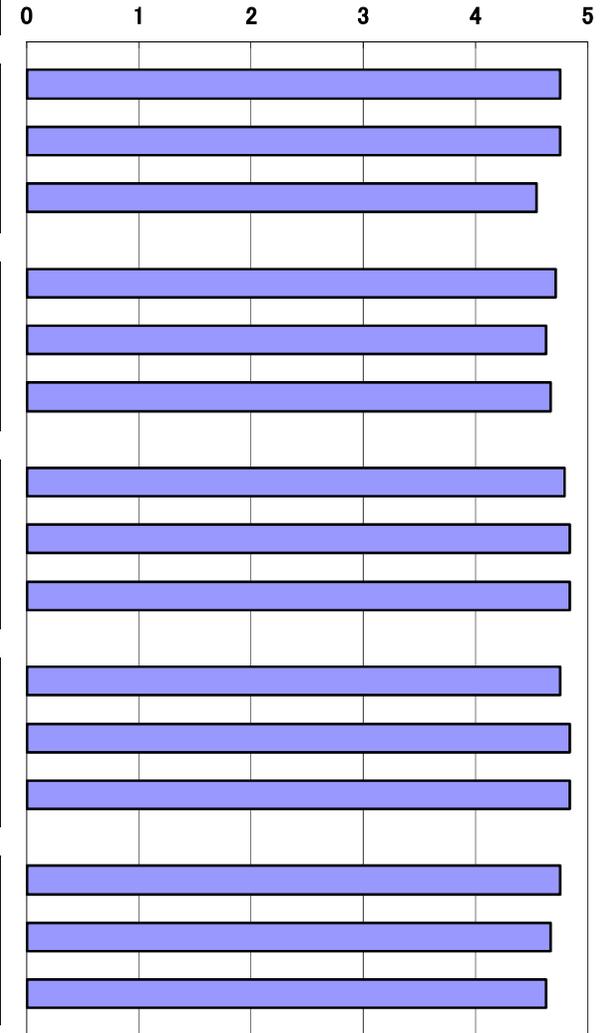


[00]

N=24

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	6	0	0	0	0	4.75	0.43
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	18	6	0	0	0	0	4.75	0.43
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	16	6	1	1	0	0	4.54	0.76
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	17	7	0	0	0	0	4.71	0.45
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	16	7	1	0	0	0	4.63	0.56
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17	6	1	0	0	0	4.67	0.55
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	5	0	0	0	0	4.79	0.41
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	20	4	0	0	0	0	4.83	0.37
⑨	授業の進行速度は適切だった。	20	4	0	0	0	0	4.83	0.37
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	19	4	1	0	0	0	4.75	0.52
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	20	4	0	0	0	0	4.83	0.37
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	4	0	0	0	0	4.83	0.37
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	18	6	0	0	0	0	4.75	0.43
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	8	0	0	0	0	4.67	0.47
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	15	9	0	0	0	0	4.63	0.48



科目コード	1F0501	科目名	英語W1-2	担当教員名	遠藤 花子
-------	--------	-----	--------	-------	-------

<教員からのコメント>

英語W1-2の授業では、合計10回の課題を課し、その都度、一人ずつフィードバックをしながら返却した。学生が熱心に授業に参加し、その結果、大多数の学生のライティング力がアップしたことは嬉しい限りである。ライティングという性質上、かなりの難題を課したことも事実だが、それは学生たちがそれに対応できる能力を身につけられたためであることを付記したい。ただ、マイクの不調もあり、教員の声の聞きとりにくさが指摘されたことに関しては、今後、充分気をつけていきたい点である。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

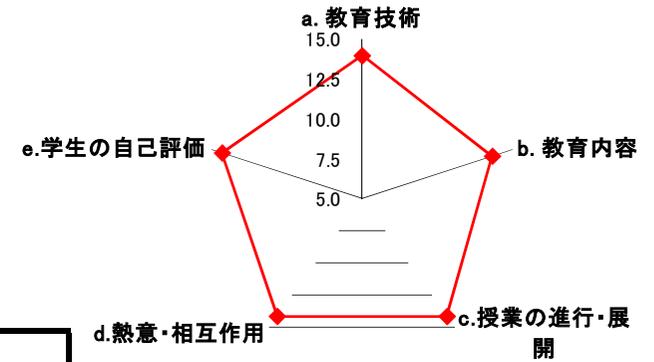
履修者数	30	回収数	25	回収率	83.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-2

担当者:

Brennen L.Terrill

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	25	14.00	1.74
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	25	13.64	1.85
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	25	14.12	1.75
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	25	14.12	1.75
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	25	14.32	1.54



[00]

N=25

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	19	4	2	0	0	0	4.68	0.61
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	4	2	0	0	0	4.68	0.61
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	5	2	0	0	0	4.64	0.62

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	15	8	2	0	0	0	4.52	0.64
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	15	5	5	0	0	0	4.40	0.80
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	20	3	2	0	0	0	4.72	0.60

c. 授業の進行・展開

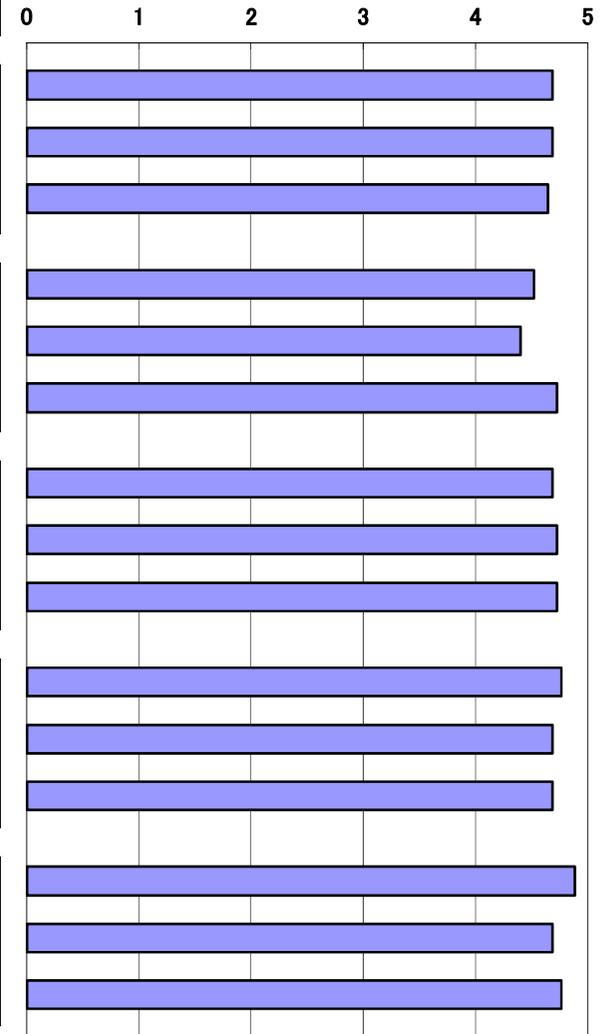
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	20	2	3	0	0	0	4.68	0.68
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21	1	3	0	0	0	4.72	0.66
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	20	3	2	0	0	0	4.72	0.60

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	21	2	2	0	0	0	4.76	0.59
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19	4	2	0	0	0	4.68	0.61
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	2	3	0	0	0	4.68	0.68

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23	1	1	0	0	0	4.88	0.43
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19	4	2	0	0	0	4.68	0.61
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	21	2	2	0	0	0	4.76	0.59



科目コード	1F0502	科目名	英語W1-2	担当教員名	Brennen L.Terrill
-------	--------	-----	--------	-------	-------------------

<教員からのコメント>

Academic English writing is perhaps one of the hardest skills for students to acquire, but I'm glad to see that many of you did take away something from the class. I too learned a lot from you and wish you all the best on your quest for medical excellence.

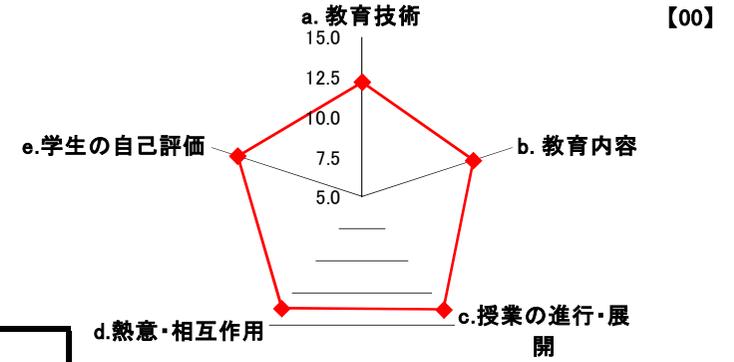
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	30	回収数	25	回収率	83.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-2

担当者:
遠藤 花子

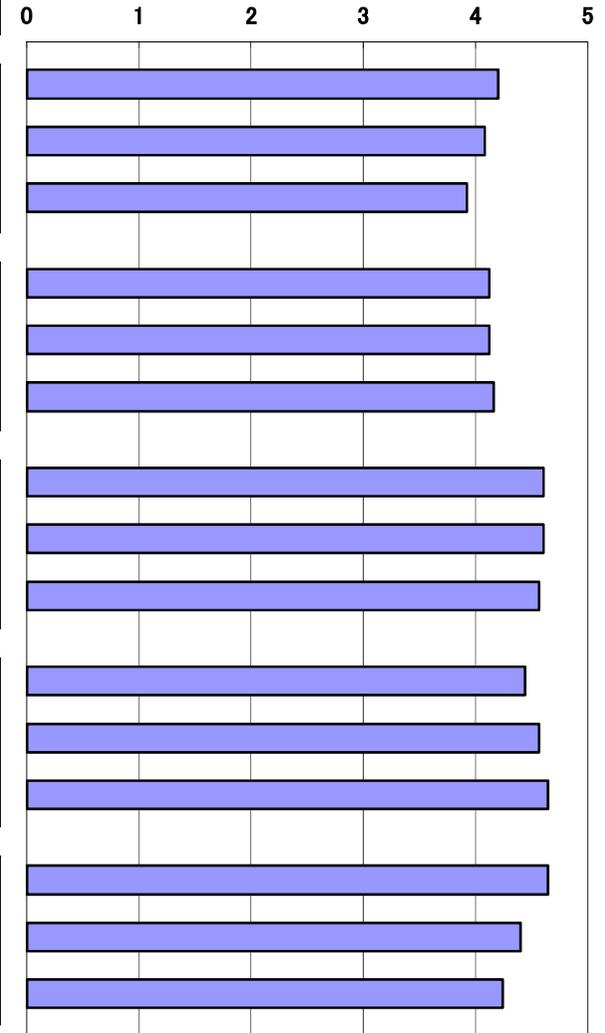
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	25	12.20	2.28
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	25	12.40	2.26
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	25	13.76	1.63
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	25	13.64	1.67
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	25	13.28	1.71



N=25

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	12	4	0	0	0	4.20	0.69
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	13	2	2	0	0	4.08	0.84
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	7	7	2	0	0	3.92	0.98
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	10	6	0	0	0	4.12	0.77
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10	9	5	1	0	0	4.12	0.86
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	12	3	1	0	0	4.16	0.78
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	16	8	1	0	0	0	4.60	0.57
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16	8	1	0	0	0	4.60	0.57
⑨	授業の進行速度は適切だった。	15	9	1	0	0	0	4.56	0.57
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13	10	2	0	0	0	4.44	0.64
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	15	9	1	0	0	0	4.56	0.57
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	17	7	1	0	0	0	4.64	0.56
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	17	7	1	0	0	0	4.64	0.56
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	13	9	3	0	0	0	4.40	0.69
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	13	3	0	0	0	4.24	0.65



科目コード	1F0503	科目名	英語W1-2	担当教員名	遠藤 花子
-------	--------	-----	--------	-------	-------

<教員からのコメント>

英語W1-2の授業では、合計10回の課題を課し、その都度、一人ずつフィードバックをしながら返却した。学生が熱心に授業に参加し、その結果、大多数の学生のライティング力がアップしたことは嬉しい限りである。ライティングという性質上、かなりの難題を課したことも事実だが、それは学生たちがそれに対応できる能力を身につけられたためであることを付記したい。ただ、マイクの不調もあり、教員の声の聞きとりにくさが指摘されたことに関しては、今後、充分気をつけていきたい点である。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

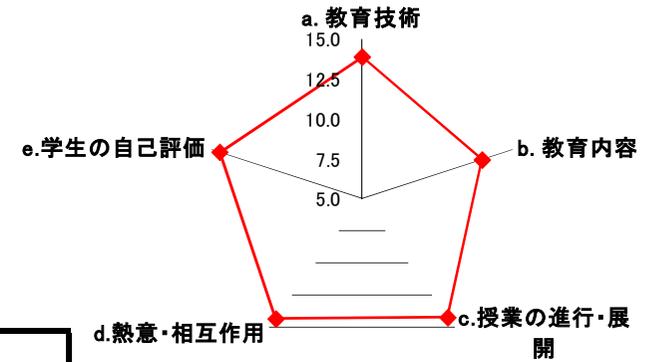
履修者数	32	回収数	30	回収率	93.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W1-2

担当者:

Brennen L.Terrill

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	30	13.90	1.83
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	30	12.97	3.01
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	30	14.20	1.42
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	30	14.30	1.70
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	30	14.47	0.88

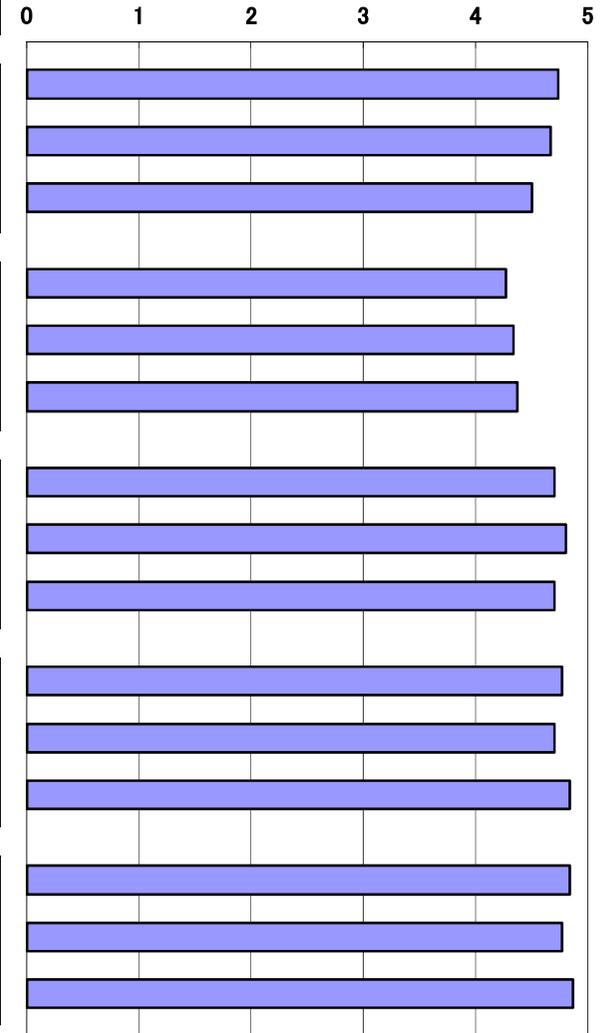


[00]

N=30

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	23	6	1	0	0	0	4.73	0.51
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	22	6	2	0	0	0	4.67	0.60
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	22	4	2	1	1	0	4.50	0.99
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	17	7	4	1	1	0	4.27	1.03
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	18	7	3	1	1	0	4.33	1.01
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	19	7	2	0	2	0	4.37	1.08
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	22	7	1	0	0	0	4.70	0.53
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	24	6	0	0	0	0	4.80	0.40
⑨	授業の進行速度は適切だった。	23	5	2	0	0	0	4.70	0.59
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	25	4	0	1	0	0	4.77	0.62
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	24	5	0	0	1	0	4.70	0.78
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	5	0	0	0	0	4.83	0.37
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	25	5	0	0	0	0	4.83	0.37
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24	5	1	0	0	0	4.77	0.50
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	26	4	0	0	0	0	4.87	0.34



科目コード	1F0504	科目名	英語W1-2	担当教員名	Brennen L.Terrill
-------	--------	-----	--------	-------	-------------------

<教員からのコメント>

Academic English writing is perhaps one of the hardest skills for students to acquire, but I'm glad to see that many of you did take away something from the class. I too learned a lot from you and wish you all the best on your quest for medical excellence.

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	27	回収数	26	回収率	96.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2

担当者:

Benjamin Tutcher

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	26	14.73	0.94
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	26	14.85	0.53
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	26	14.88	0.42
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	26	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	26	14.58	1.31

N=26

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	24 92.3	1 3.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.42
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	24 92.3	1 3.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.88	0.42
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	25 96.2	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	24 92.3	2 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.92	0.27
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	24 92.3	2 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.92	0.27

c. 授業の進行・展開

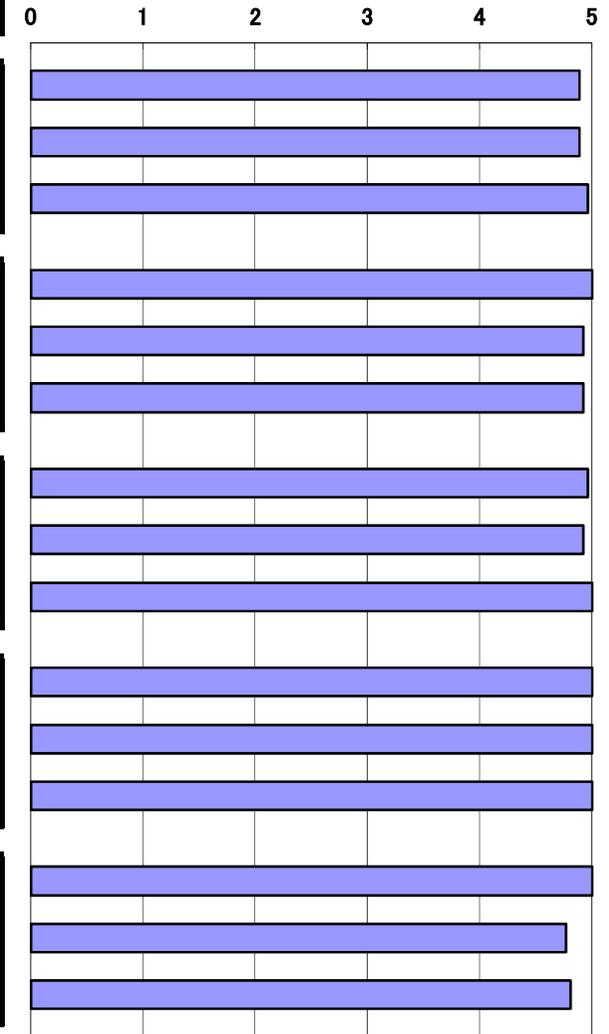
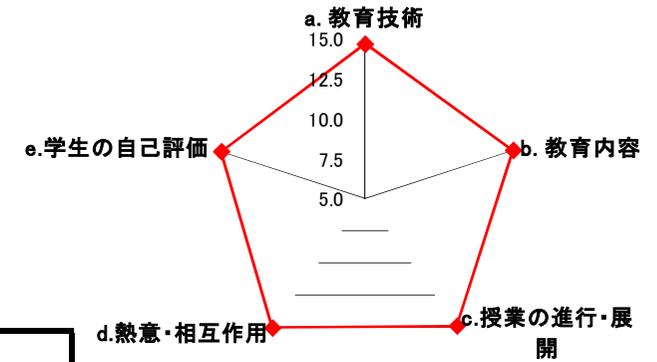
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25 96.2	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.96	0.19
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	25 96.2	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4.92	0.38
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	26 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23 88.5	1 3.8	1 3.8	1 3.8	0 0.0	0 0.0	4.77	0.70
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	23 88.5	2 7.7	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	4.81	0.62



[00]

科目コード	1F0701	科目名	英語LS1-2	担当教員名	Benjamin Tutcher
-------	--------	-----	---------	-------	------------------

<教員からのコメント>

I was very happy to read the students' comments. I enjoyed the lessons very much and the students tried hard and showed enthusiasm. I'm sorry that the textbook was too easy but that was partly because the students' ability was higher than I expected. I am glad that the students could have fun speaking English, one of my targets is to try to make sure that students have positive associations with English. I hope that this will somehow help in the future of the students. Thank you all very much!

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

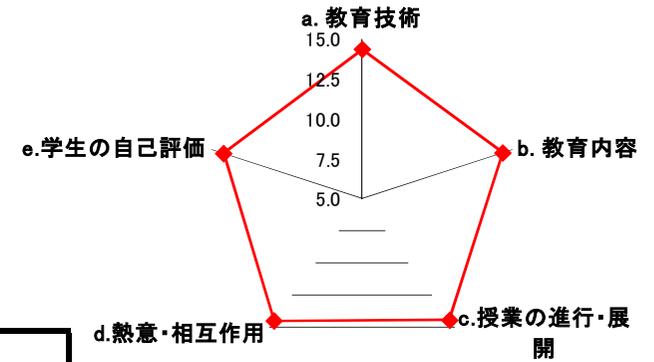
履修者数	23	回収数	23	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:英語LS1-2

担当者:

Tony Dani

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	23	14.39	1.13
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	23	14.35	1.24
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	23	14.39	1.13
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	23	14.48	1.06
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	23	14.22	1.10

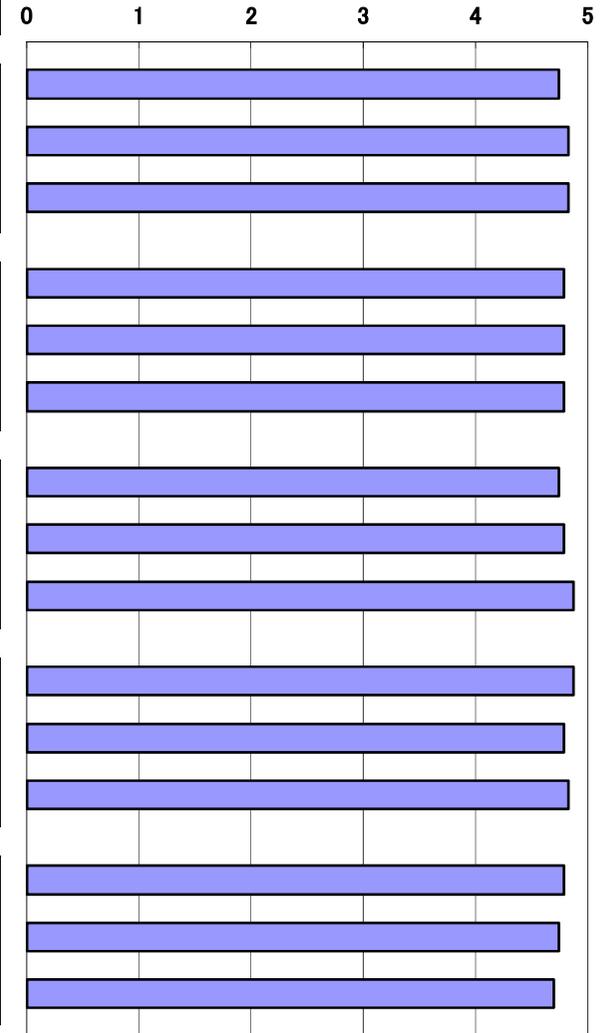


[00]

N=23

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17	6	0	0	0	0	4.74	0.44
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	4	0	0	0	0	4.83	0.38
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19	4	0	0	0	0	4.83	0.38
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	18	5	0	0	0	0	4.78	0.41
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	18	5	0	0	0	0	4.78	0.41
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	18	5	0	0	0	0	4.78	0.41
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	17	6	0	0	0	0	4.74	0.44
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	19	3	1	0	0	0	4.78	0.51
⑨	授業の進行速度は適切だった。	20	3	0	0	0	0	4.87	0.34
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	20	3	0	0	0	0	4.87	0.34
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18	5	0	0	0	0	4.78	0.41
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	19	4	0	0	0	0	4.83	0.38
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	18	5	0	0	0	0	4.78	0.41
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17	6	0	0	0	0	4.74	0.44
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16	7	0	0	0	0	4.70	0.46



科目コード	1F0702	科目名	英語LS1-2	担当教員名	Tony Dani
-------	--------	-----	---------	-------	-----------

<教員からのコメント>

I appreciate receiving many positive comments from my students and seeing such favorable overall results on my score data. It is immensely important as a teacher that my students are enjoying or have enjoyed my classes and are able to grow in confidence as a result. I believe such results are a result of my continuing effort to create a positive class environment in which students can develop their English communication skills in a relaxed, but focused manner. Finally, I feel that as an Instructor, I also need to be adapting and updating my teaching methods and materials to reflect my students abilities and goals. Therefore I always endeavor to adapt – term by term – my teaching methodologies based on my students and my own class room experiences.

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	15	回収数	12	回収率	80.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2

担当者:

Brennen L.Terrill

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	12	13.58	1.61
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	12	13.75	1.53
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	12	13.75	1.48
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	12	13.75	1.48
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	12	14.00	1.08

N=12

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7	5	0	0	0	0	4.58	0.49
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	6	4	2	0	0	0	4.33	0.75
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	4	0	0	0	0	4.67	0.47

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	8	4	0	0	0	0	4.67	0.47
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	7	4	1	0	0	0	4.50	0.65
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	7	5	0	0	0	0	4.58	0.49

c. 授業の進行・展開

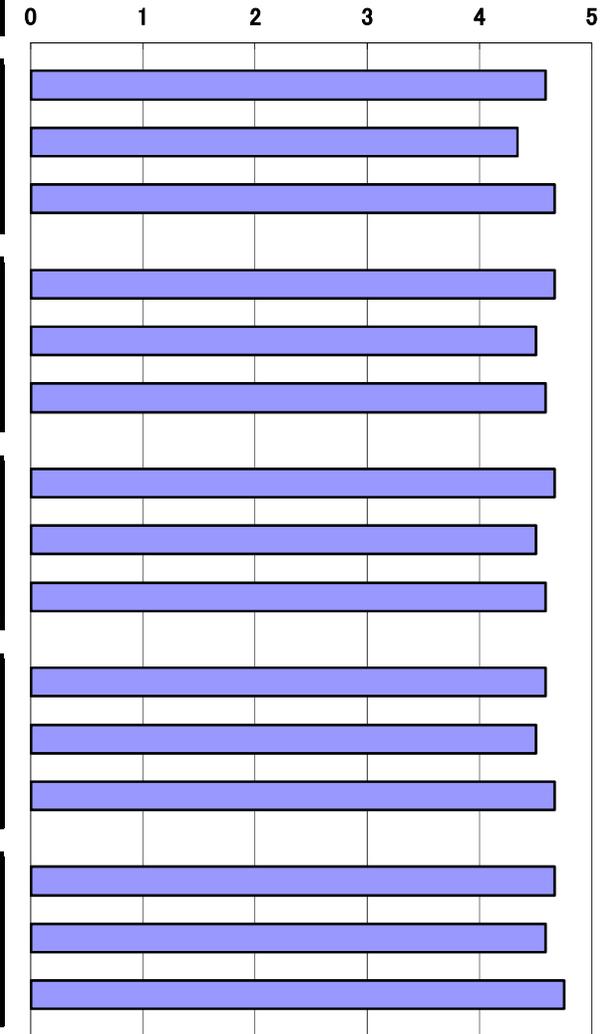
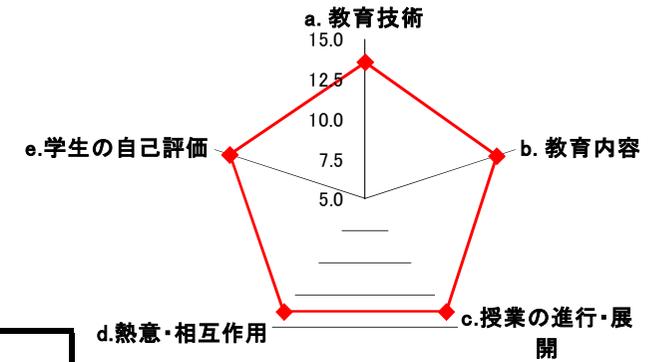
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	4	0	0	0	0	4.67	0.47
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	7	4	1	0	0	0	4.50	0.65
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	7	5	0	0	0	0	4.58	0.49

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	7	5	0	0	0	0	4.58	0.49
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	7	4	1	0	0	0	4.50	0.65
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	4	0	0	0	0	4.67	0.47

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8	4	0	0	0	0	4.67	0.47
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7	5	0	0	0	0	4.58	0.49
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	3	0	0	0	0	4.75	0.43



[00]

科目コード	1F0703	科目名	英語LS1-2	担当教員名	Brennen L.Terrill
-------	--------	-----	---------	-------	-------------------

<教員からのコメント>

Thank you very much for your comments. I'll try to incorporate your feedback in my future lesson planning. I hope you continue to practice, expand, and use your English skills. Like any skill, without use they will atrophy. Good luck with your future studies.

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

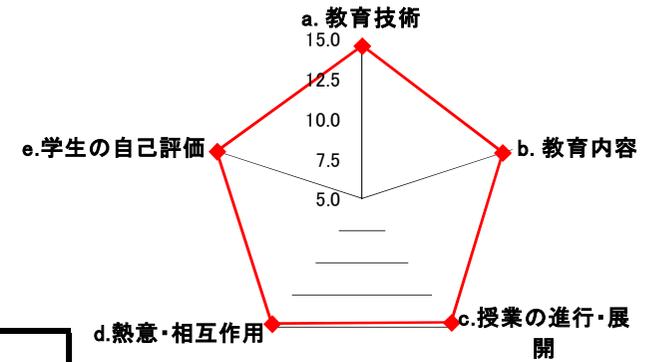
履修者数	23	回収数	20	回収率	87.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2

担当者:

Benjamin Tutcher

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	20	14.60	0.92
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	20	14.35	1.06
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	20	14.60	0.86
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	20	14.70	0.90
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	20	14.65	0.73

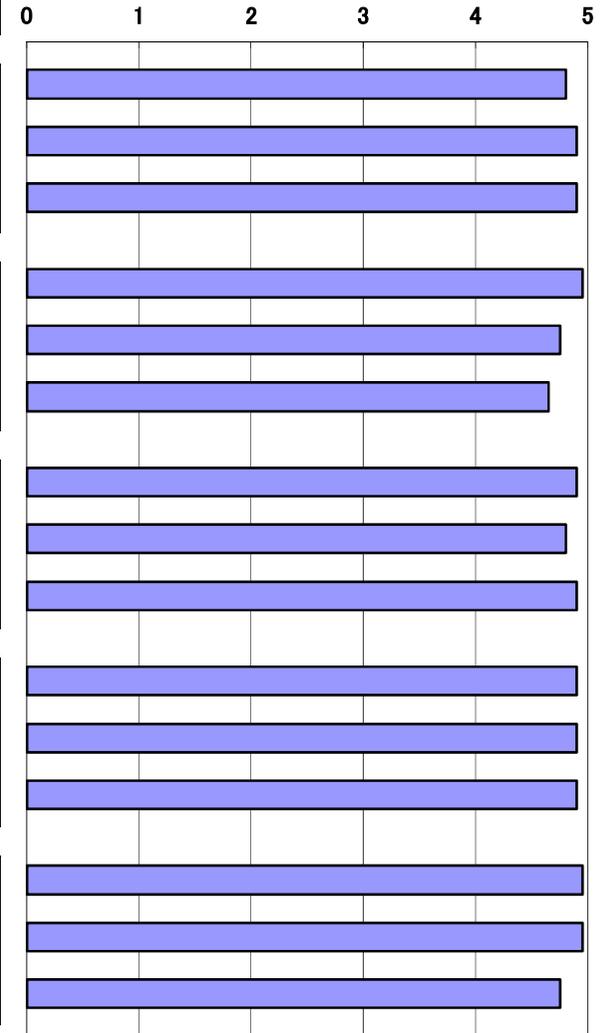


[00]

N=20

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	16	4	0	0	0	0	4.80	0.40
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	19	1	0	0	0	0	4.95	0.22
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	15	5	0	0	0	0	4.75	0.43
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	14	5	1	0	0	0	4.65	0.57
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16	4	0	0	0	0	4.80	0.40
⑨	授業の進行速度は適切だった。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	18	2	0	0	0	0	4.90	0.30
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19	1	0	0	0	0	4.95	0.22
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	19	1	0	0	0	0	4.95	0.22
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16	3	1	0	0	0	4.75	0.54



科目コード	1F0704	科目名	英語LS1-2	担当教員名	Benjamin Tutcher
-------	--------	-----	---------	-------	------------------

<教員からのコメント>

Thank you for your kind comments. Teaching the Listening and Speaking classes was always a pleasure and the students' efforts made it very enjoyable for me too. I'm sorry that the textbook was too easy but that was partly because the students' ability was higher than I expected. I hope students will have some positive memories of speaking English and will have increased confidence to use it in their future. My thanks to all of you!

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

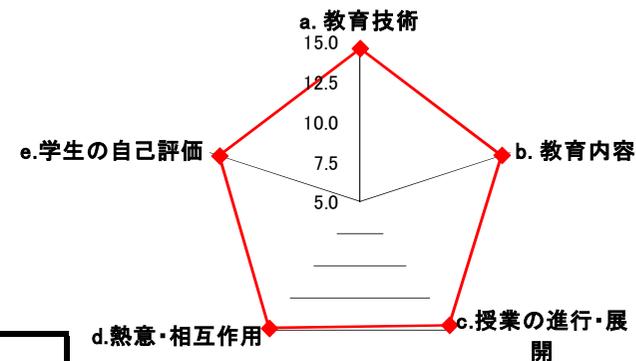
履修者数	21	回収数	19	回収率	90.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2

担当者:

Tony Dani

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	19	14.63	0.58
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	19	14.42	1.82
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	19	14.58	0.94
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	19	14.79	0.69
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	19	14.37	1.09

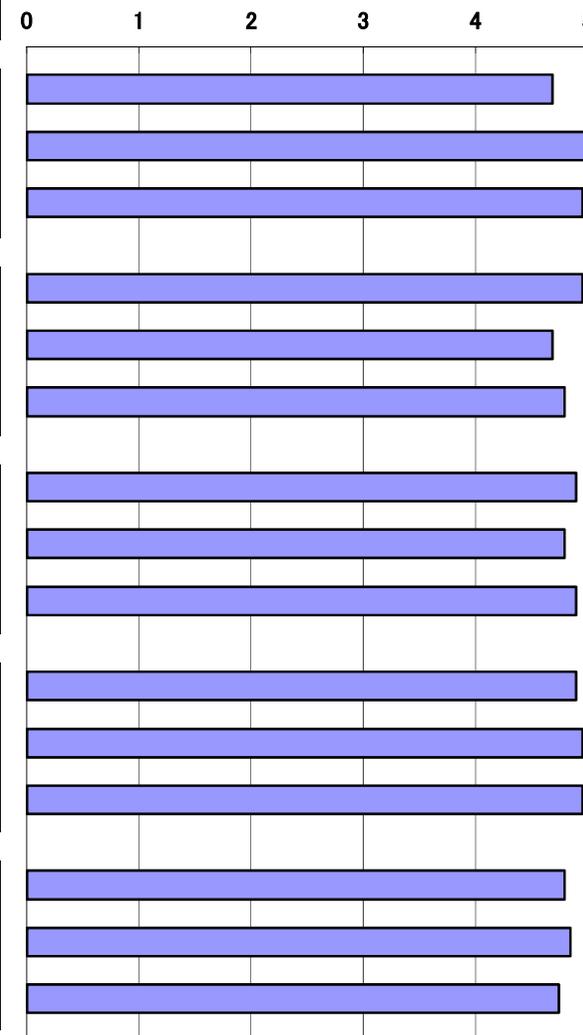


[00]

N=19

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	14	4	1	0	0	0	4.68	0.57
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	18	1	0	0	0	0	4.95	0.22
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	18	1	0	0	0	0	4.95	0.22
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	16	2	0	0	1	0	4.68	0.92
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	17	1	0	1	0	0	4.79	0.69
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	17	2	0	0	0	0	4.89	0.31
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16	2	1	0	0	0	4.79	0.52
⑨	授業の進行速度は適切だった。	17	2	0	0	0	0	4.89	0.31
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17	2	0	0	0	0	4.89	0.31
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18	1	0	0	0	0	4.95	0.22
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	18	1	0	0	0	0	4.95	0.22
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	15	4	0	0	0	0	4.79	0.41
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	3	0	0	0	0	4.84	0.36
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14	5	0	0	0	0	4.74	0.44



科目コード	1F0705	科目名	英語LS1-2	担当教員名	Tony Dani
-------	--------	-----	---------	-------	-----------

<教員からのコメント>

As with my other class, I am glad to have received many favorable comments as well a positive survey analysis. As I previously mentioned, it is very important as an instructor to know how ones students respond to my classes in order that I can adapt and update my teaching strategies for the next and following terms to come. I will certainly take into account my experiences this term as well as last terms feedback when planning next years courses

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

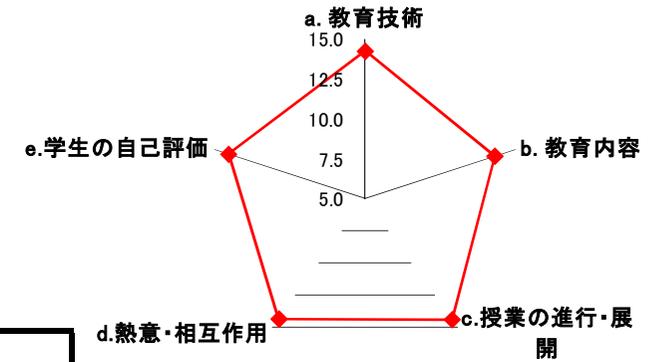
履修者数	23	回収数	22	回収率	95.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語LS1-2

担当者:

Brennen L.Terrill

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	22	14.27	1.14
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	22	13.64	1.49
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	22	14.36	1.11
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	22	14.32	1.55
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	22	14.09	1.12

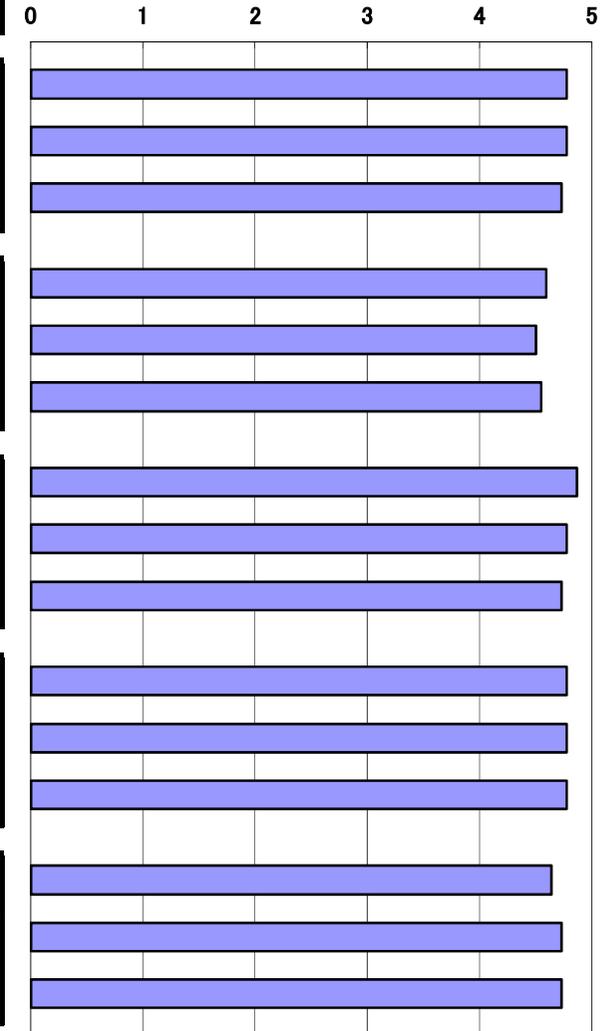


[00]

N=22

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17	5	0	0	0	0	4.77	0.42
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	18	3	1	0	0	0	4.77	0.52
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17	4	1	0	0	0	4.73	0.54
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	14	7	1	0	0	0	4.59	0.58
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	12	9	1	0	0	0	4.50	0.58
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	14	6	2	0	0	0	4.55	0.66
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	19	3	0	0	0	0	4.86	0.34
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	5	0	0	0	0	4.77	0.42
⑨	授業の進行速度は適切だった。	16	6	0	0	0	0	4.73	0.45
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	19	1	2	0	0	0	4.77	0.60
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18	3	1	0	0	0	4.77	0.52
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	19	1	2	0	0	0	4.77	0.60
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	14	8	0	0	0	0	4.64	0.48
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	16	6	0	0	0	0	4.73	0.45
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	17	4	1	0	0	0	4.73	0.54



科目コード	1F0706	科目名	英語LS1-2	担当教員名	Brennen L.Terrill
-------	--------	-----	---------	-------	-------------------

<教員からのコメント>

Thank you very much for your comments. I'll try to incorporate your feedback in my future lesson planning. I hope you continue to practice, expand, and use your English skills. Like any skill, without use they will atrophy. Good luck with your future studies.

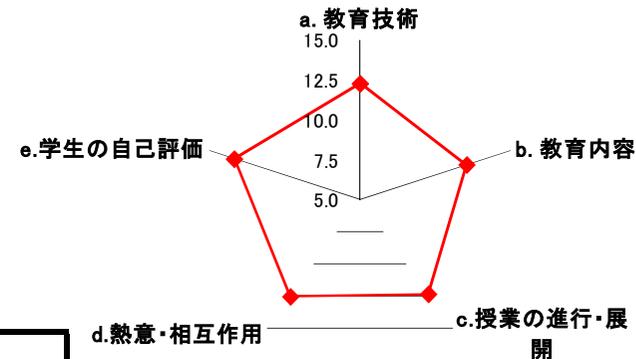
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	44	回収数	39	回収率	88.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-2

担当者:
富田 佳子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	39	12.31	1.98
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	39	12.08	2.52
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	39	12.33	2.38
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	38	12.50	2.07
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	39	13.36	1.66

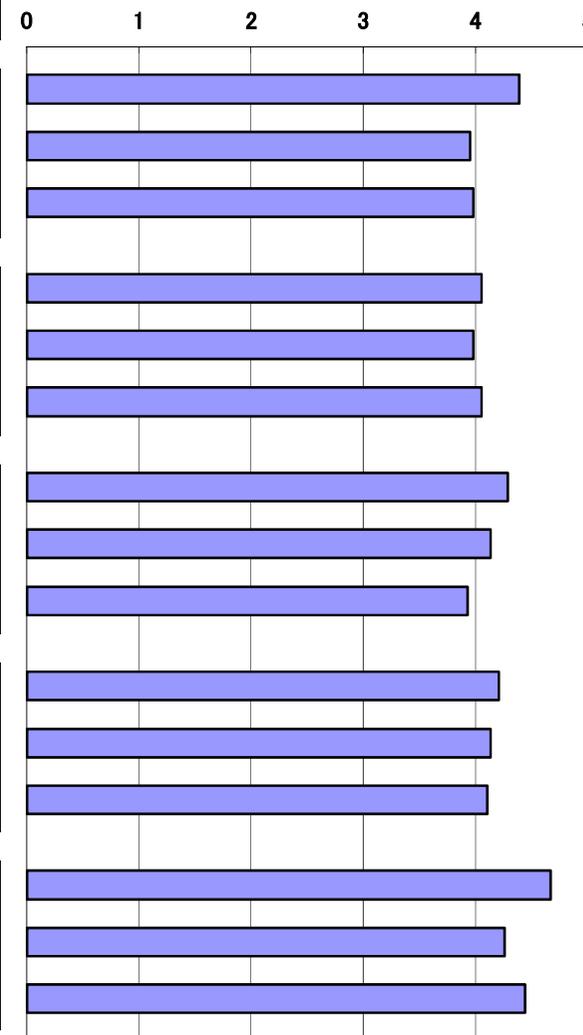


[00]

N=39

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17	20	2	0	0	0	4.38	0.58
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	17	9	2	0	0	3.95	0.85
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12	16	9	2	0	0	3.97	0.86
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	10	22	6	1	0	0	4.05	0.71
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	12	19	5	1	2	0	3.97	1.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	13	19	4	2	1	0	4.05	0.93
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	17	17	4	1	0	0	4.28	0.75
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	15	15	8	1	0	0	4.13	0.82
⑨	授業の進行速度は適切だった。	12	18	5	2	2	0	3.92	1.05
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	15	18	5	1	0	0	4.21	0.76
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	20	5	0	1	0	4.13	0.82
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	19	4	1	0	1	4.10	0.98
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	27	11	1	0	0	0	4.67	0.52
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17	16	5	1	0	0	4.26	0.78
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	20	16	3	0	0	0	4.44	0.63



科目コード	1F0901	科目名	R2-2	担当教員名	富田佳子
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

半年という短い期間の中で、みなさんは、基本的な文法の総復習と医療関係の用語を多く含むテキストの読解に、積極的に取り組み、さらに、細かなチェックの入る毎週の復習テストにも忍耐強く準備をしてくれました。この授業で獲得した英語力、知識や実行力が、将来、さまざまな場面で、みなさんの役に立ってくれるだろうことを願っています。

わたくしの方での授業の改善点はできるだけ考慮させていただき、より良い授業ができるよう努力していきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

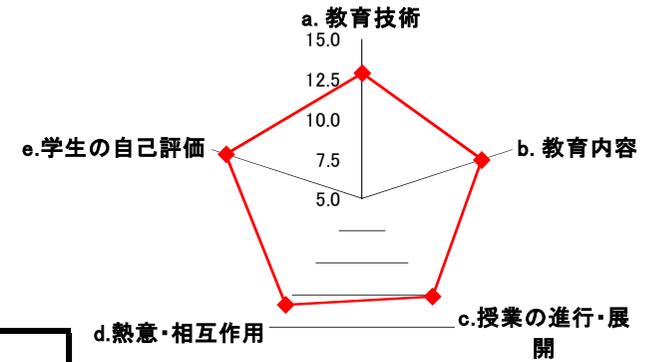
履修者数	40	回収数	35	回収率	87.5%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-2

担当者:

皆川 健次郎

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	35	12.89	2.48
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	35	12.94	1.82
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	35	12.57	2.27
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	34	13.24	1.77
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	35	14.06	1.19

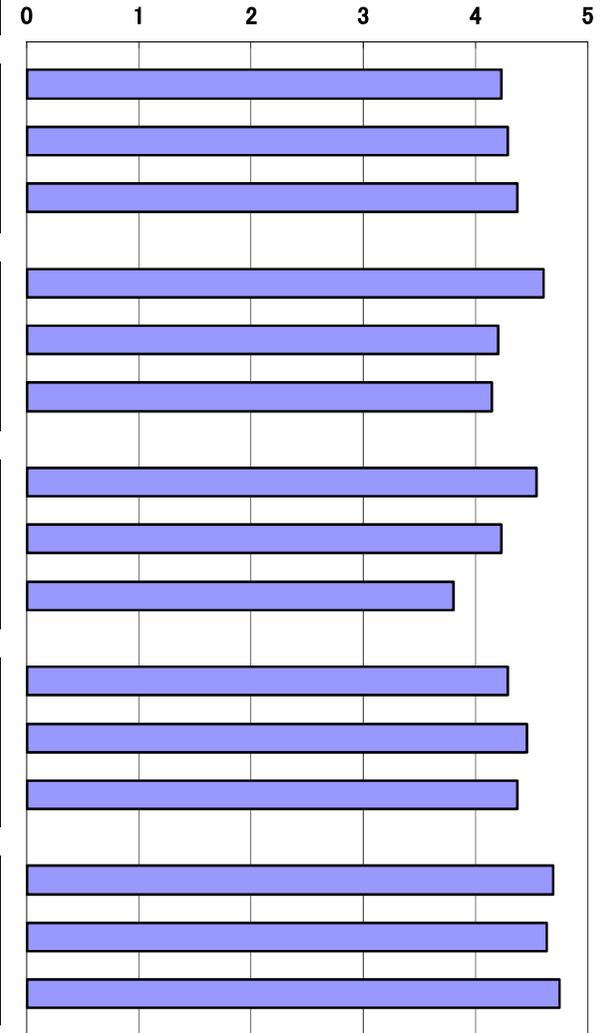


[00]

N=35

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	授業の内容はわかりやすかった。	授業の内容は興味のあるものだった。	この授業は自分にとって価値があった。	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	授業の進行速度は適切だった。	教員の熱意が伝わってきた。	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。
16	18	21	22	13	15	22	16	14	17	18	19	24	24	26
45.7	51.4	60.0	62.9	37.1	42.9	62.9	45.7	40.0	48.6	51.4	54.3	68.6	68.6	74.3
12	12	9	12	16	11	10	12	6	12	15	13	11	9	9
6	3	3	1	6	8	3	6	10	5	2	2	0	2	0
1	1	1	0	0	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.23	4.29	4.37	4.60	4.20	4.14	4.54	4.23	3.80	4.29	4.46	4.37	4.69	4.63	4.74
0.83	0.94	0.96	0.55	0.71	0.87	0.65	0.83	1.17	0.81	0.60	0.96	0.46	0.59	0.44



科目コード	1F0902	科目名	英語R2-2	担当教員名	皆川 健次郎
-------	--------	-----	--------	-------	--------

<教員からのコメント>

例年より難しいプリントを使用しているため、丁寧に解説しすぎました。もう少し進度を速くしたいと思います。

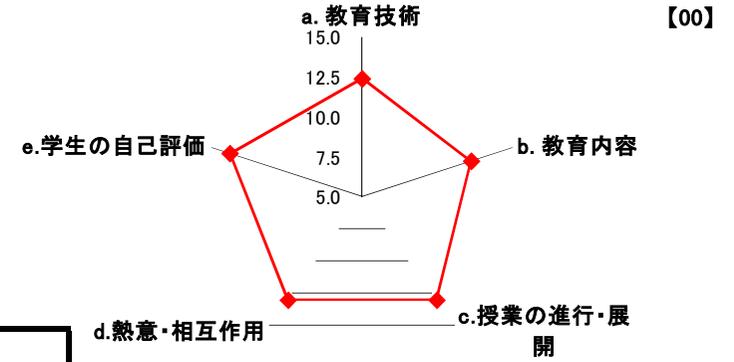
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	33	回収数	28	回収率	84.8%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-2

担当者:
富田 佳子

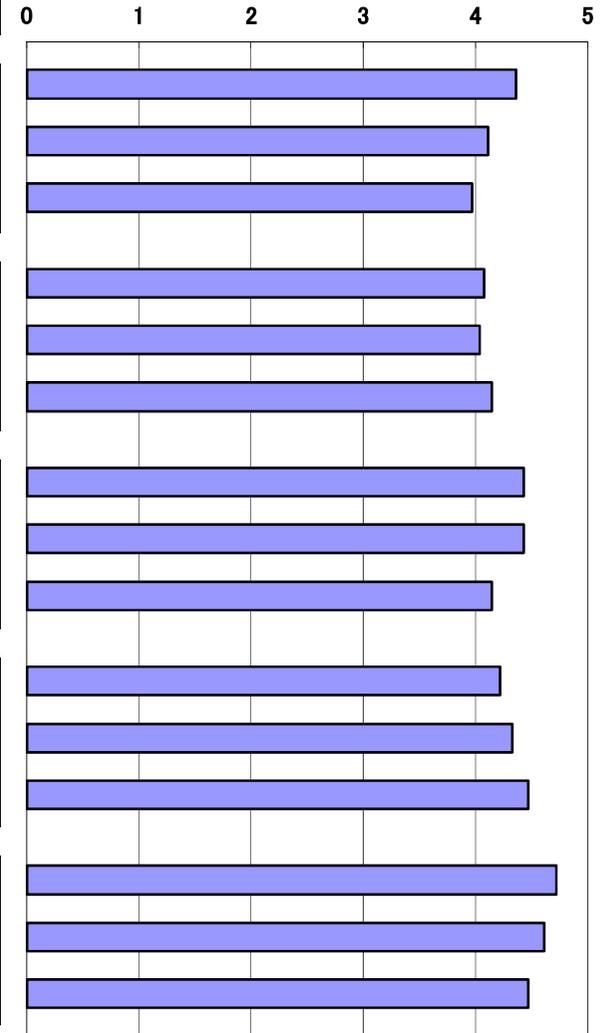
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	28	12.43	2.96
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	28	12.25	3.08
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	28	13.00	2.71
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	28	13.00	2.52
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	28	13.79	1.40



N=28

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	16	9	1	1	1	0	4.36	0.97
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	12	10	4	1	1	0	4.11	1.01
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12	9	3	2	2	0	3.96	1.21
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	13	7	6	1	1	0	4.07	1.07
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	13	8	3	3	1	0	4.04	1.15
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	13	9	4	1	1	0	4.14	1.03
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	17	8	2	0	1	0	4.43	0.90
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	16	10	1	0	1	0	4.43	0.86
⑨	授業の進行速度は適切だった。	15	7	3	1	2	0	4.14	1.19
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	13	10	4	0	1	0	4.21	0.94
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	16	8	2	1	1	0	4.32	1.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	16	11	0	0	1	0	4.46	0.82
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	21	6	1	0	0	0	4.71	0.52
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	17	11	0	0	0	0	4.61	0.49
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	16	9	3	0	0	0	4.46	0.68



科目コード	1F0903	科目名	R2-2	担当教員名	富田佳子
-------	--------	-----	------	-------	------

<教員からのコメント>

半年という短い期間の中で、みなさんは、基本的な文法の総復習と医療関係の用語を多く含むテキストの読解に、積極的に取り組み、さらに、細かなチェックの入る毎週の復習テストにも忍耐強く準備をしてくれました。この授業で獲得した英語力、知識や実行力が、将来、さまざまな場面で、みなさんの役に立ってくれるだろうことを願っています。

わたくしの方での授業の改善点はできるだけ考慮させていただき、より良い授業ができるよう努力していきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

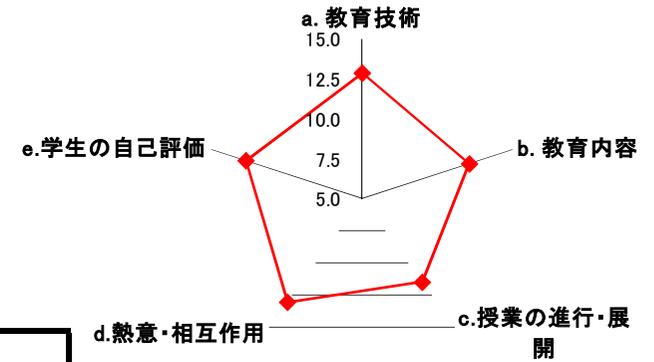
履修者数	39	回収数	33	回収率	84.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語R2-2

担当者:

皆川 健次郎

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	33	12.88	2.00
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	33	12.12	2.16
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	33	11.45	2.50
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	32	13.03	1.96
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	33	12.73	1.69

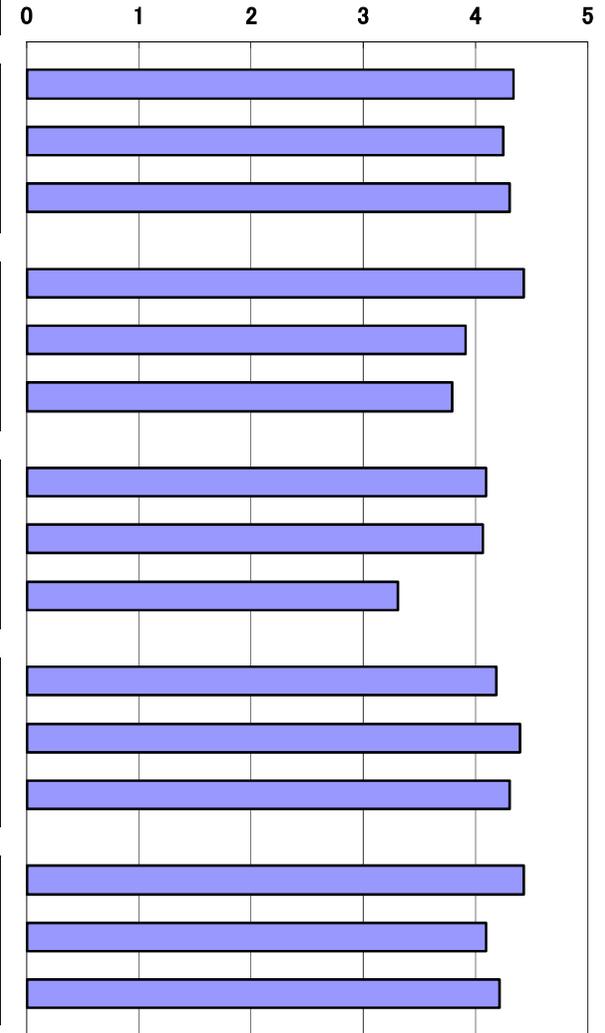


[00]

N=33

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	授業の内容はわかりやすかった。	授業の内容は興味のあるものだった。	この授業は自分にとって価値があった。	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	授業の進行速度は適切だった。	教員の熱意が伝わってきた。	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。
15	14	12	17	11	8	13	12	8	13	16	18	14	11	12
45.5	42.4	48.5	51.5	33.3	24.2	39.4	36.4	24.2	39.4	48.5	54.5	42.4	33.3	36.4
4	4	4	3	8	9	8	7	11	7	3	2	0	5	5
0	0	1	0	3	3	1	0	4	0	0	1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.33	4.24	4.30	4.42	3.91	3.79	4.09	4.06	3.30	4.18	4.39	4.30	4.42	4.09	4.21
0.68	0.74	0.80	0.65	0.96	0.91	0.87	0.92	1.29	0.76	0.65	1.06	0.49	0.87	0.69



科目コード	1F0904	科目名	英語R2-2	担当教員名	皆川 健次郎
-------	--------	-----	--------	-------	--------

例年より難しいプリントを使用しているため、丁寧に解説しすぎました。進度に気を付けてもう少し速く授業を進めていきたいと思ひます。

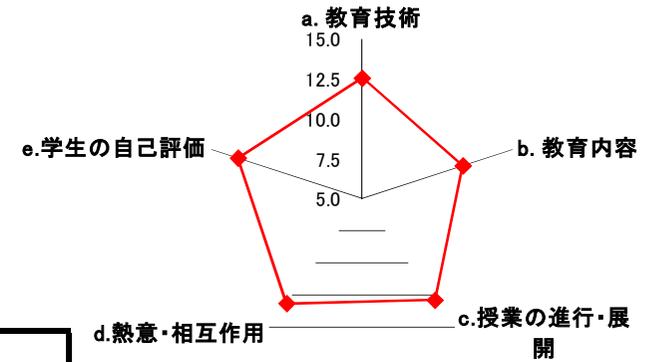
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	32	回収数	27	回収率	84.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:英語W2-2

担当者:
佐藤 真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	27	12.59	2.11
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	27	11.70	3.11
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	27	12.85	2.01
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	25	13.12	1.99
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	27	13.26	1.65



[00]

N=27

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10	11	4	2	0	0	4.07	0.90
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	11	4	1	0	0	4.19	0.82
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12	12	3	0	0	0	4.33	0.67

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	10	6	7	3	1	0	3.78	1.17
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	10	7	7	0	3	0	3.78	1.26
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	13	8	4	1	1	0	4.15	1.04

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	14	10	3	0	0	0	4.41	0.68
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	14	11	2	0	0	0	4.44	0.63
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	11	8	5	3	0	0	4.00	1.02

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	11	9	5	1	1	0	4.04	1.04
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	13	13	1	0	0	0	4.44	0.57
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	15	9	1	0	0	2	4.22	1.31

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	19	8	0	0	0	0	4.70	0.46
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	12	3	0	1	0	4.19	0.90
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	13	11	3	0	0	0	4.37	0.67



科目コード	1F1100	科目名	英語W2-2	担当教員名	佐藤眞
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

「日本語でも思いつかない題材はやめてほしい」というコメントがありましたが、授業では基本的な書き進め方や全体の構成を学んだ後に、実際に書いてもらうようにしています。その際に「題材を何にするか」は自分で考えることにしてありましたね。思いつかない場合は、“Suggested Topics” から選ぶことも可としました。この参考として提示した「題材」のことでしょうか？「自分で題材を考えること」という部分をもう少し強調するようにしましょう。また、「返却が遅い」というコメントもありました。早く返却できるように努力します。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

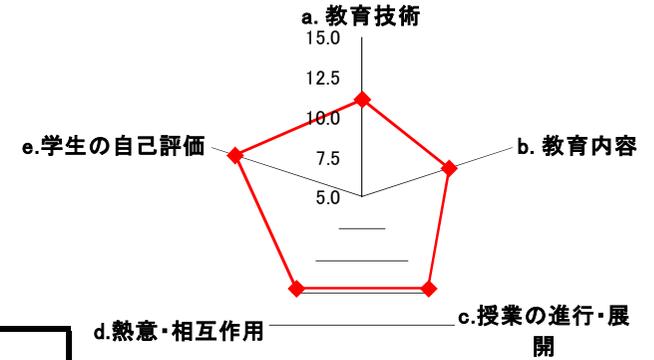
履修者数	11	回収数	9	回収率	81.8%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:英語W2-2

担当者:

佐藤 真

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	11.11	1.52
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	10.78	2.15
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	12.11	1.52
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	9	12.11	1.59
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	13.44	1.64

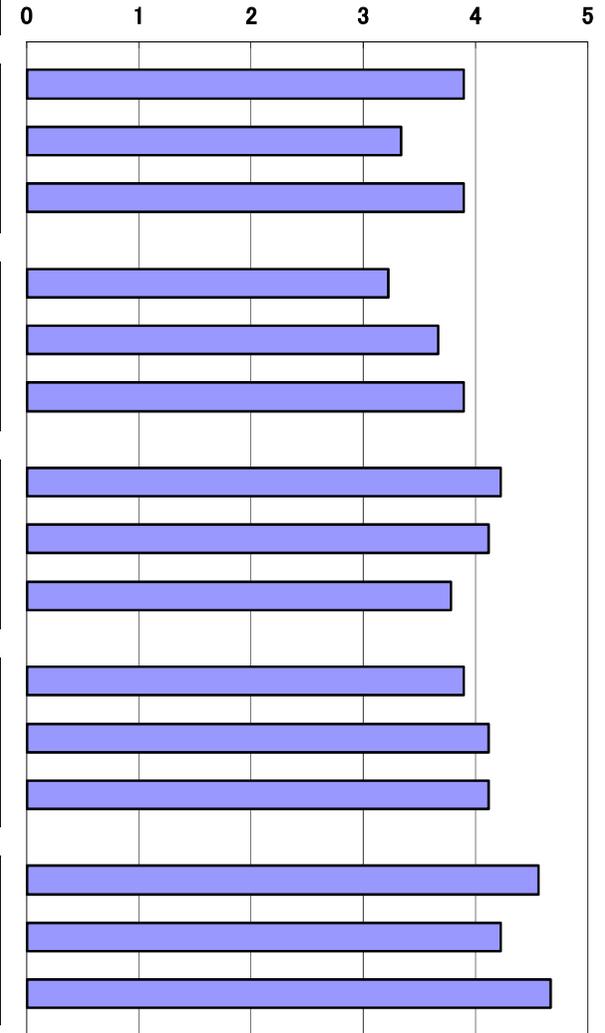


[00]

N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	1	6	2	0	0	0	3.89	0.57
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	0	4	4	1	0	0	3.33	0.67
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	6	2	0	0	0	3.89	0.57
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	1	2	4	2	0	0	3.22	0.92
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	2	3	3	1	0	0	3.67	0.94
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	2	4	3	0	0	0	3.89	0.74
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	3	5	1	0	0	0	4.22	0.63
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2	6	1	0	0	0	4.11	0.57
⑨	授業の進行速度は適切だった。	1	5	3	0	0	0	3.78	0.63
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	1	6	2	0	0	0	3.89	0.57
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	2	6	1	0	0	0	4.11	0.57
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	2	6	1	0	0	0	4.11	0.57
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	6	2	1	0	0	0	4.56	0.68
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5	1	3	0	0	0	4.22	0.92
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47



科目コード	1F1103	科目名	英語W2-2	担当教員名	佐藤眞
-------	--------	-----	--------	-------	-----

<教員からのコメント>

「課題の数が多い」というコメントがありました。編入生にのみなさんには、前期の復習から始めて、今期の内容へというつもりがあったため、課題数が多めになったかも知れません。もう一度授業の内容を検討してみます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

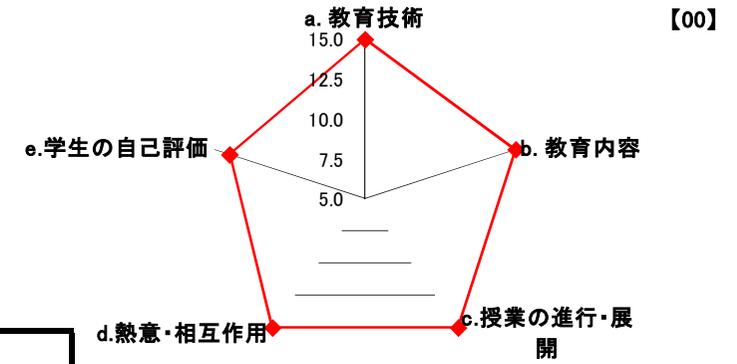
履修者数	3	回収数	1	回収率	33.3%
------	---	-----	---	-----	-------

科目:英語LS2-2

担当者:

川崎 修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	1	15.00	0.00
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	1	15.00	0.00
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	1	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	1	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	1	14.00	0.00



N=1

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

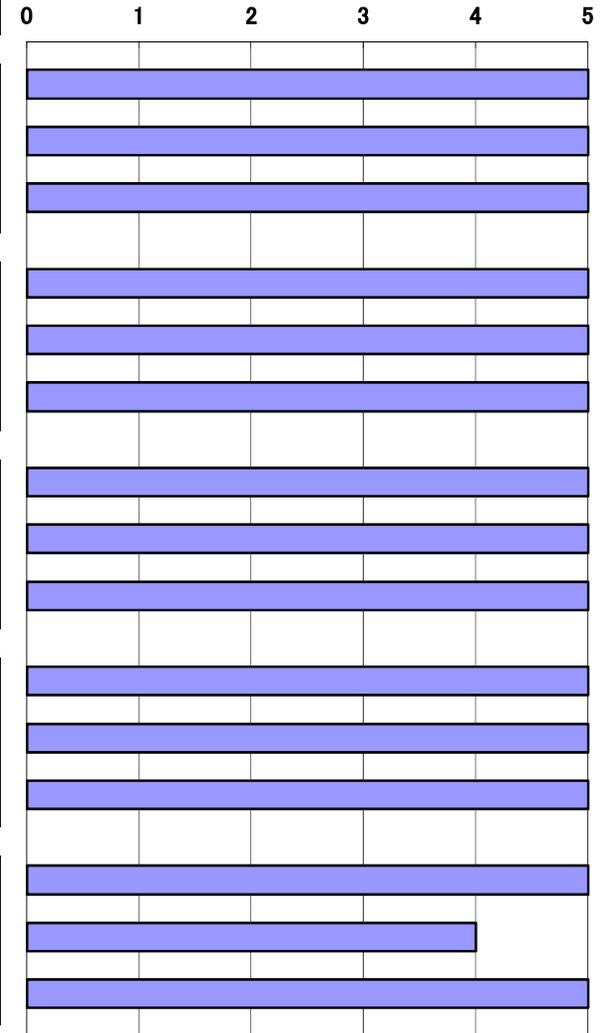
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	0	4.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	1	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1F1300	科目名	英語LS2-2	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	---------	-------	------

<教員からのコメント>

素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。過大な評価には恐縮します。これを励みに更に精進したいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

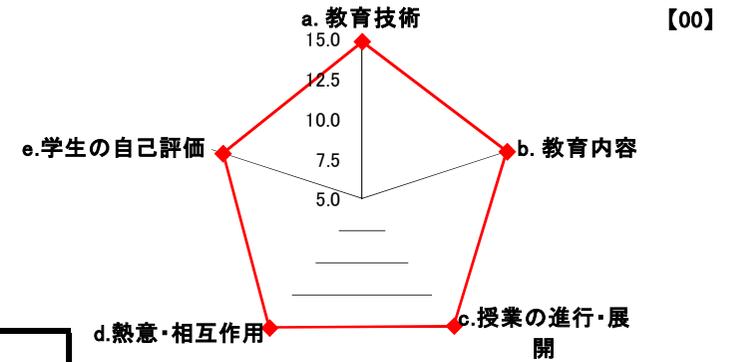
履修者数	10	回収数	8	回収率	80.0%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:英語文献を読むⅡ

担当者:

川崎 修一

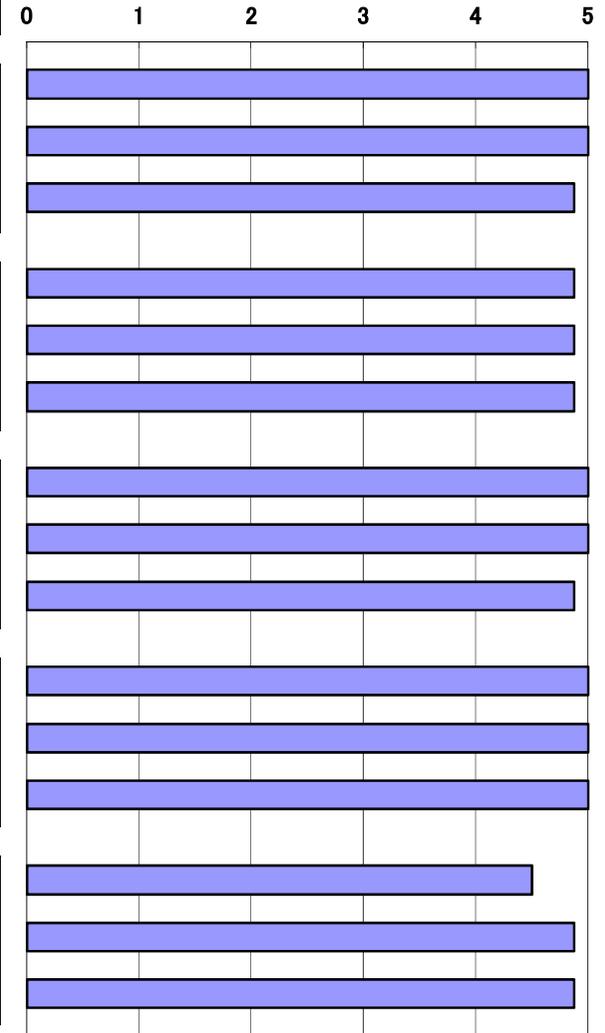
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	8	14.88	0.33
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	8	14.63	0.99
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	8	14.88	0.33
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	8	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	8	14.25	1.30



N=8

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7	1	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	7	1	0	0	0	0	4.88	0.33
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.88	0.33
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7	1	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	7	1	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	5	2	1	0	0	0	4.50	0.71
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.88	0.33
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	7	1	0	0	0	0	4.88	0.33
		87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1F1500	科目名	英語文献を読むⅡ	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	----------	-------	------

<教員からのコメント>

素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。過大な評価には恐縮します。これを励みに更に精進したいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	23	回収数	20	回収率	87.0%
------	----	-----	----	-----	-------

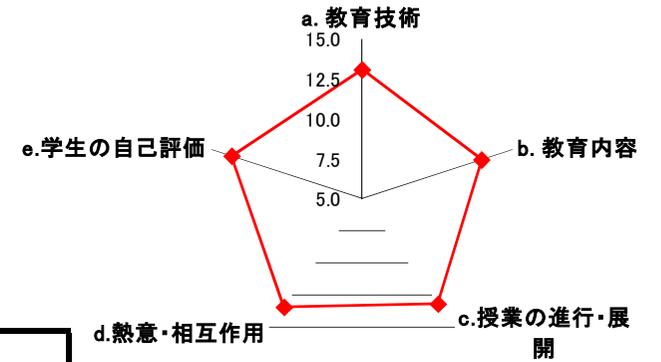
[00]

科目:中国語Ⅱ

担当者:

王 英輝

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	20	13.10	2.00
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	20	12.95	2.06
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	20	13.15	1.90
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	20	13.40	1.98
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	19	13.68	1.97



N=20

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10	7	3	0	0	0	4.35	0.73
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	9	2	0	0	0	4.35	0.65
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	8	2	0	0	0	4.40	0.66
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	8	3	0	0	0	4.30	0.71
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9	8	3	0	0	0	4.30	0.71
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	9	2	0	0	0	4.35	0.65
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10	8	2	0	0	0	4.40	0.66
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	7	3	0	0	0	4.35	0.73
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10	8	2	0	0	0	4.40	0.66
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11	7	2	0	0	0	4.45	0.67
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	12	6	2	0	0	0	4.50	0.67
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11	7	2	0	0	0	4.45	0.67
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	15	3	1	0	0	1	4.50	1.16
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	5	2	1	0	0	4.40	0.86
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	12	6	1	1	0	0	4.45	0.80



科目コード	1F1701	科目名	中国語	担当教員名	王英輝
-------	--------	-----	-----	-------	-----

<教員からのコメント>

途中で教員が変わってしまいましたが、皆さんはとても熱心に授業に取り込みました。中国語を楽しく学べてよかった、自分でさらに深く勉強したいという嬉しいコメントをいただき、とても励みになりました。授業がわかりやすいというコメントをいただき、嬉しく思いました。できるだけわかりやすい言葉で反復して説明することを心がけていました。今後さらにいい授業ができるよう努力したいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

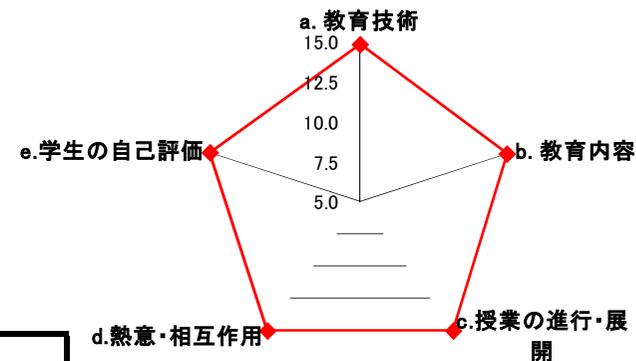
履修者数	11	回収数	9	回収率	81.8%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:中国語Ⅱ

担当者:

王 英輝

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	14.89	0.31
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	14.78	0.63
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	9	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	15.00	0.00

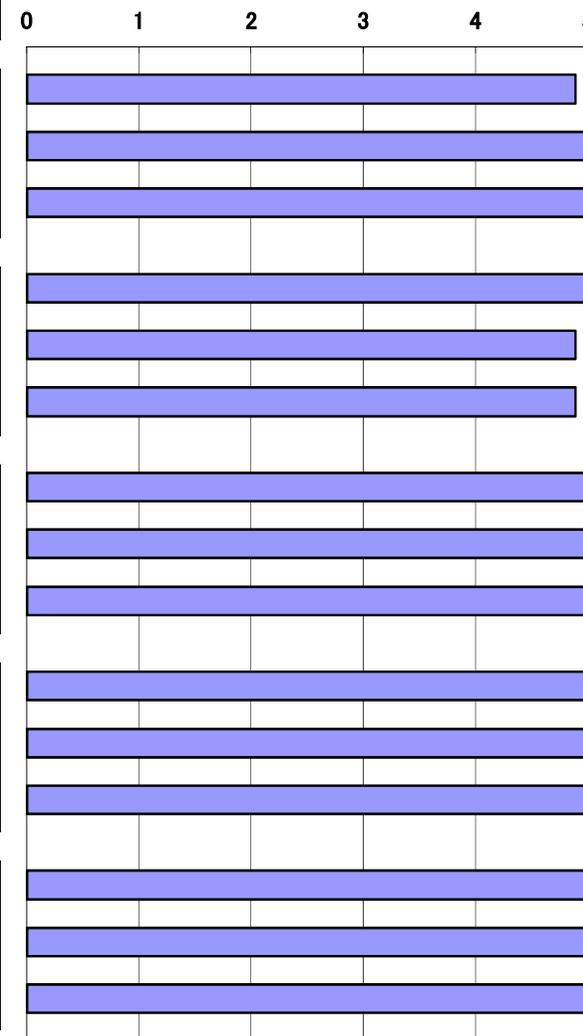


[00]

N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1F1702	科目名	中国語II	担当教員名	王英輝
-------	--------	-----	-------	-------	-----

<教員からのコメント>

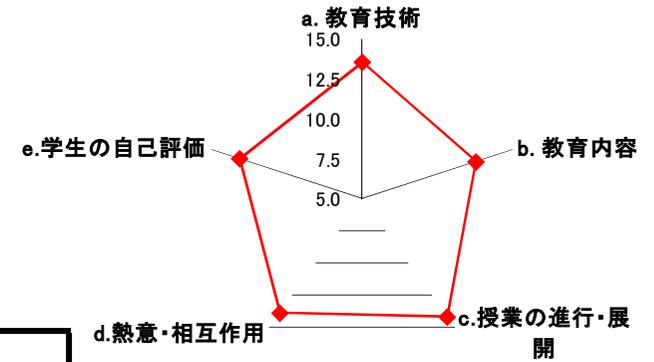
途中で教員が変わってしまいましたが、皆さんがとても熱心に授業に取り込み、楽しかったというコメントをいただき、とても嬉しいです。真面目で、素晴らしい皆さんと一緒に勉強ができたことに、心から感謝しています。私にとっても、毎回とても楽しい授業でした。今後さらにいい授業ができるよう努力したいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	8	回収数	7	回収率	87.5%
------	---	-----	---	-----	-------

科目:フランス語Ⅱ
 担当者:
 坂原 真里

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	7	13.57	1.05
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	7	12.57	1.59
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	7	14.14	1.12
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	7	13.86	1.25
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	7	13.14	1.64

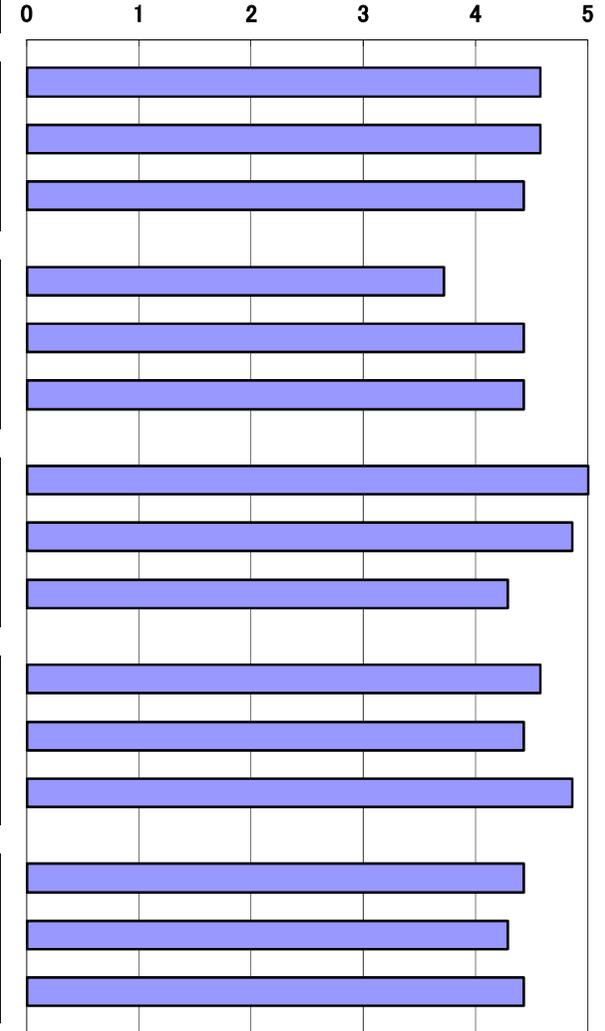


[00]

N=7

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	4	3	0	0	0	0	4.57	0.49
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	4	3	0	0	0	0	4.57	0.49
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73
57.1		42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	1	3	3	0	0	0	3.71	0.70
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73
14.3		42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	7	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	1	0	0	0	0	4.86	0.35
⑨	授業の進行速度は適切だった。	4	2	0	1	0	0	4.29	1.03
100.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
85.7		14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
57.1		28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	4	3	0	0	0	0	4.57	0.49
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6	1	0	0	0	0	4.86	0.35
57.1		42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
85.7		14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	3	4	0	0	0	0	4.43	0.49
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3	3	1	0	0	0	4.29	0.70
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73
42.9		57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
42.9		42.9	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
57.1		28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1F1901	科目名	フランス語Ⅱ	担当教員名	坂原真里
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

コミュニケーションの場やことばの背景にも関心が向かうことを願って、文法・会話・文化を柱に授業を組み立てています。この構成に対するよい反応が学生の自由記載欄に読み取れて、嬉しく思います。一方、進度が速い、文法をより詳しくという意見もあり、とても参考になりました。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

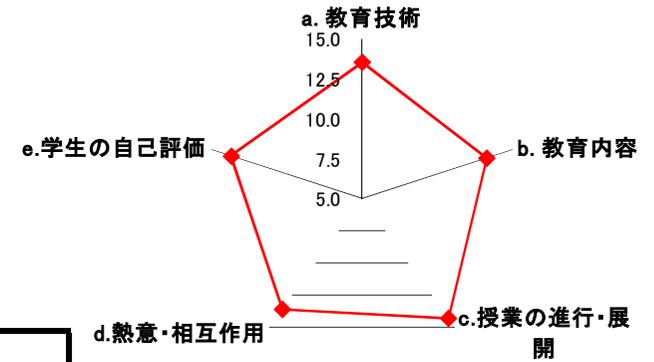
履修者数	8	回収数	7	回収率	87.5%
------	---	-----	---	-----	-------

科目:フランス語Ⅱ

担当者:

坂原 真里

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	7	13.57	1.40
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	7	13.29	1.67
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	7	14.29	1.16
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	7	13.57	1.99
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	7	13.71	1.28

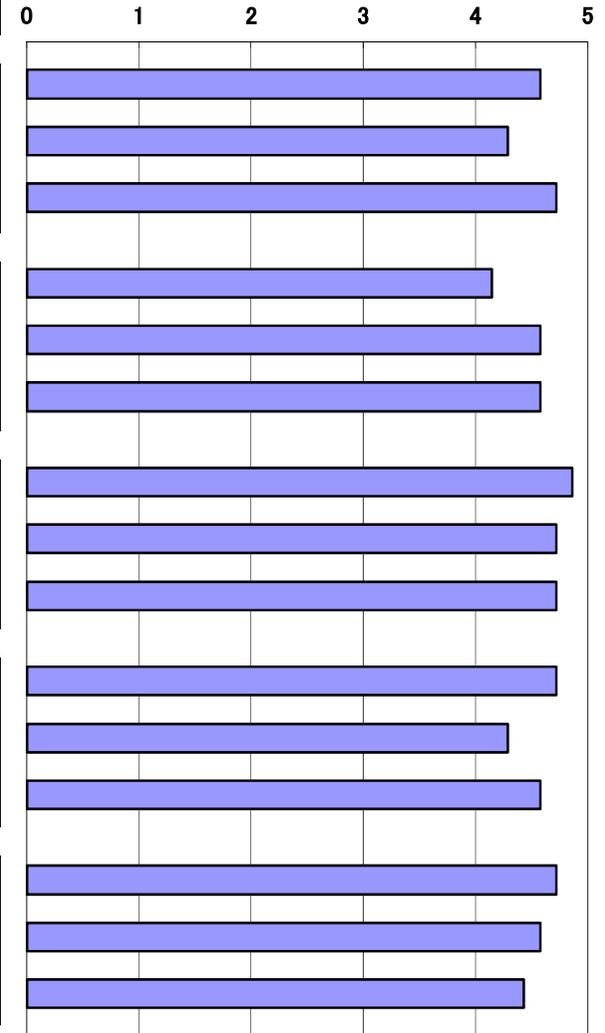


[00]

N=7

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	4	3	0	0	0	0	4.57	0.49
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	3	3	1	0	0	0	4.29	0.70
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	2	0	0	0	0	4.71	0.45
71.4		28.6	0.0	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	3	2	2	0	0	0	4.14	0.83
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	4	3	0	0	0	0	4.57	0.49
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4	3	0	0	0	0	4.57	0.49
57.1		42.9	0.0	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6	1	0	0	0	0	4.86	0.35
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	2	0	0	0	0	4.71	0.45
⑨	授業の進行速度は適切だった。	5	2	0	0	0	0	4.71	0.45
85.7		14.3	0.0	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	5	2	0	0	0	0	4.71	0.45
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	1	2	0	0	0	4.29	0.88
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5	1	1	0	0	0	4.57	0.73
71.4		14.3	14.3	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	5	2	0	0	0	0	4.71	0.45
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.57	0.49
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73
57.1		28.6	14.3	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1F1902	科目名	フランス語Ⅱ	担当教員名	坂原真里
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

少人数のクラスでは、息苦しくならないよう、ゆとりある授業の展開を心がけています。学生の側に関心をもって学ぼうとする姿勢があったので、よい相互作用が生まれていたようです。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

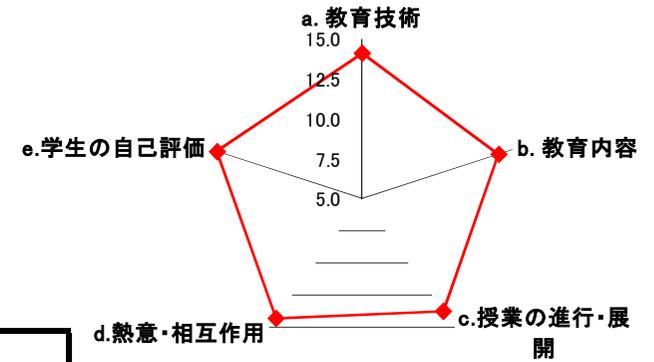
履修者数	15	回収数	15	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

遠藤 公久

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	15	14.13	1.45
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	15	14.07	1.34
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	15	13.73	1.48
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	15	14.27	1.24
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	15	14.67	0.60

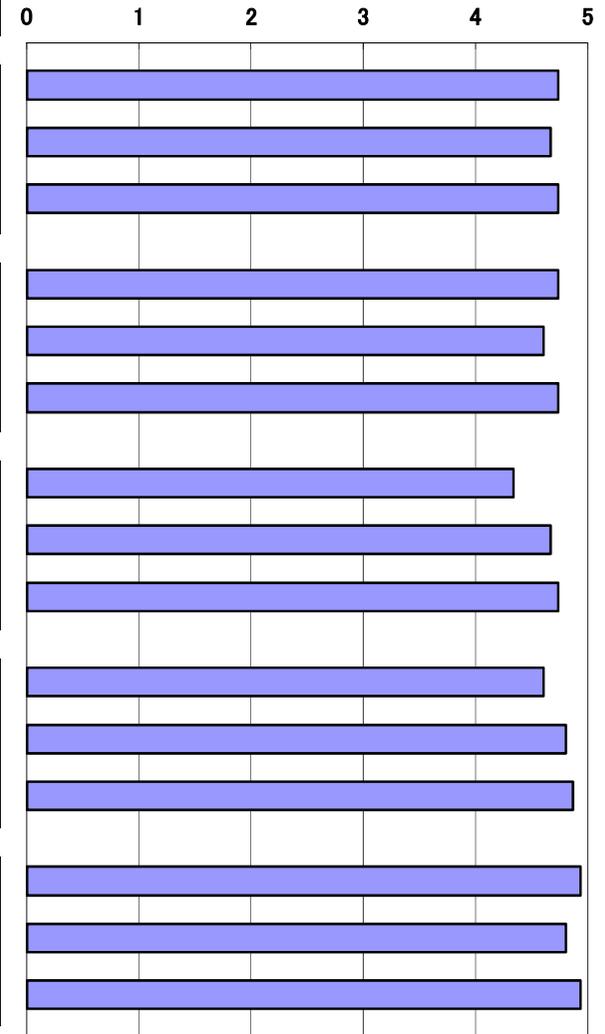


[00]

N=15

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	4	0	0	0	0	4.73	0.44
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	3	1	0	0	0	4.67	0.60
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	4	0	0	0	0	4.73	0.44
73.3		26.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	11	4	0	0	0	0	4.73	0.44
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10	4	1	0	0	0	4.60	0.61
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	12	2	1	0	0	0	4.73	0.57
66.7		26.7	6.7	0.0	0.0	0.0			
80.0		13.3	6.7	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	7	6	2	0	0	0	4.33	0.70
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	5	0	0	0	0	4.67	0.47
⑨	授業の進行速度は適切だった。	12	2	1	0	0	0	4.73	0.57
46.7		40.0	13.3	0.0	0.0	0.0			
66.7		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0			
80.0		13.3	6.7	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10	4	1	0	0	0	4.60	0.61
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	12	3	0	0	0	0	4.80	0.40
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	13	2	0	0	0	0	4.87	0.34
66.7		26.7	6.7	0.0	0.0	0.0			
80.0		20.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
86.7		13.3	0.0	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	14	1	0	0	0	0	4.93	0.25
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	3	0	0	0	0	4.80	0.40
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	14	1	0	0	0	0	4.93	0.25
93.3		6.7	0.0	0.0	0.0	0.0			
80.0		20.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
93.3		6.7	0.0	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1G0201	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	遠藤公久
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

授業でよかったこと、そして改善すべきことにおいて、好意的な評価をいただきました。「これから行うかもしれない研究をするための役に立った」「次回やることが明確だった」「自分で進めることができすぎてすごく楽しかった」「自分のやりたことができすぎて楽しかった」「ほどよい厳しさとほどよいゆるさで、学ぶことがたくさんあってすごく良かったです」「研究で実験を行って楽しかった」など、教師として迷いながらやっている授業ですが、思いのほか評価が高く、喜んでよいものかわかりませんが、今年度も工夫してみたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

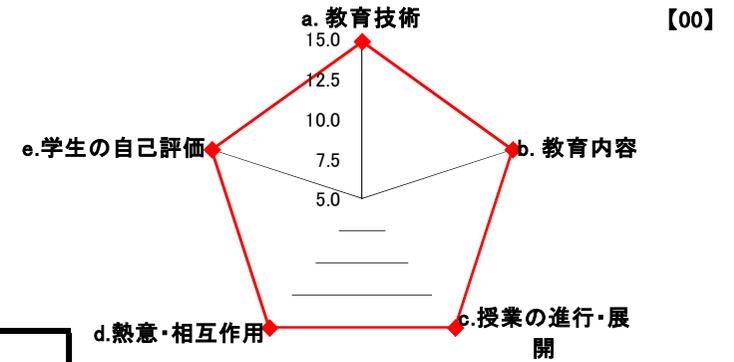
履修者数	8	回収数	8	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

川崎 修一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	8	14.88	0.33
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	8	15.00	0.00
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	8	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	8	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	8	15.00	0.00



N=8

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	1	0	0	0	0	4.88	0.33
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

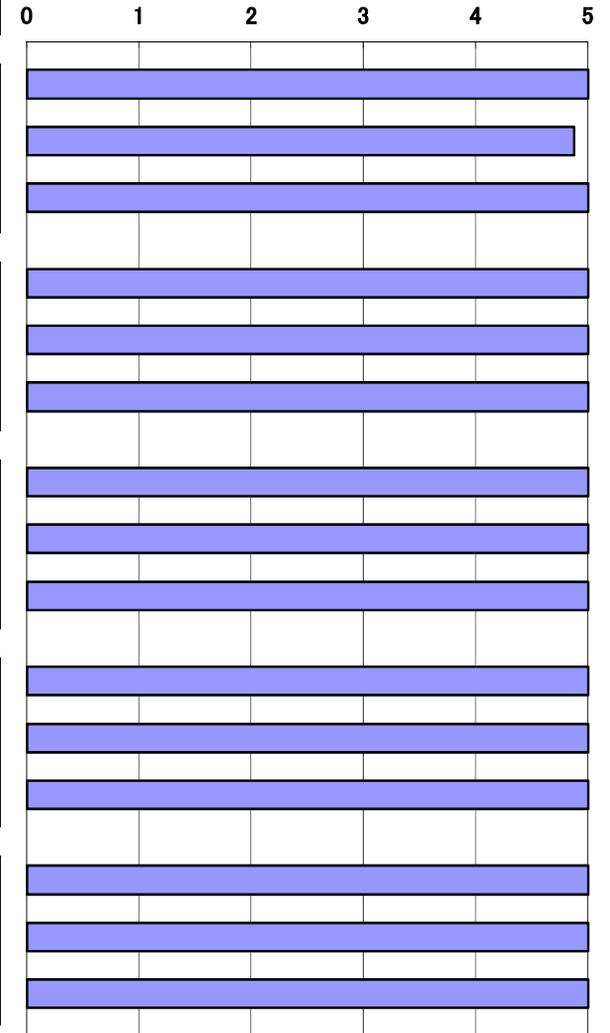
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1G0202	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	川崎修一
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

素晴らしい学生に恵まれたことに感謝します。過大な評価には恐縮します。これを励みに更に精進したいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	12	回収数	10	回収率	83.3%
------	----	-----	----	-----	-------

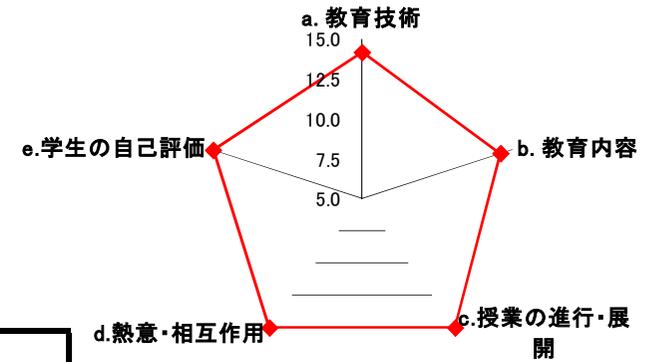
[00]

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

佐藤 眞

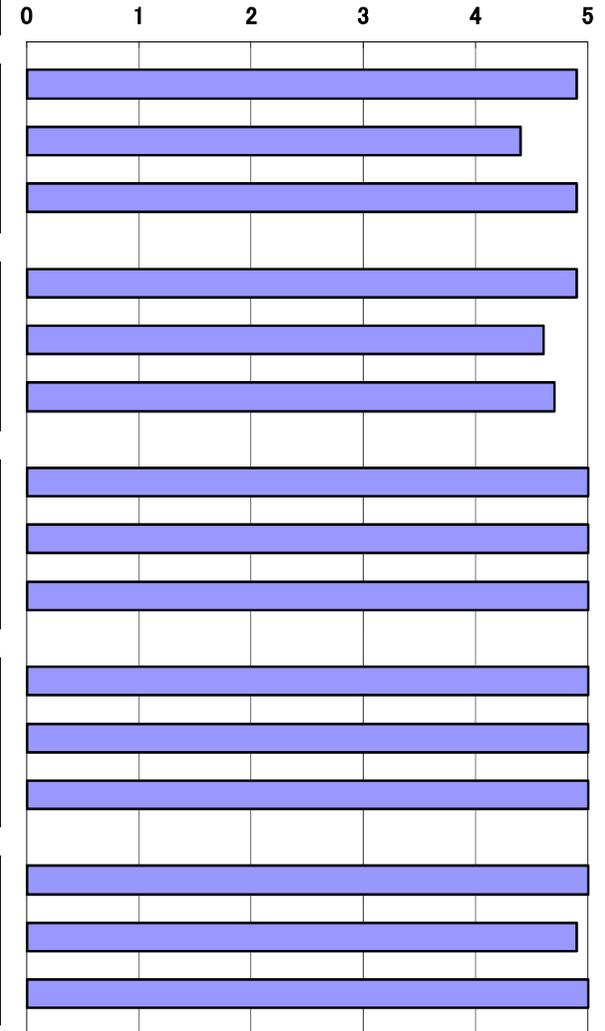
	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	10	14.20	1.33
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	10	14.20	0.87
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	10	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	10	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	10	14.90	0.30



N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	0	3	0	0	0	4.40	0.92
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	2	1	0	0	0	4.60	0.66
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	7	3	0	0	0	0	4.70	0.46
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1G0204	科目名	基礎ゼミ II	担当教員名	佐藤眞
-------	--------	-----	---------	-------	-----

<教員からのコメント>

楽しくゼミに参加してもらえたようで、嬉しく思います。みなさんが議論を進めやすいゼミにしていこうと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

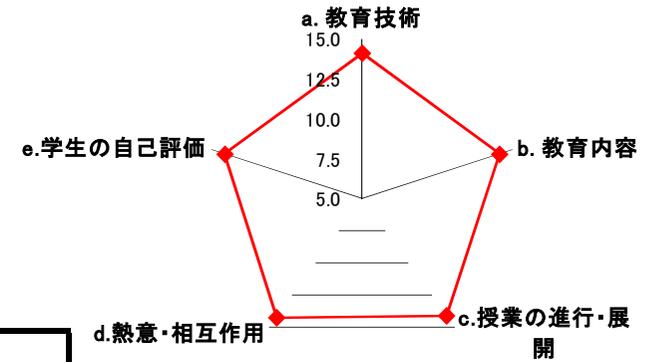
履修者数	14	回収数	14	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

佐藤 裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	14	14.14	1.36
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	14	14.14	1.36
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	14	14.07	1.33
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	14	14.21	1.26
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	14	14.14	1.25

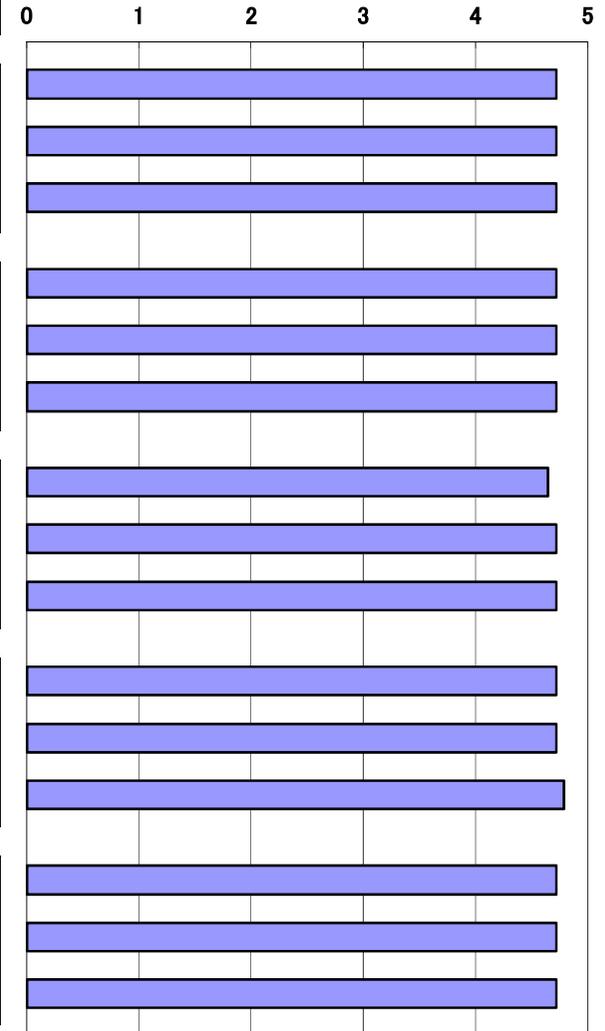


[00]

N=14

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	5	0	0	0	0	4.64	0.48
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
⑨	授業の進行速度は適切だった。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	3	0	0	0	0	4.79	0.41
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	4	0	0	0	0	4.71	0.45



科目コード	1G0205	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

例年、学生から話し合いたい話題を募集してから、2人からなるグループに割り振りを行い、発表・討論する形式を取っている。今回は、発表の時に、「私的なおしゃべり」をする学生が多く、收拾が取れずに、困惑した。しかし、学生からの評判は決して悪くないことが判り、安心した。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

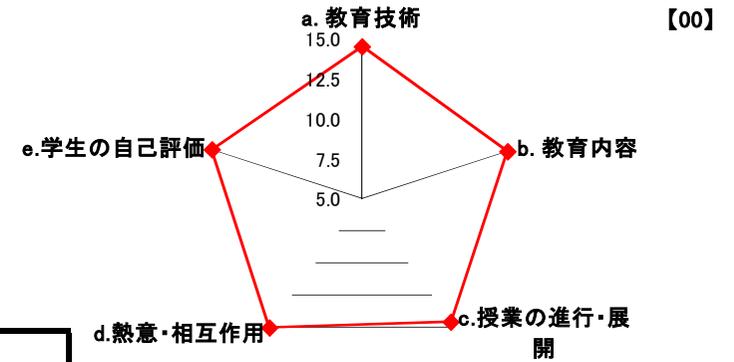
履修者数	9	回収数	9	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

東浦 洋

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	14.56	1.26
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	14.67	0.94
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	14.56	1.26
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	9	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	15.00	0.00



N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	0	1	0	0	0	4.78	0.63
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

c. 授業の進行・展開

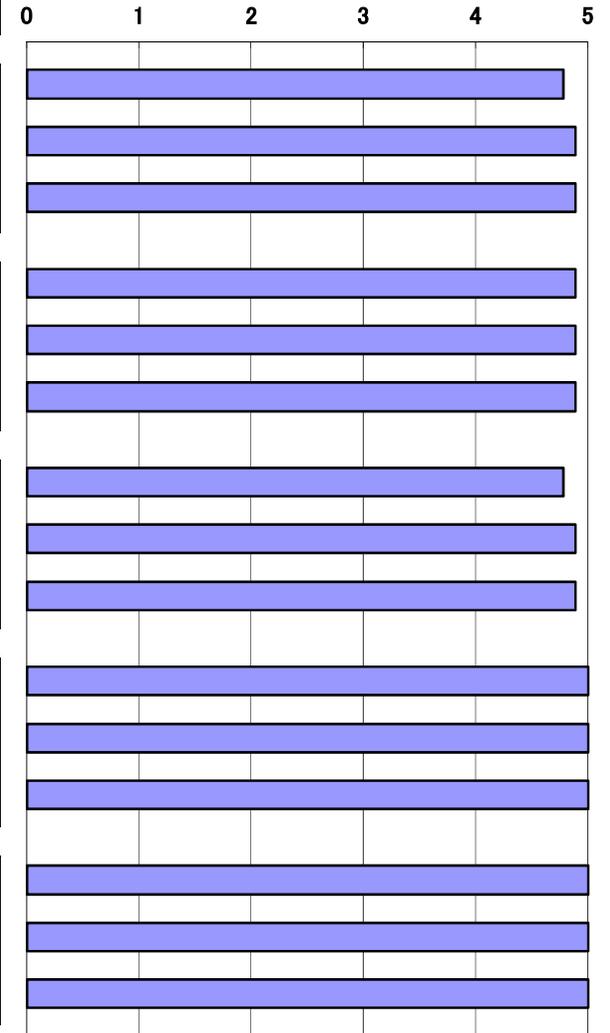
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	0	1	0	0	0	4.78	0.63
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1G0206	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	東浦 洋
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

私にとって最後の「基礎ゼミⅡ」となりました。世界の人道問題について調べたこと、考えたことについての皆さん方の発表を聞き、議論したことは私にとっても得がたい経験でした。私の長年にわたる国内外での人道活動からの知見と経験をお伝えできたなら幸いです。世界に繋がった赤十字の看護教育を受け、看護師になられるわけですから、今後とも大きな視野で、国内外の人道問題について関心を持ち続けていていただきたいと願っております。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

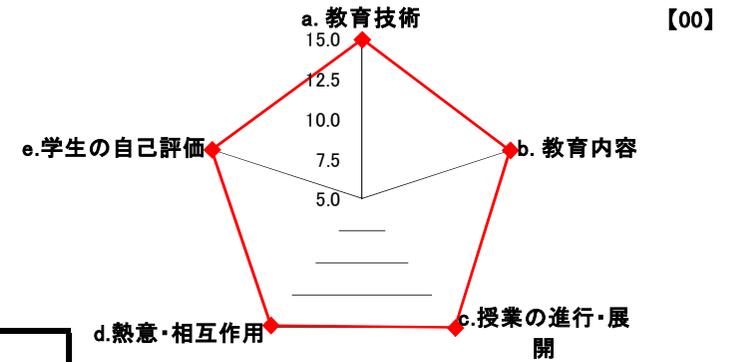
履修者数	6	回収数	6	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

逸見 功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	6	15.00	0.00
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	6	14.83	0.37
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	6	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	6	14.83	0.37
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	6	15.00	0.00



N=6

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.83	0.37
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

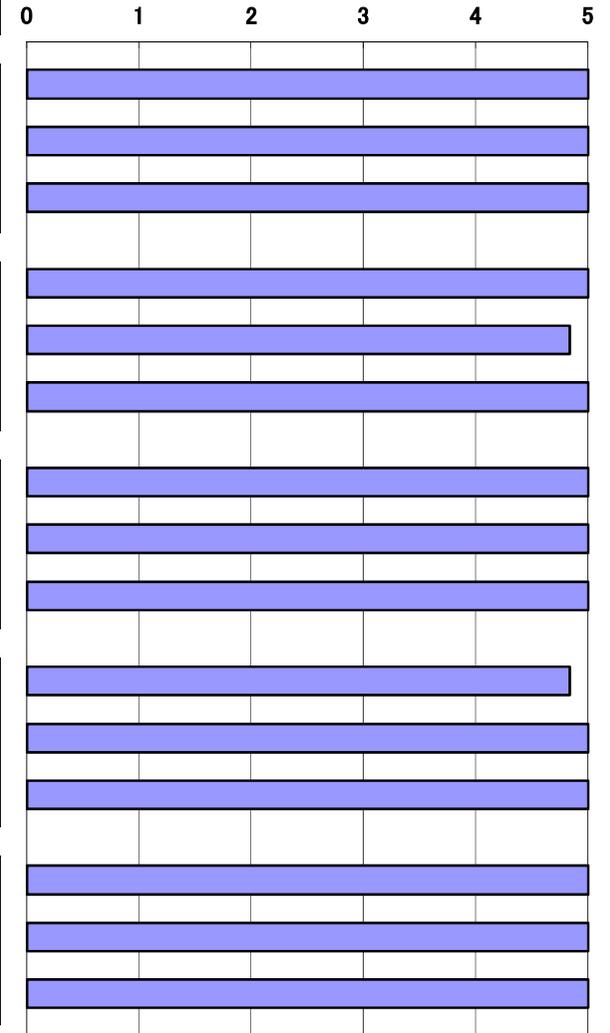
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	5	1	0	0	0	0	4.83	0.37
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	6	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1G0207	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	逸見 功
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

雰囲気良く、わからない点もすぐに解決できる楽しいゼミでよかったです。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

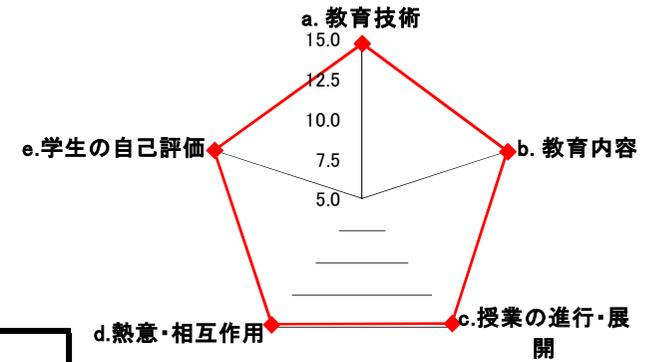
履修者数	12	回収数	12	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

山崎 裕二

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	12	14.75	0.83
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	12	14.67	0.85
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	12	14.67	0.85
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	12	14.75	0.83
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	12	14.83	0.55

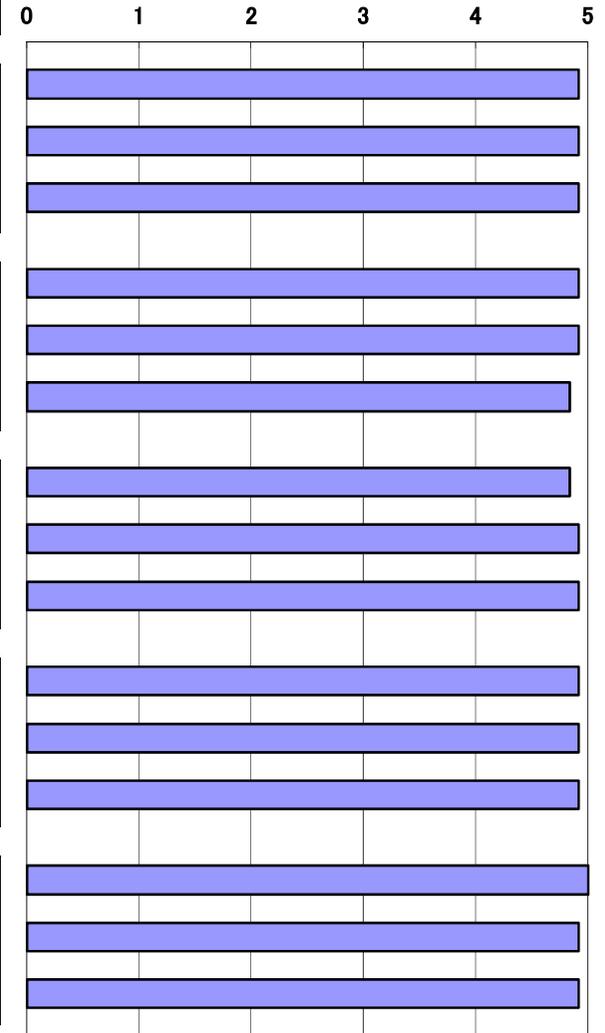


[00]

N=12

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	10	2	0	0	0	0	4.83	0.37
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10	2	0	0	0	0	4.83	0.37
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
⑨	授業の進行速度は適切だった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28



科目コード	1G0208	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	山崎 裕二
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

- ・ハンセン病(看護)のことを詳しく知ることができたとのコメントがあり、私も嬉しいです。
- ・ゼミで調べたことやハンセン病資料館で学んだことを友人や家族などに教えてあげてください。歴史を風化させないためにも。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

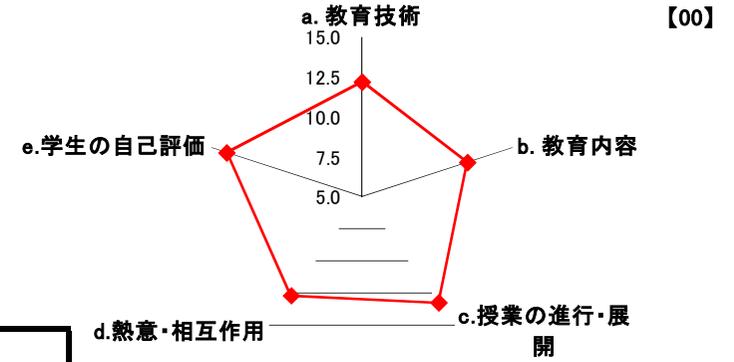
履修者数	9	回収数	9	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

越後 敬子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	12.22	2.30
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	12.00	2.31
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	13.22	2.04
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	9	12.67	2.31
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	14.00	1.89



N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	3	3	3	0	0	0	4.00	0.82
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	3	2	4	0	0	0	3.89	0.87
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	2	2	0	0	0	4.33	0.82
55.6		22.2	22.2	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	3	4	2	0	0	0	4.11	0.74
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	3	2	4	0	0	0	3.89	0.87
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	3	4	1	1	0	0	4.00	0.94
33.3		44.4	11.1	11.1	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	5	3	1	0	0	0	4.44	0.68
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	4	4	1	0	0	0	4.33	0.67
⑨	授業の進行速度は適切だった。	6	1	2	0	0	0	4.44	0.83
55.6		33.3	11.1	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	4	3	2	0	0	0	4.22	0.79
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	4	2	3	0	0	0	4.11	0.87
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	5	2	2	0	0	0	4.33	0.82
44.4		22.2	33.3	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8	0	1	0	0	0	4.78	0.63
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	0	0	4.56	0.68
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	7	1	1	0	0	0	4.67	0.67
88.9		0.0	11.1	0.0	0.0	0.0			
66.7		22.2	11.1	0.0	0.0	0.0			
77.8		11.1	11.1	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1G0209	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	越後敬子
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

授業について改善を求める点について、せっかく意見を出してもらったものの、こちらに届いた資料では文字が判読不能になっていたため残念である。
ハンセン病文学というものは耳慣れないジャンルではあったと思うが、ゼミ生それぞれが適切なテーマを決めて調査・発表できたと思う。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	13	回収数	12	回収率	92.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

國頭 英夫

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	12	14.83	0.55
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	12	14.92	0.28
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	12	15.00	0.00
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	12	14.75	0.60
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	12	15.00	0.00

N=12

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00

c. 授業の進行・展開

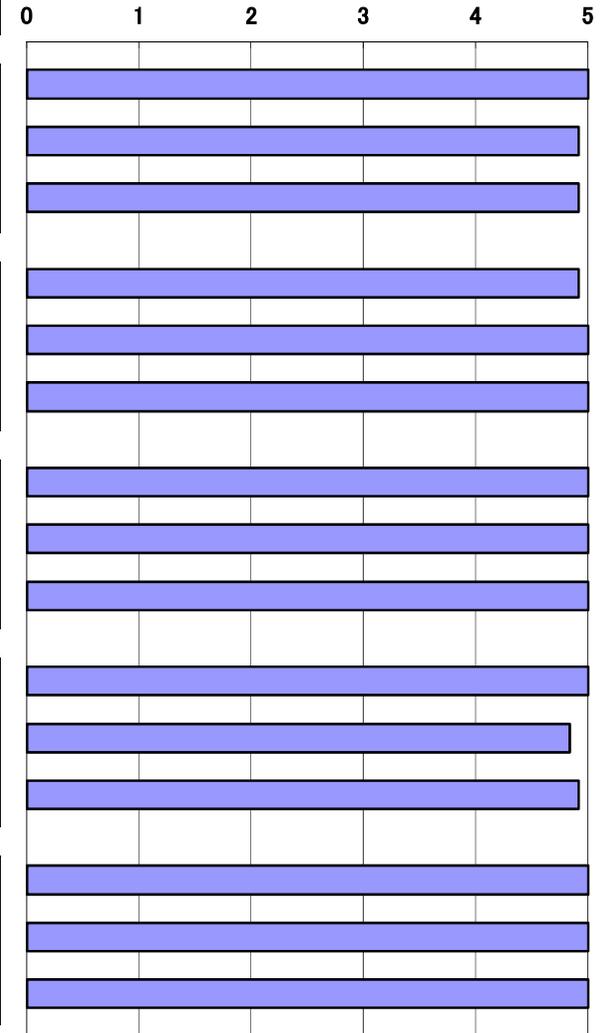
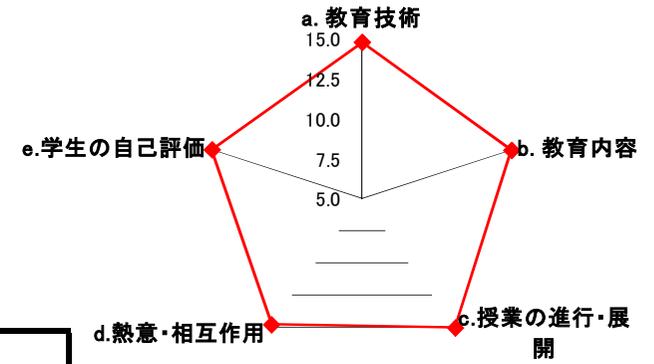
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	2	0	0	0	0	4.83	0.37
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	11	1	0	0	0	0	4.92	0.28

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	12	0	0	0	0	0	5.00	0.00



[00]

科目コード	1G0210	科目名	基礎ゼミII	担当教員名	國頭英夫
-------	--------	-----	--------	-------	------

<教員からのコメント>

「学生からの質問しやすい状況」があまり評価が良くなかったのですが、確かに私は断定的な口調で話すので、講演の後でも質問が出にくいことが多いようです。これはまさに、患者とのコミュニケーションでは大きな欠点になることでもありますので、反省します。また、フリーコメントに「ぶっちゃけすぎて大丈夫なのか心配だ」というのがありました。私の母親も家内も娘も、全く同じ心配をしています(笑)。親身になって気遣ってくれてありがとう。ですけどこの私の性癖はそれこそ、死ぬまで治らないね。私からみなさんへは、態度といい熱意といい、文句のつけようがありません。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

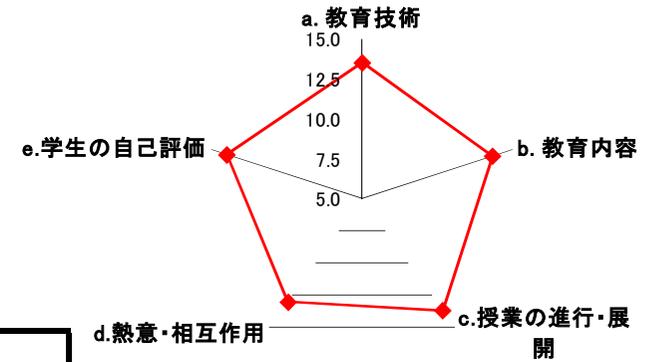
履修者数	12	回収数	9	回収率	75.0%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

小林 孝彰

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	13.56	1.64
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	13.67	1.41
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	13.67	1.83
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	9	13.00	1.63
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	14.00	0.82

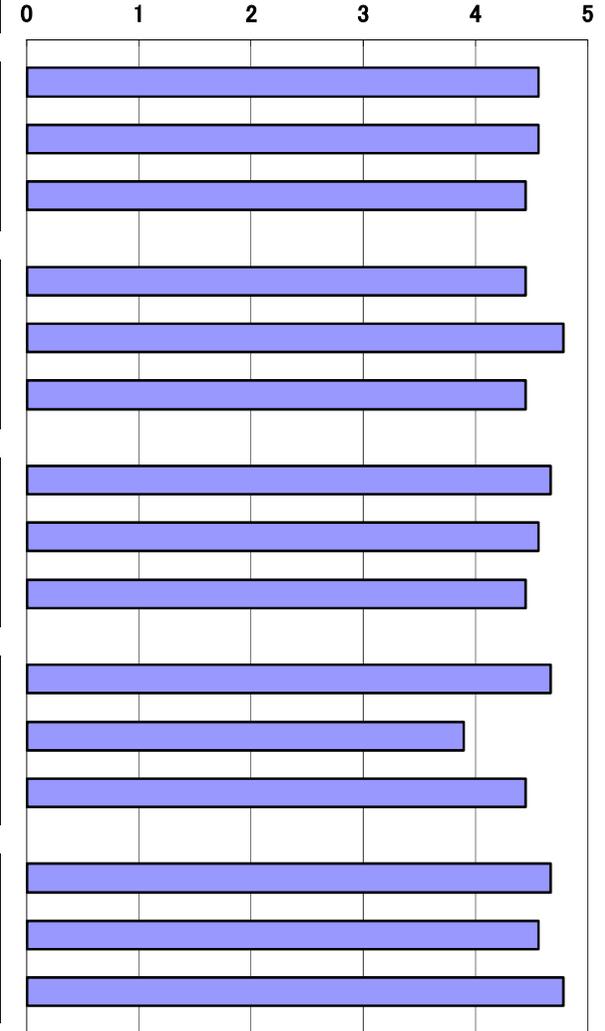


[00]

N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	2	1	0	0	0	4.56	0.68
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	4	0	0	0	0	4.56	0.50
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	3	1	0	0	0	4.44	0.68
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	5	3	1	0	0	0	4.44	0.68
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	7	2	0	0	0	0	4.78	0.42
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	6	2	1	0	0	0	4.56	0.68
⑨	授業の進行速度は適切だった。	6	1	2	0	0	0	4.44	0.83
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	3	3	2	1	0	0	3.89	0.99
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4	5	0	0	0	0	4.44	0.50
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	6	3	0	0	0	0	4.67	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	0	0	4.56	0.68
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	7	2	0	0	0	0	4.78	0.42



科目コード	1G0211	科目名	基礎ゼミ II	担当教員名	小林 孝彰
-------	--------	-----	---------	-------	-------

<教員からのコメント>

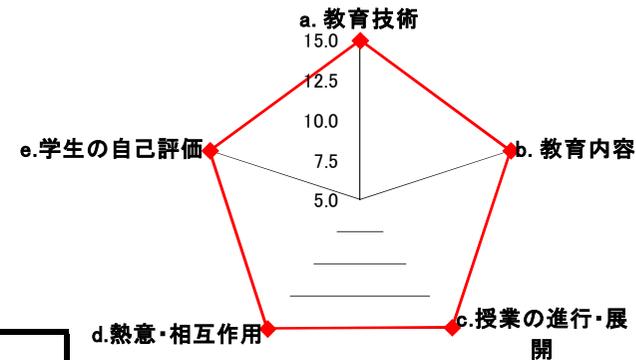
その日のディスカッションのトピックは教室に入って配付される資料をみてはじめて知るといやり方だったので、論点をはっきりつかんでもらおうと説明するのに時間をかけすぎたのだな、と反省しています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	11	回収数	9	回収率	81.8%
------	----	-----	---	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ
 担当者:
 井上 陽介

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	9	15.00	0.00
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	9	15.00	0.00
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	9	14.89	0.31
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	9	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	9	15.00	0.00

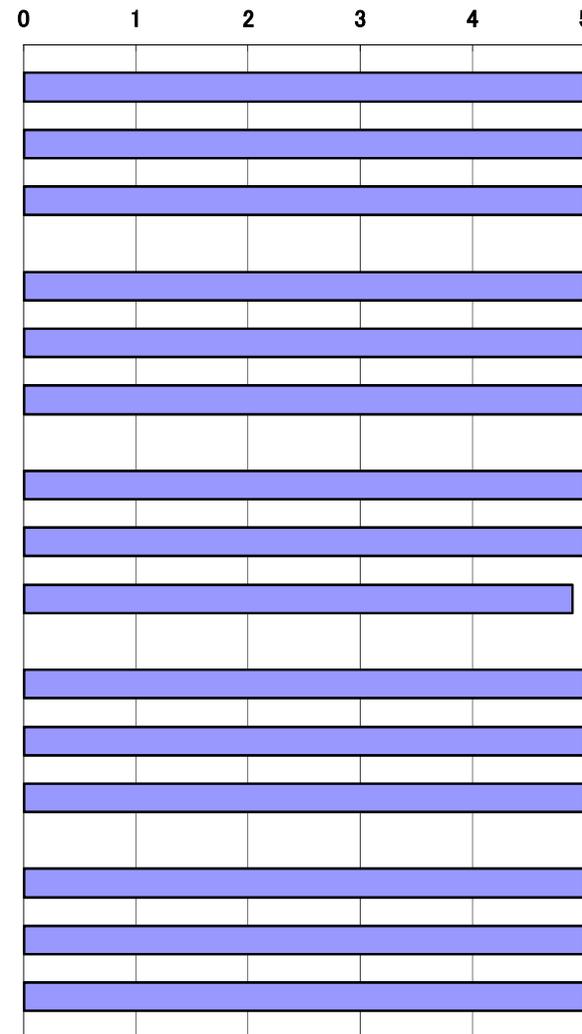


[00]

N=9

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
a. 教育技術									
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑨	授業の進行速度は適切だった。	8	1	0	0	0	0	4.89	0.31
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	0	0	0	0	0	5.00	0.00



科目コード	1G0212	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	井上陽介
-------	--------	-----	-------	-------	------

<教員からのコメント>

みなさんはみなさんが思っている以上にプレゼンテーションが上手です。これからも機会があれば積極的にプレゼンテーションをしてください。今回のゼミで習ったことをベースに自分なりのプレゼンテーションスタイルを構築していけるといいですね。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

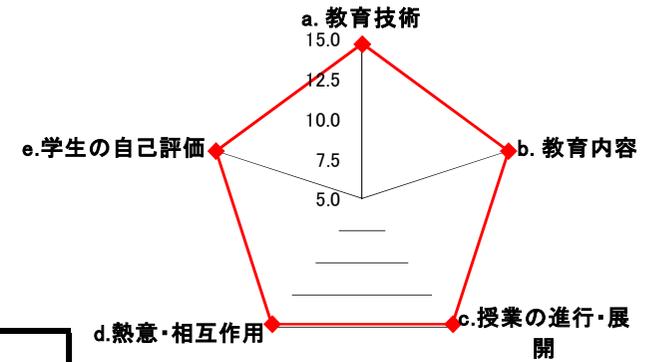
履修者数	13	回収数	11	回収率	84.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

吉田 健一

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	11	14.73	0.86
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	11	14.73	0.86
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	11	14.73	0.86
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	11	14.73	0.86
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	11	14.73	0.62



[00]

N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29

c. 授業の進行・展開

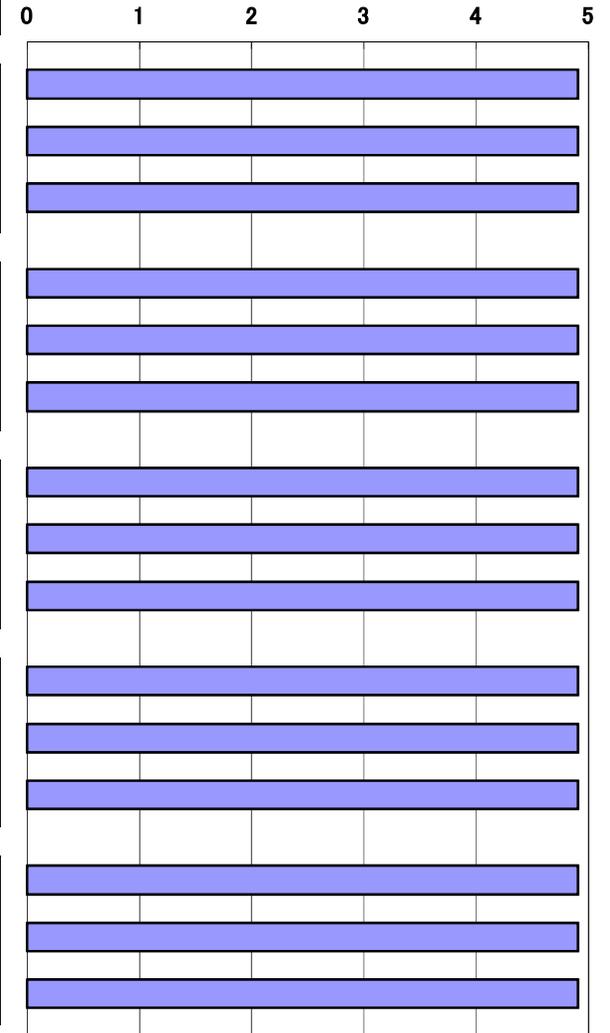
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29



授業(講義)評価結果(2014年度後期)

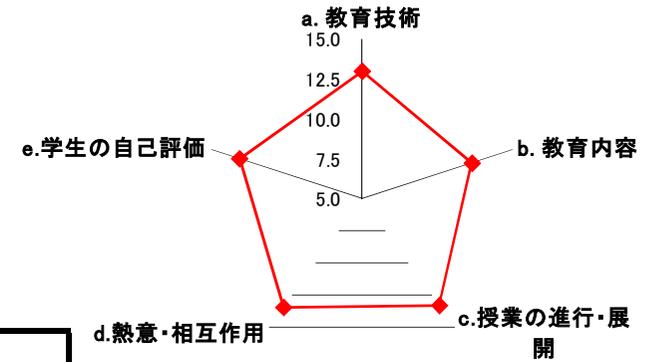
履修者数	7	回収数	7	回収率	100.0%
------	---	-----	---	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

吉田 直正

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	7	13.00	1.85
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	7	12.29	3.28
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	7	13.29	1.48
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	7	13.43	1.40
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	7	13.14	1.73



[00]

N=7

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	3	4	0	0	0	0	4.43	0.49
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	3	3	1	0	0	0	4.29	0.70
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	3	1	0	0	0	4.29	0.70

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	3	3	0	1	0	0	4.14	0.99
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	3	3	0	1	0	0	4.14	0.99
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	3	3	0	0	1	0	4.00	1.31

c. 授業の進行・展開

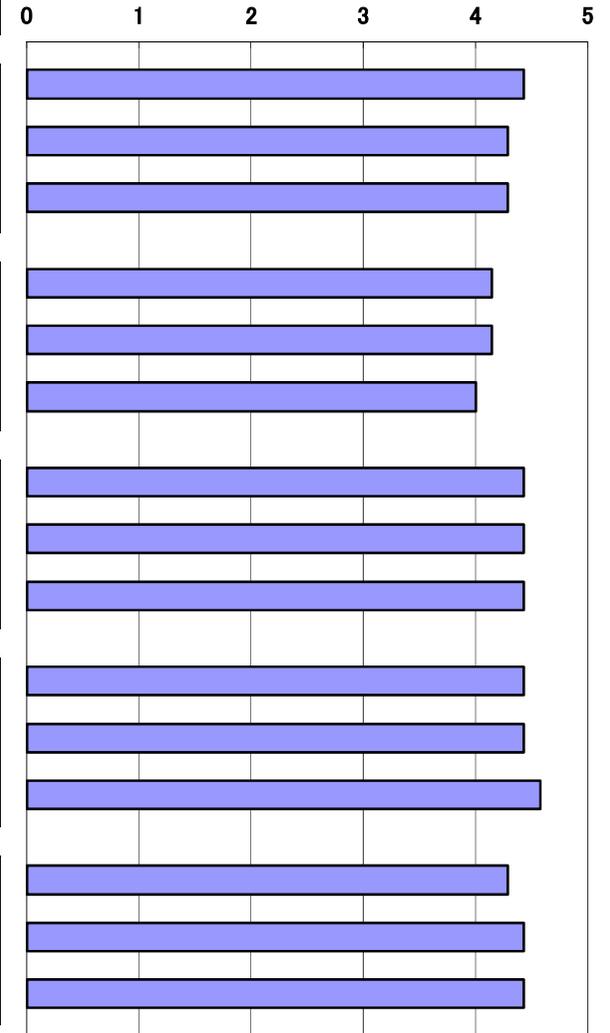
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	3	4	0	0	0	0	4.43	0.49
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3	4	0	0	0	0	4.43	0.49
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	3	4	0	0	0	0	4.43	0.49

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	3	4	0	0	0	0	4.43	0.49
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	3	4	0	0	0	0	4.43	0.49
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	4	3	0	0	0	0	4.57	0.49

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	2	5	0	0	0	0	4.29	0.45
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	4	2	1	0	0	0	4.43	0.73



科目コード	1G0214	科目名	基礎ゼミⅡ	担当教員名	吉田 直正
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

昨年度もそうだったのですが、半期ですべてゼミ形式は困難ではないでしょうか。
ただ、せめて三分の一くらいは、そうした方法を探れるよう、努力します。
ゼミの時間を楽しみにしてくれる方がおられるのは、とても有り難いことです。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

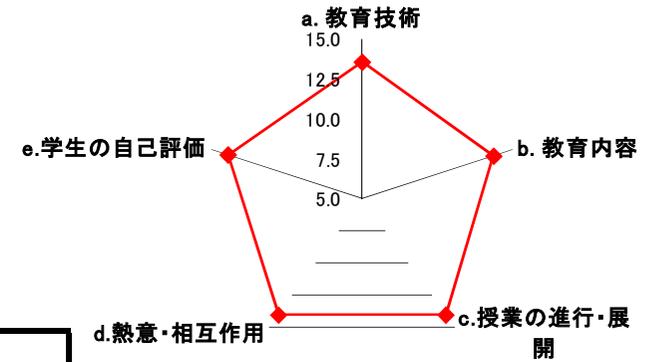
履修者数	11	回収数	11	回収率	100.0%
------	----	-----	----	-----	--------

科目:基礎ゼミⅡ

担当者:

山崎 裕二

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	10	13.60	1.56
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	11	13.73	1.42
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	11	14.00	1.28
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	11	14.00	1.35
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	11	13.91	1.38



[00]

N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	5	0	0	0	0	4.55	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	5	2	3	0	0	1	3.82	1.47
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	6	5	0	0	0	0	4.55	0.50
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	6	5	0	0	0	0	4.55	0.50
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48

c. 授業の進行・展開

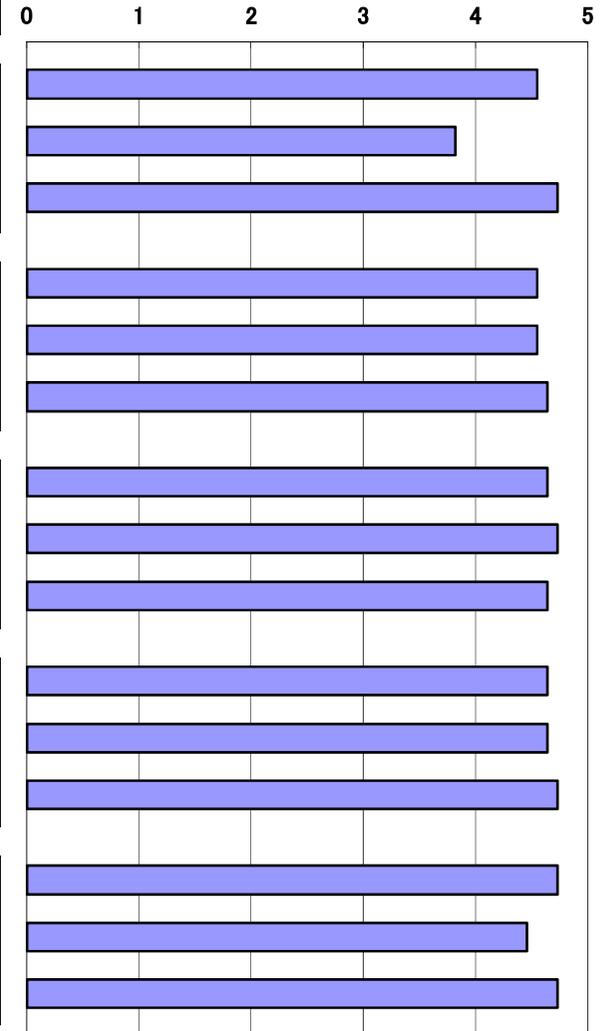
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	7	4	0	0	0	0	4.64	0.48
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	6	4	1	0	0	0	4.45	0.66
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45



科目コード	1G0230	科目名	基礎ゼミⅡ・編3	担当教員名	山崎 裕二
-------	--------	-----	----------	-------	-------

<教員からのコメント>

- ・研究方法論や研究Ⅰに役立つ、少人数で討論や質疑応答がしやすい、文献クリティークのポイントが学べた等のコメントが多く、授業のやりがいがありました。
- ・「臨床経験の有無で分けないでほしいです」との意見がありました。最初の2回のグループわけのことでしょうか。来年度はミックスでやってみたいと思います。

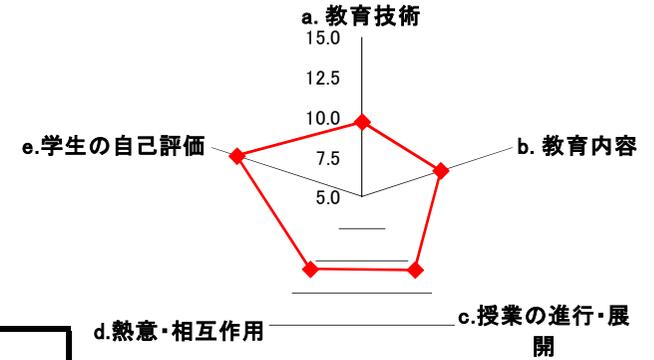
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	142	回収数	47	回収率	33.1%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進 I

担当者:
佐藤 裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	46	9.70	3.05
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	10.23	3.24
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	10.68	3.08
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	10.60	3.22
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.34	1.84



[00]

N=110

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	8	18	13	4	3	1	3.45	1.18
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	13	16	8	3	0	3.28	1.11
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5	8	14	15	5	0	2.85	1.15
b. 教育内容		10.6	17.0	29.8	31.9	10.6	0.0		
④	授業の内容はわかりやすかった。	9	11	14	7	6	0	3.21	1.27
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	11	17	12	4	3	0	3.62	1.12
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8	16	14	5	4	0	3.40	1.14
c. 授業の進行・展開		17.0	34.0	29.8	10.6	8.5	0.0		
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	9	14	16	4	4	0	3.43	1.14
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	13	16	12	3	3	0	3.70	1.13
⑨	授業の進行速度は適切だった。	12	12	16	4	3	0	3.55	1.14
d. 熱意・相互作用		25.5	25.5	34.0	8.5	6.4	0.0		
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18	12	12	2	3	0	3.85	1.17
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	10	16	8	3	0	3.34	1.17
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11	9	18	6	3	0	3.40	1.16
e. 学生の自己評価		23.4	19.1	38.3	12.8	6.4	0.0		
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	38	7	2	0	0	0	4.77	0.51
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	22	15	7	2	1	0	4.17	0.97
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25	16	6	0	0	0	4.40	0.70
		53.2	34.0	12.8	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1H0400	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 I	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	-----------------	-------	------

<教員からのコメント>

かなり、時間をかけて行っている授業であるにもかかわらず、一部の学生から「先生を変えて欲しい」「時間の無駄」「お金を払って受ける価値がない」などと言われるのはとても悲しいです。これ以上、どのように改善すればよいのか、正直言って、わかりません。

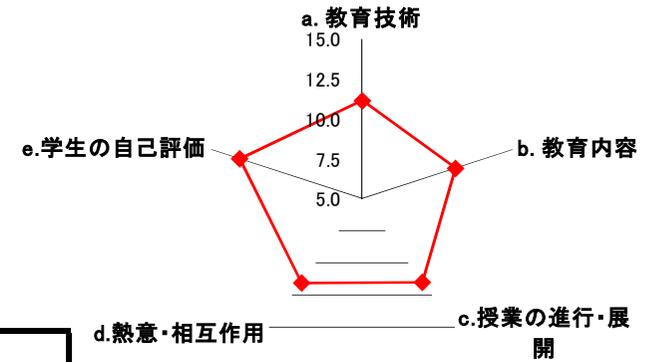
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	142	回収数	47	回収率	33.1%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進 II

担当者:
佐藤 裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	11.17	3.00
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	11.21	3.05
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	11.47	2.94
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	11.53	2.92
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.15	2.02

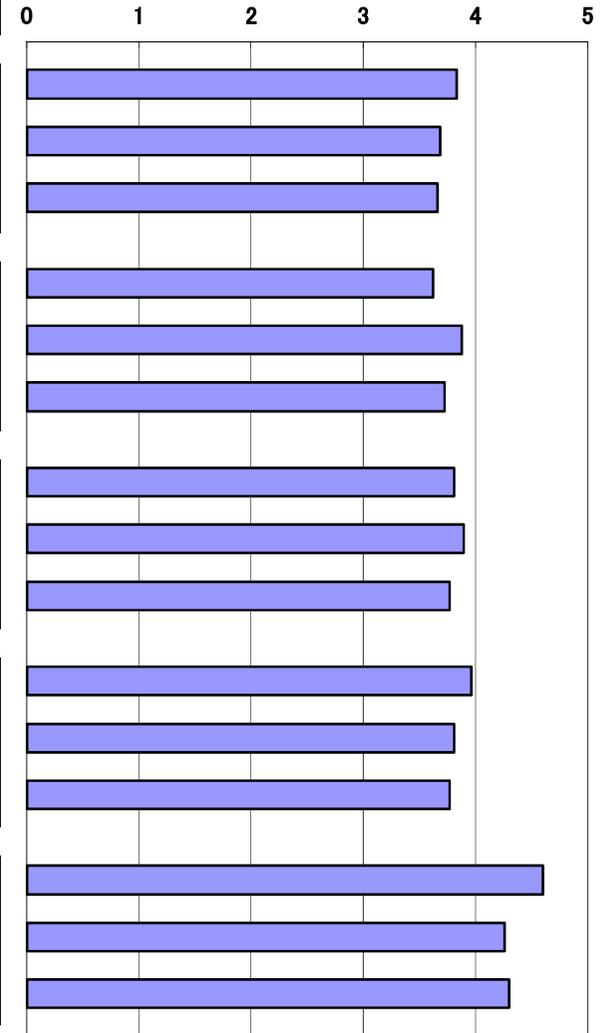


[00]

N=100

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	14	16	13	3	1	0	3.83	1.00
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	12	15	15	3	2	0	3.68	1.05
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	13	13	15	4	2	0	3.66	1.10
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	13	13	14	4	3	0	3.62	1.16
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	15	16	12	3	1	0	3.87	1.00
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	15	12	15	2	3	0	3.72	1.14
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	15	13	15	3	1	0	3.81	1.02
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	12	15	2	1	0	3.89	1.02
⑨	授業の進行速度は適切だった。	14	13	16	3	1	0	3.77	1.02
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	18	14	11	3	1	0	3.96	1.03
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	14	14	16	2	1	0	3.81	0.98
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	14	15	12	5	1	0	3.77	1.06
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	33	9	5	0	0	0	4.60	0.67
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	22	15	10	0	0	0	4.26	0.78
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	24	13	10	0	0	0	4.30	0.80



科目コード	1H0500	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	----------------	-------	------

<教員からのコメント>

かなり、時間をかけて行っている授業であるにもかかわらず、一部の学生から「先生を変えて欲しい」「時間の無駄」「お金を払って受ける価値がない」などと言われるのはとても悲しいです。これ以上、どのように改善すればよいのか、正直言って、わかりません。

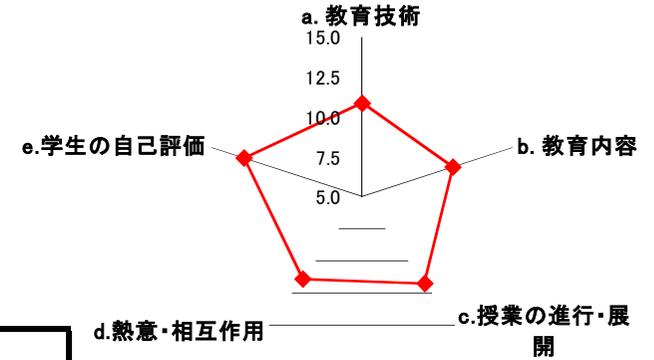
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	142	回収数	47	回収率	33.1%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ

担当者:
佐藤 裕子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	10.89	2.98
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	11.04	3.07
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	46	11.72	2.77
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	11.38	2.70
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	12.85	2.54

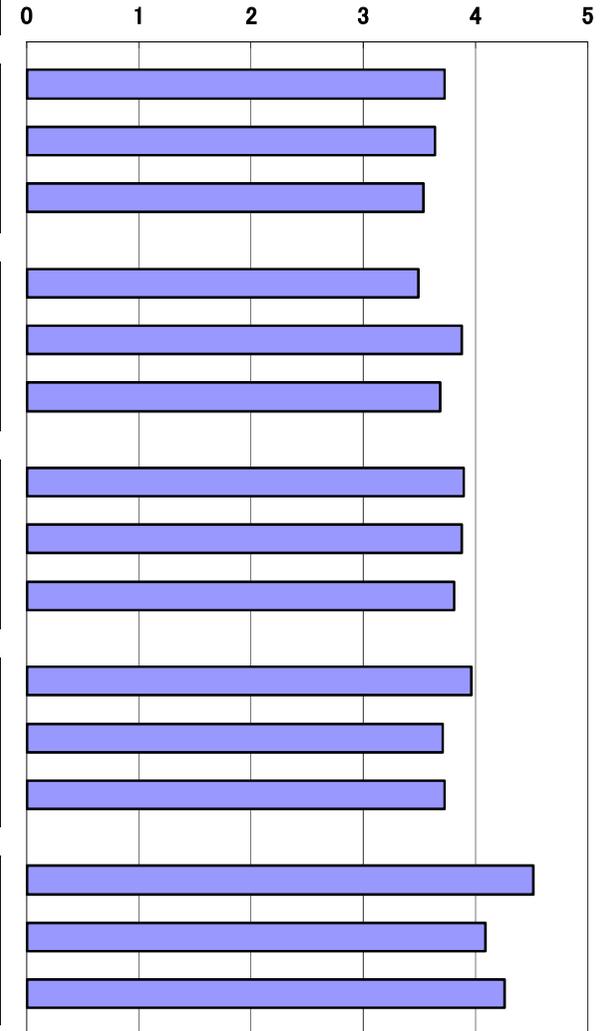


[00]

N=93

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	14	11	18	3	1	0	3.72	1.03
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	13	11	18	3	2	0	3.64	1.08
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12	9	19	6	1	0	3.53	1.07
25.5		19.1	40.4	12.8	2.1	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	11	9	22	2	3	0	3.49	1.09
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	16	14	13	3	1	0	3.87	1.02
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	15	11	15	3	3	0	3.68	1.17
31.9		23.4	31.9	6.4	6.4	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	15	15	15	1	1	0	3.89	0.95
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	17	15	11	1	2	1	3.87	1.18
⑨	授業の進行速度は適切だった。	14	14	16	2	1	0	3.81	0.98
29.8		29.8	34.0	4.3	2.1	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	17	14	14	1	1	0	3.96	0.97
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	12	13	19	2	1	0	3.70	0.97
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	12	13	20	1	1	0	3.72	0.94
25.5		27.7	42.6	2.1	2.1	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	33	7	6	0	1	0	4.51	0.87
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	12	12	1	1	0	4.09	0.99
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	24	13	9	0	1	0	4.26	0.91
51.1		27.7	19.1	0.0	2.1	0.0			



科目コード	1H0600	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	担当教員名	佐藤裕子
-------	--------	-----	----------------	-------	------

<教員からのコメント>

かなり、時間をかけて行っている授業であるにもかかわらず、一部の学生から「先生を変えて欲しい」「時間の無駄」「お金を払って受ける価値がない」などと言われるのはとても悲しいです。これ以上、どのように改善すればよいのか、正直言って、わかりません。

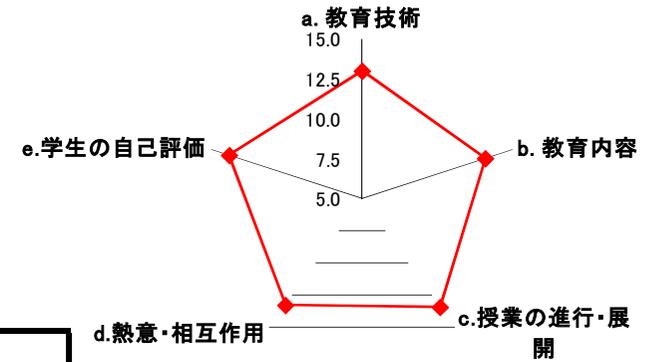
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	142	回収数	47	回収率	33.1%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 疾病の成り立ちと回復の促進IV

担当者:
鈴木 憲史

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	13.02	2.33
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	13.21	1.96
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.40	1.94
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	13.26	2.14
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.85	1.52

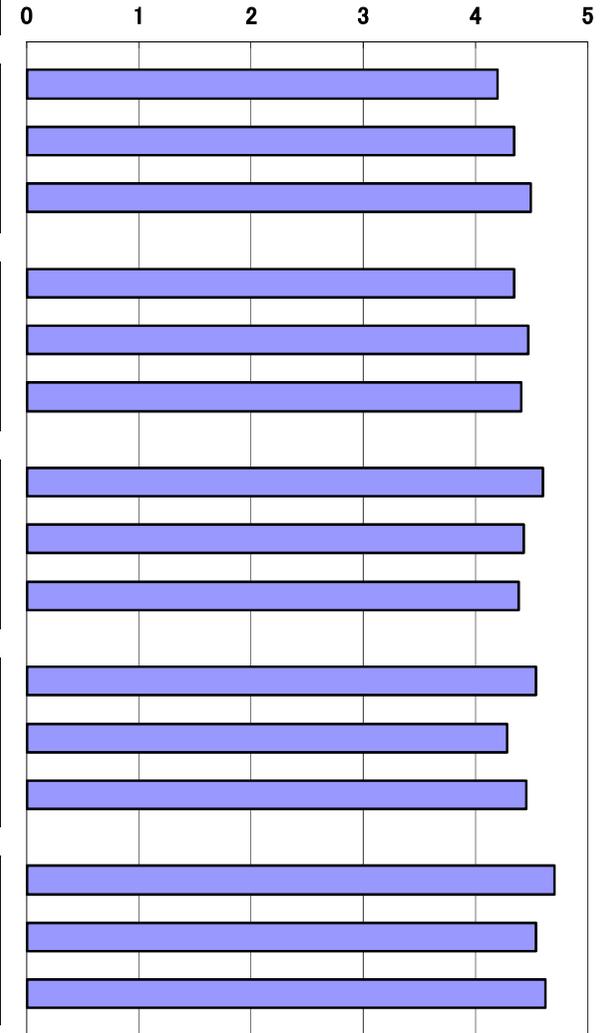


[00]

N=94

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	23	16	4	2	2	0	4.19	1.04
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	25	14	7	1	0	0	4.34	0.81
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	28	14	5	0	0	0	4.49	0.68
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	23	18	5	1	0	0	4.34	0.75
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	26	17	4	0	0	0	4.47	0.65
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	24	19	3	1	0	0	4.40	0.70
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	30	15	2	0	0	0	4.60	0.57
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	27	14	5	1	0	0	4.43	0.76
⑨	授業の進行速度は適切だった。	26	14	6	1	0	0	4.38	0.79
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	29	14	4	0	0	0	4.53	0.65
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	23	18	3	2	1	0	4.28	0.92
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	26	16	5	0	0	0	4.45	0.68
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	35	10	2	0	0	0	4.70	0.54
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	29	14	4	0	0	0	4.53	0.65
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	30	16	1	0	0	0	4.62	0.53



科目コード	1H0700	科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	担当教員名	鈴木 憲史
-------	--------	-----	----------------	-------	-------

<教員からのコメント>

いわゆる内科学は医療人として、一生の間付きまとう重要項目です。
自前の講義ノートを先に読み込んでから、双方向的な症例検討などができるようになればよいと思います。
積極的な学ぶ姿勢が、特に学生期には必要です。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

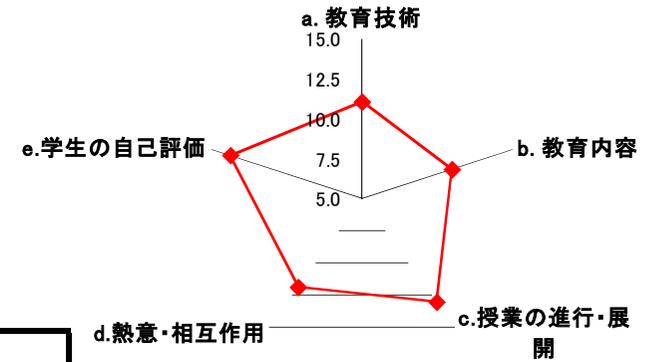
履修者数	136	回収数	47	回収率	34.6%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:薬理学

担当者:

吉見 猛,井上直路

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	11.09	2.89
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	10.98	2.66
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.00	2.23
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	11.85	2.84
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.77	1.49



[00]

N=84

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	授業の内容はわかりやすかった。	授業の内容は興味のあるものだった。	この授業は自分にとって価値があった。	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	授業の進行速度は適切だった。	教員の熱意が伝わってきた。	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。
12	10	13	7	9	13	28	26	23	16	15	20	39	24	31
18	18	15	16	21	18	14	13	12	14	18	14	7	16	13
11	12	12	16	11	13	4	7	9	13	11	9	1	7	3
6	5	6	7	5	2	1	1	3	3	2	3	0	0	0
0	2	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3.77	3.62	3.70	3.45	3.68	3.85	4.47	4.36	4.17	3.87	3.94	4.04	4.81	4.36	4.60
0.97	1.06	1.07	0.99	0.97	0.94	0.74	0.81	0.95	1.02	0.95	1.03	0.44	0.73	0.61



科目コード	1H1000	科目名	薬理学	担当教員名	吉見 猛、井上 直路
-------	--------	-----	-----	-------	------------

<教員からのコメント>

学生からの要望に応えられるよう努力します。

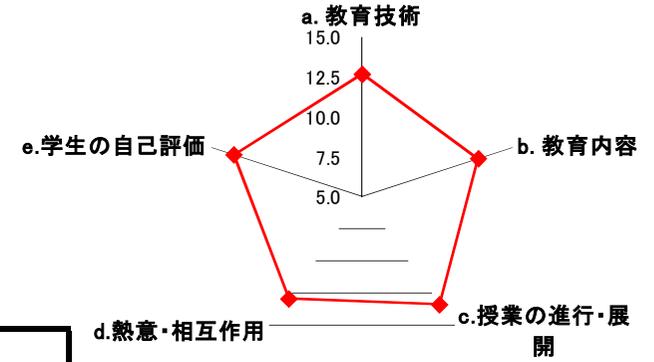
授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	148	回収数	47	回収率	31.8%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 遺伝と遺伝カウンセリング

担当者:
守田美奈子, 笠井靖代

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	12.70	2.16
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	12.72	2.02
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.34	1.75
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	12.89	2.11
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.53	1.54

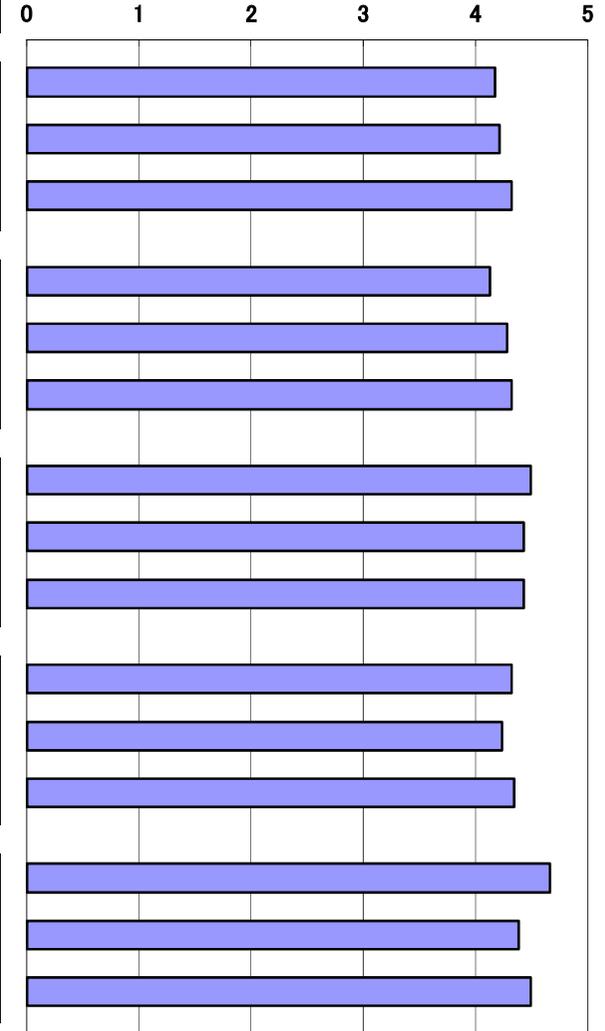


[00]

N=105

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	19	19	7	2	0	0	4.17	0.83
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	19	9	0	0	0	4.21	0.74
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	22	19	5	1	0	0	4.32	0.75
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	18	19	8	2	0	0	4.13	0.84
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	18	24	5	0	0	0	4.28	0.64
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	19	24	4	0	0	0	4.32	0.62
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25	20	2	0	0	0	4.49	0.58
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	24	19	4	0	0	0	4.43	0.64
⑨	授業の進行速度は適切だった。	23	21	3	0	0	0	4.43	0.61
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	21	20	6	0	0	0	4.32	0.69
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	22	15	9	1	0	0	4.23	0.83
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	23	17	7	0	0	0	4.34	0.72
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	32	14	1	0	0	0	4.66	0.52
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24	17	6	0	0	0	4.38	0.70
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	26	18	3	0	0	0	4.49	0.61



科目コード	1H1200	科目名	遺伝と遺伝カウンセリング	担当教員名	守田美奈子,笠井靖代
-------	--------	-----	--------------	-------	------------

<教員からのコメント>

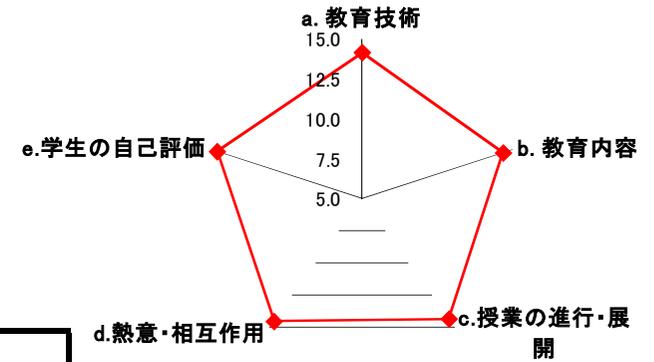
この授業は、遺伝医療に関する医学的な知識、そして倫理的・心理社会的問題を理解した上で遺伝性疾患を抱える人々に必要な援助が展開できるための知識、態度を身に着けることを目的に行っています。授業評価からは、生殖医療や出生前診断等に関する皆さんの関心も高いことが伺え、うれしく思っています。なかには、医学的な知識を難しいと感じる方もおられるようですが、これから必要となる基礎知識ですので、前向きに取り組んで頂きたいと思います。授業内容を理解しやすくするために、授業資料の文字を大きくしたり、小テストに回答を付ける等の工夫をして、さらに理解しやすい授業になるよう次年度も取り組みたいと思います。また倫理的な問題に対しては、これからも共に考えることを大事にしながら授業を進めたいと考えています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	137	回収数	47	回収率	34.3%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目: 栄養学
担当者:
保瀬 由江

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	14.17	1.34
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	14.36	1.26
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	14.32	1.15
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	14.49	0.99
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.64	0.81

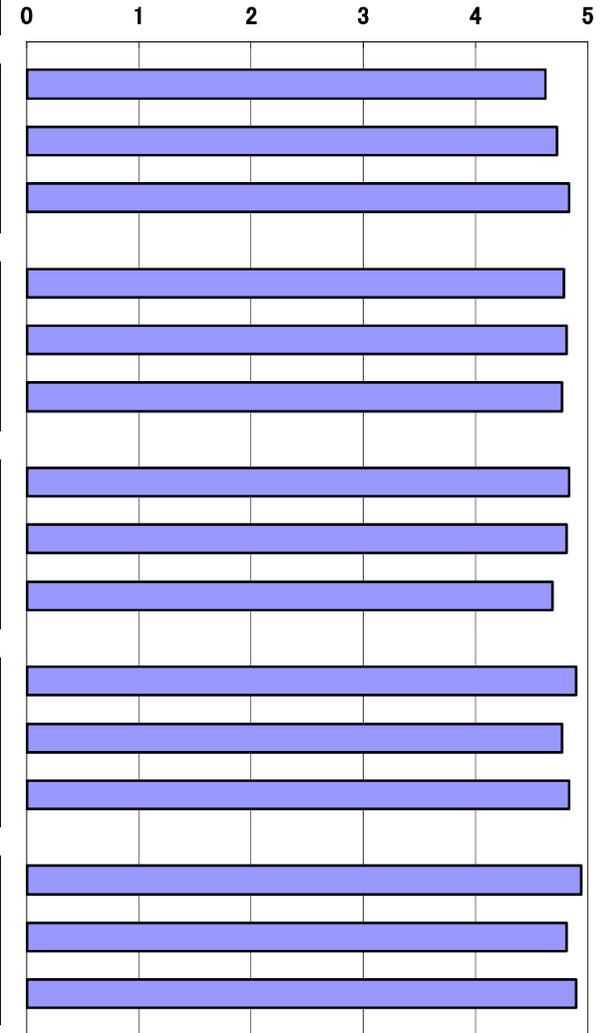


[00]

N=88

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
⑨	授業の進行速度は適切だった。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	39	8	0	0	0	0	4.83	0.38
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	44	3	0	0	0	0	4.94	0.24
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31



科目コード	1H1300	科目名	栄養学	担当教員名	保瀬 由江
-------	--------	-----	-----	-------	-------

<教員からのコメント>

看護師を目指す学生さんにとって「栄養学とは？」と質問したところ、「よく分からない」や「その分野の知識がない」といったご意見を多く頂きました。

しかし、看護師業務をしていく上で、栄養学の知識は必要不可欠なことでもあります。

短い期間の中で、かなり集中し、凝集して「栄養学」を学ぶことになりましたが、講義期間後半には今まで学んできている科目の知識と「栄養」がつながっていることに気が付いていただけたかと思います。

「栄養」の知識は、看護師業務を遂行する上でも、人として健康であり続けるためにも、非常に大切なこととなります。

学生の皆様から頂いた沢山のご意見を参考にし、今後の講義に生かしていきたいと思えます。

積極的な取り組み姿勢、沢山のご意見、ありがとうございました。

科目コード	110400	科目名	看護の歴史	担当教員名	川原由佳里
-------	--------	-----	-------	-------	-------

<教員からのコメント>

少人数ですが、中身の濃い授業をめざしています。以下、受講者からのコメントです。

「最初から最後まで興味深くおもしろい授業で、たくさんのことを学ぶことができうれしかったです」「雰囲気がとてもよい授業で毎週楽しみでした。内容も楽しく、終わってしまうのが残念です」、「看護とは何かということを深く考えることができた。」「赤十字についていろいろな側面から学ぶことができた。」「日本の看護だけでなくアメリカ看護のあゆみや現在の医療現場での看護師の立場など、幅広い視点から看護について考えることができた。」

多くの方の受講をお待ちしています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

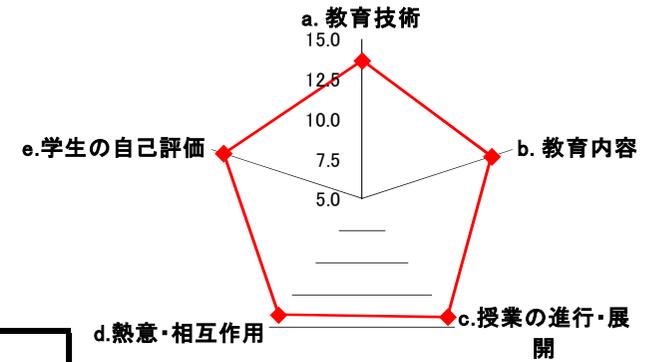
履修者数	73	回収数	28	回収率	38.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:精神保健看護学 I

担当者:

武井麻子,小宮敬子,鷹野朋実,堀井湖浪

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	28	13.68	1.93
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	28	13.61	1.99
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	28	14.18	1.49
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	28	14.00	1.60
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	28	14.21	1.24



[00]

N=28

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	7	3	0	0	0	4.54	0.68
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	18	7	3	0	0	0	4.54	0.68
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	5	3	0	0	0	4.61	0.67

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	18	4	6	0	0	0	4.43	0.82
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	19	6	3	0	0	0	4.57	0.68
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	19	7	2	0	0	0	4.61	0.62

c. 授業の進行・展開

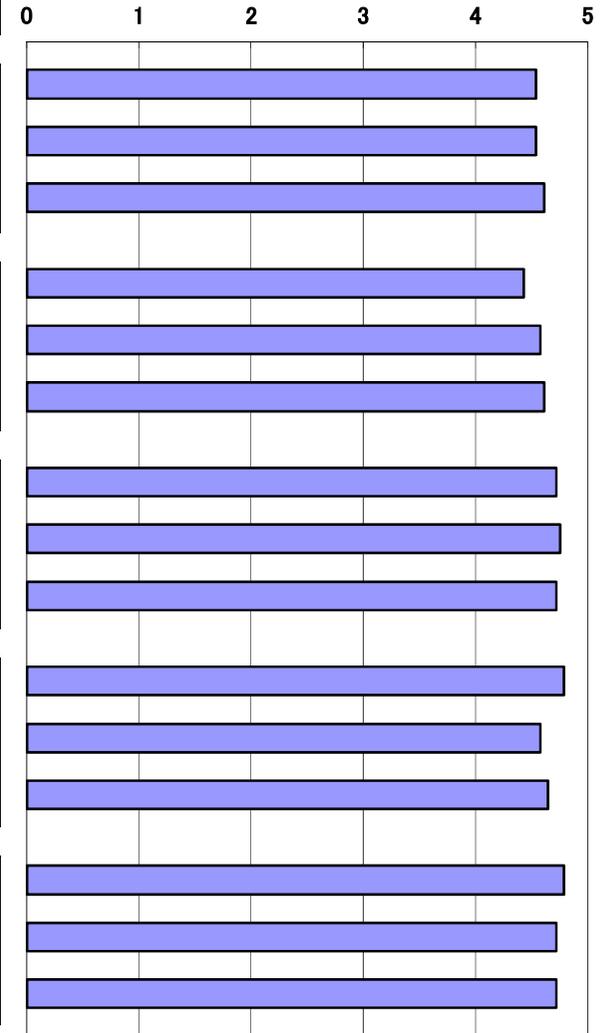
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	21	6	1	0	0	0	4.71	0.52
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	22	5	1	0	0	0	4.75	0.51
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	21	6	1	0	0	0	4.71	0.52

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	23	4	1	0	0	0	4.79	0.49
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	19	7	1	1	0	0	4.57	0.73
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	19	8	1	0	0	0	4.64	0.55

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	22	6	0	0	0	0	4.79	0.41
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	21	6	1	0	0	0	4.71	0.52
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	21	6	1	0	0	0	4.71	0.52



科目コード	1L0101	科目名	精神保健看護学 I	担当教員名	武井麻子・小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪
-------	--------	-----	-----------	-------	---------------------

<教員からのコメント>

・皆さんの感想から、精神疾患やメンタルヘルスの問題が、決して他人事ではなく、誰にでも起こる身近な出来事と捉えることができたようで、授業の効果があったと思われます。

・回収率があまり高くなかったのは、配布の時期の問題かと思われるので、今後は配布・回収の時期を考慮したいと思います。

試験の配点が高いという意見がありましたので、問題数を増やす、レポート点を加えるなどの評価方法を考えていきたいと思っています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

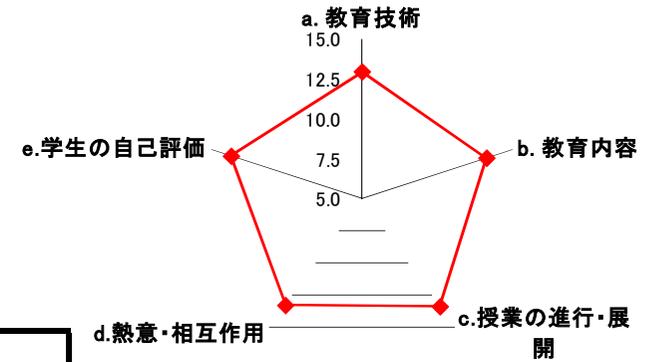
履修者数	83	回収数	37	回収率	44.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:精神保健看護学 I

担当者:

武井麻子,小宮敬子,鷹野朋実,堀井湖浪

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	37	12.97	2.49
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	37	13.27	2.06
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	37	13.35	2.00
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	37	13.24	2.21
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	37	13.73	1.69



[00]

N=37

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	19	14	2	2	0	0	4.35	0.81
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	19	11	5	2	0	0	4.27	0.89
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	19	14	2	2	0	0	4.35	0.81

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	18	15	2	2	0	0	4.32	0.81
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	21	13	3	0	0	0	4.49	0.64
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	21	12	4	0	0	0	4.46	0.68

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	22	11	4	0	0	0	4.49	0.68
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21	11	5	0	0	0	4.43	0.72
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	20	13	4	0	0	0	4.43	0.68

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	21	12	3	1	0	0	4.43	0.75
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	21	10	6	0	0	0	4.41	0.75
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	21	11	4	1	0	0	4.41	0.79

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	23	13	1	0	0	0	4.59	0.54
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	23	11	3	0	0	0	4.54	0.64
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25	9	3	0	0	0	4.59	0.63



科目コード	1L0102	科目名	精神保健看護学 I	担当教員名	武井麻子・小宮敬子・鷹野朋実・堀井湖浪
-------	--------	-----	-----------	-------	---------------------

<教員からのコメント>

- ・皆さんの感想から、精神疾患やメンタルヘルスの問題が、決して他人事ではなく、誰にでも起こりうる出来事として、関心を持ってもらえたようです。この授業を通して、色々なことを振り返り、考えることができた学生が多いようですので、引き続き、皆さんが興味を持てるような授業をしていきたいと思います。
- ・感情労働に関する皆さんの関心が高く、将来、看護師として働く上で、役に立つ内容だったと思います。
- ・回収率があまり高くなかったのは、授業評価の配布が遅いことが原因と思われるので、配布の時期を考えたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

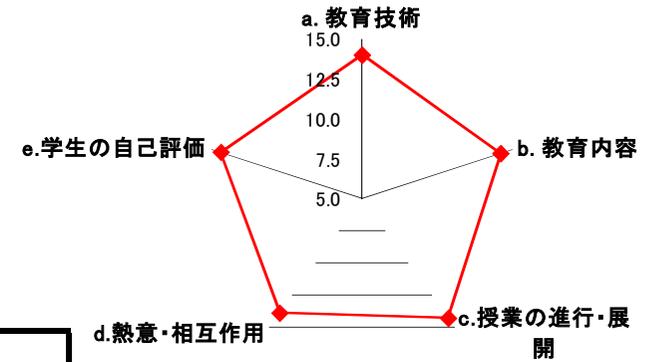
履修者数	144	回収数	47	回収率	32.6%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学 I ①

担当者:

谷津裕子,佐々木美喜,山本由香

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	14.04	1.53
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	14.21	1.70
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	14.26	1.55
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	13.85	2.01
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	46	14.41	1.24



[00]

N=107

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	35	9	2	1	0	0	4.66	0.66
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	32	11	4	0	0	0	4.60	0.64

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	35	9	2	1	0	0	4.66	0.66
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	39	6	2	0	0	0	4.79	0.50
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	39	6	1	1	0	0	4.77	0.59

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	39	6	2	0	0	0	4.79	0.50
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	37	8	2	0	0	0	4.74	0.52
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	37	7	3	0	0	0	4.72	0.57

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	36	8	2	1	0	0	4.68	0.66
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	33	8	5	1	0	0	4.55	0.77
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	35	6	6	0	0	0	4.62	0.70

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	40	6	0	0	0	1	4.77	0.78
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	38	6	2	0	0	1	4.68	0.85
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	37	7	2	0	0	1	4.66	0.86



科目コード	1M0300	科目名	発達看護学 I ①	担当教員名	谷津裕子・佐々木美喜・濱田真由美
-------	--------	-----	-----------	-------	------------------

<教員からのコメント>

【良かった点】

・興味をそそる内容であり母性看護に関心が高まったこと、レジュメがわかりやすいこと、興味深い写真や映像、医療器具などを見たこと、リアクションペーパーに返事があったことなどが挙げられていました。次年度もこれらの長所を生かしていきたいと思います。

【改善が必要な点】

・概論と妊娠期と分娩期でそれぞれ担当教員が変わること、教科内容の幅が広く学習量が多くなることが指摘されました。性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)と女性の健康(ウィメンズ・ヘルス)の両方を1つの単元で学習するため、負担が大きいだらうと思います。ポイントをしばってお伝えできよう、検討していきたいと思います。

・板書やマイクの声が分かりにくいときがあったこと、穴埋めのどこに何が入るのか不明なことがあったことが分かりました。分かりやすい説明と板書と発声を心がけ、学生さんにも確認しながら進めたいと思います。

・分娩期の授業について“機械的”“楽しくなかった”との指摘がありました。異常編が該当箇所かと思われますので、正常編と同様、視覚的に理解できるような工夫をしていきたいと思います。

【メッセージ】

・この授業を通して母性看護や周産期のケアに関心をもつことができた方がいらしたのは、大変喜ばしいことです。

・実習のときに必要となる知識であり、かつ国家試験にも頻出する内容です。繰り返し学習し、知識を定着させましょう。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅱ①

担当者:

江本リナ,川名るり

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	14.66	0.86
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	14.60	1.14
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	14.72	0.76
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	14.66	0.91
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.60	0.91

N=58

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	40	7	0	0	0	0	4.85	0.36
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	41	5	0	0	1	0	4.81	0.64
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39

c. 授業の進行・展開

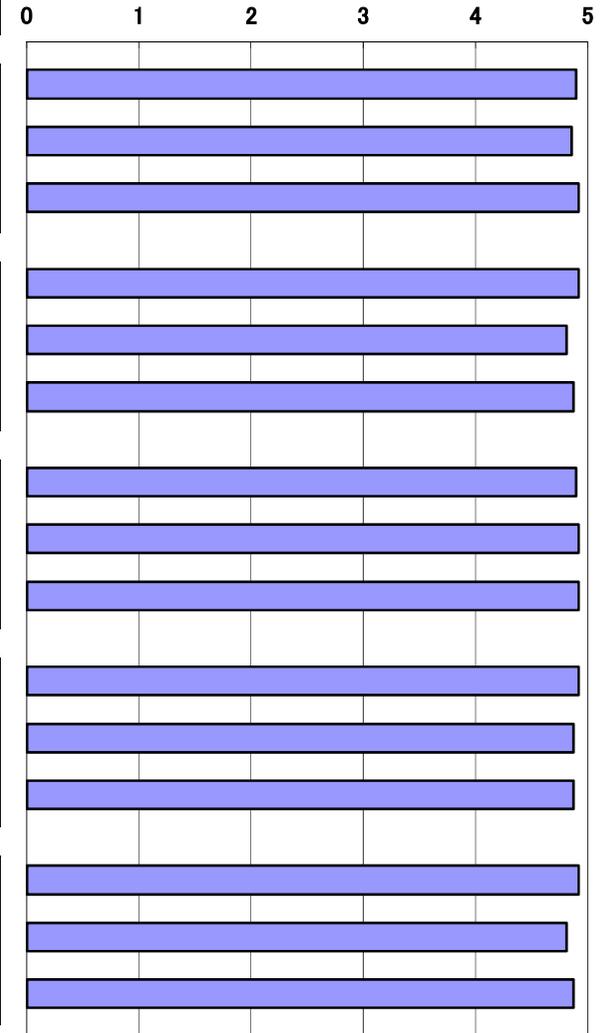
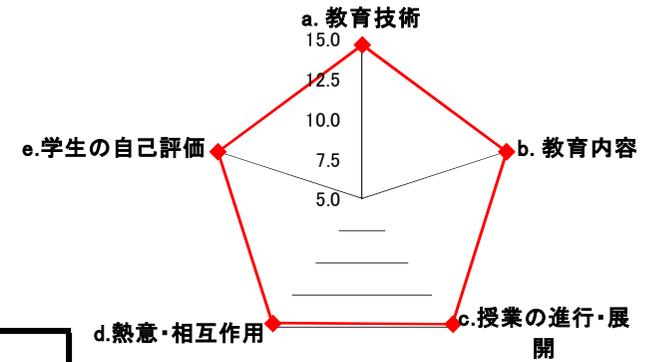
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	40	5	2	0	0	0	4.81	0.49
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33



[00]

科目コード	1M0501	科目名	発達看護学Ⅱ①	担当教員名	江本リナ,川名るり
-------	--------	-----	---------	-------	-----------

<教員からのコメント>

大変高い評価をいただきまして、ありがとうございます。

一番楽しかったというご意見もあり、とても興味を持って学んでいただけたことを教員一同嬉しく思いました。

DVDなどの映像、器具や道具を実際に触る機会があったことがよかったとご意見をいただきました。

実際の映像や実物に触れる機会は、学びを具体的なイメージにつなげるために効果的であることが伝わってきました。

今後も積極的に取り入れながら、分かりやすく楽しく学べる授業を心掛けていきたいと思えます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

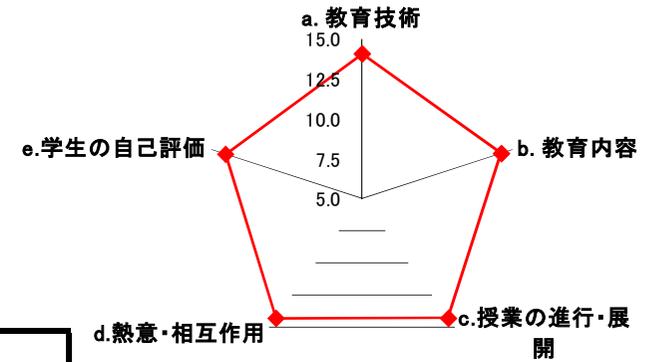
履修者数	73	回収数	47	回収率	64.4%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅱ①

担当者:

江本リナ,川名るり

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	14.11	1.53
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	14.23	1.45
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	14.26	1.33
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	14.28	1.32
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.09	1.38



[00]

N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	34	10	2	0	1	0	4.62	0.76
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	36	10	0	1	0	0	4.72	0.57
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	38	8	0	1	0	0	4.77	0.55
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48

c. 授業の進行・展開

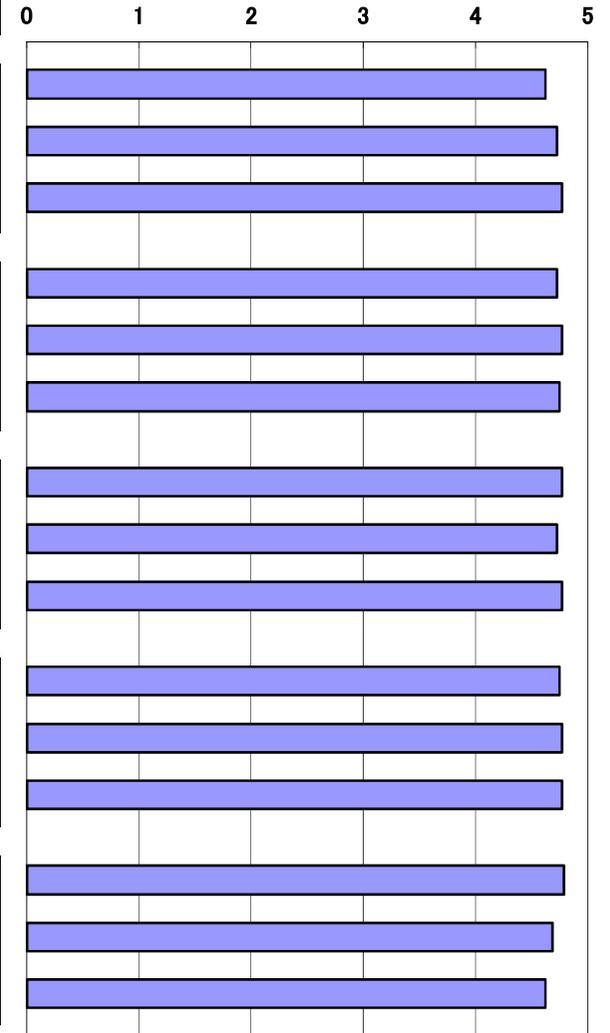
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	35	9	3	0	0	0	4.68	0.59
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60



科目コード	1M0502	科目名	発達看護学Ⅱ①	担当教員名	江本リナ,川名るり
-------	--------	-----	---------	-------	-----------

<教員からのコメント>

授業スタイルがいい、小児看護について楽しく学べたとの評価をいただき、ありがとうございました。
図を用いた豊富な資料が分かりやすく、役に立ったとのご意見を多くの学生からいただきました。
視覚的に分かりやすい媒体を用いることが有効であったと感じました。
今後も積極的に取り入れ、充実した資料をお渡しできるようにしていきたいと思います。

改善して欲しいこととして、レジメにメモをとりにくいのご意見をいただきました。
この授業では、レジメは授業の概要を示す資料としてお渡ししております。
授業の詳しい内容や重要な部分は、ぜひご自分のノートにまとめていくことをお勧めします。
また、どの話が大切かわかりにくいのご意見もいただきました。
授業でお話していることは小児看護において全て大切な内容なため、小児看護ならではの内容や特徴を伝えています。
授業回数が少ないので、そのように感じられるかもしれません。
今後も全てが大切であると強調していくようにします。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

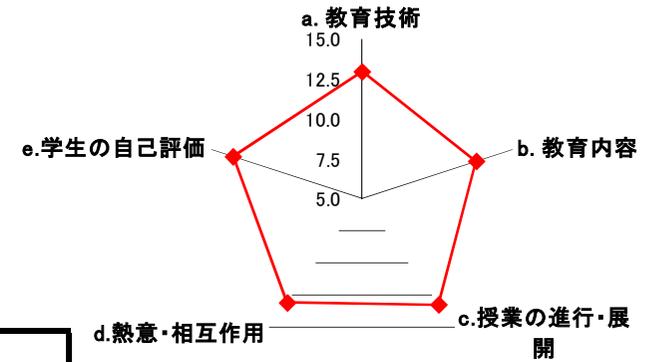
履修者数	145	回収数	47	回収率	32.4%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:発達看護学Ⅲ①

担当者:

坂口千鶴,清田明美,江見香月,比留間絵美

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	12.98	2.41
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	12.60	2.98
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.23	2.43
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	13.06	2.55
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.57	2.09



[00]

N=110

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	24	15	7	1	0	0	4.32	0.80
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	26	12	8	1	0	0	4.34	0.83
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	25	13	8	1	0	0	4.32	0.83

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	25	12	7	3	0	0	4.26	0.93
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	24	12	5	4	2	0	4.11	1.15
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	26	11	6	3	1	0	4.23	1.04

c. 授業の進行・展開

⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	29	11	6	1	0	0	4.45	0.79
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	28	11	6	2	0	0	4.38	0.86
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	28	12	5	2	0	0	4.40	0.84

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	27	12	7	1	0	0	4.38	0.81
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	27	11	7	2	0	0	4.34	0.88
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	28	10	7	1	1	0	4.34	0.95

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	38	5	3	1	0	0	4.70	0.68
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	28	11	5	2	1	0	4.34	0.97
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	31	11	4	1	0	0	4.53	0.74



科目コード	1M0700	科目名	発達看護学Ⅲ①	担当教員名	坂口千鶴・清田明美・江見香月・比留間絵美
-------	--------	-----	---------	-------	----------------------

<教員からのコメント>

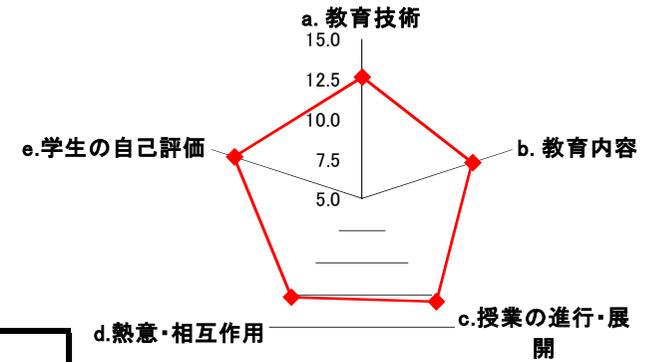
- ・「事前に教科書を読んで質問や感想を記載することについて意味があるのか」とのコメントについて:授業を受けるに当たり、テキストを読んでご自身の疑問や意見を持って授業に臨んで頂きたいと思っています。ぜひ事前学習で思った疑問や意見について積極的に発言して行ってください。
- ・「事前学習の範囲と授業の範囲が違うことがあった」とのコメントについて:授業の進行によって予定していた範囲を終えることができない場合等も出てきたかと思えます。出来るだけ違いがないように授業の時間配分等に気をつけていきたいと思えます。
- ・「リアクションペーパーに記載した内容について答えが返ってこない。読んでいないのではないか」とのコメントについて:私たち担当教員は、皆さんのリアクションペーパーの内容を読んでおります。皆さんからの質問や指摘に多くの学びを得て、出来る限り次の授業等で返すようにしています。ただ、全員の質問一つひとつに答えることはできないので、まとめて説明することもあるかもしれません。ご自分の質問に答えていないと感じた場合は、ぜひ研究室に教員を訪ねて直接質問してみてください。
- ・「坂口先生の授業がとてつもなくつまらない。なぜもっと興味のあるおもしろい授業をできないか」とのコメントについて:ご指摘、ありがとうございます。今後、皆様が興味関心を持てるような授業内容、方法を検討していきたいと思えます。もし講義について「つまらない」等のご意見がありましたら、ぜひ直接研究室に来て指摘をしてください。改善につなげていきたいと思えます。
- ・「最終回の事例で発表するのは必要なかったのではないか」とのコメントについて:ご指摘、ありがとうございます。今後検討していき、事例を提示する意図が伝わるような工夫をしていきたいと思えます。また、事例に関してのディスカッションの時間が発表の時間もあり授業の中で十分に取れなかったため、今後どのように行うか検討していきたいと思えます。
- ・資料に関して、「文字が細かすぎる、見づらい」等のコメントについて:適切な文字の大きさ、白黒印刷で読みやすいスライド等、資料の作成には気をつけていきたいと思えます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	155	回収数	47	回収率	30.3%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:地域看護学
担当者:
福井小紀子,乙黒千鶴

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	46	12.65	2.64
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	46	12.33	2.99
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	12.98	2.39
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	12.62	2.76
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.51	2.22



[00]

N=129

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	22	17	6	1	1	0	4.23	0.90
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	22	18	5	1	1	0	4.26	0.89
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	20	18	6	1	1	1	4.11	1.08
42.6		38.3	12.8	2.1	2.1	2.1	2.1	4.11	1.08
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	21	13	10	2	1	0	4.09	1.01
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	20	16	5	4	2	0	4.02	1.12
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	21	16	5	2	2	1	4.04	1.20
44.7		34.0	10.6	4.3	4.3	2.1	2.1	4.04	1.20
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25	17	4	0	1	0	4.38	0.81
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	23	19	4	0	1	0	4.34	0.81
⑨	授業の進行速度は適切だった。	22	19	3	2	1	0	4.26	0.91
46.8		40.4	6.4	4.3	2.1	0.0	0.0	4.26	0.91
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	25	16	4	0	2	0	4.32	0.95
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	21	19	2	4	1	0	4.17	1.00
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	22	15	5	4	1	0	4.13	1.04
46.8		31.9	10.6	8.5	2.1	0.0	0.0	4.13	1.04
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	35	10	1	0	1	0	4.66	0.72
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	27	15	3	0	2	0	4.38	0.94
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入室をしない等)に協力した。	28	15	3	0	1	0	4.47	0.79
59.6		31.9	6.4	0.0	2.1	0.0	0.0	4.47	0.79



科目コード	100100	科目名	地域看護学	担当教員名	福井小紀子、乙黒千鶴、澤井美奈子
-------	--------	-----	-------	-------	------------------

<教員からのコメント>

前期に行われた、プライマリーヘルスからの連続性を持って行った本講義で、地域看護の楽しさが伝えられたと思います。受身にならないように後半で行ったGWでは、日本のみならず海外(10カ国)の看護についても調べ上げてPPTで発表するという経験が出来ました。そのことに関して「楽しかった」「他国と比べることで、日本の看護のよさが分かった」「知らないことが知れて、ためになった」など、学生自身の看護の視点に広がりをもてた事は、講義の狙い通りであったと思います。学びが深められる講義であったとの声をたくさん頂きましたので次年度も今年度同様に、地域看護の楽しさを伝えていけるように励みたいと思います。ありがとうございました。

改善点について

「GWの提示の時期が遅いので講義の初回でグループ分けとテーマを提示して欲しい」という意見がありました。それに関しては次年度より提示の仕方を早め、GWが十分に行われる配慮をしようと考えています。

「GWの説明が不十分であった」という意見がありました。これに関しては、例年同じ説明をしていますが分かりにくかったと言う声があるので、次年度はもっと丁寧に説明して行きたいと思います。

GWに関して複数の声を頂きましたので、次年度よりやり方について改善していくように努力いたします。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

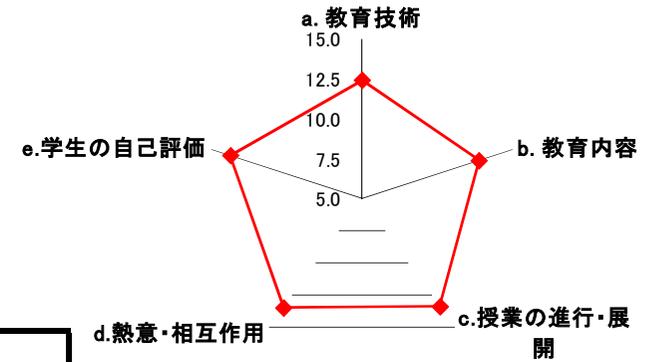
履修者数	78	回収数	34	回収率	43.6%
------	----	-----	----	-----	-------

科目: 公衆衛生看護活動論

担当者:

澤井美奈子, 乙黒千鶴

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	34	12.44	1.96
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	33	12.79	2.09
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	34	13.35	1.76
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	34	13.44	1.50
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	34	13.76	1.42

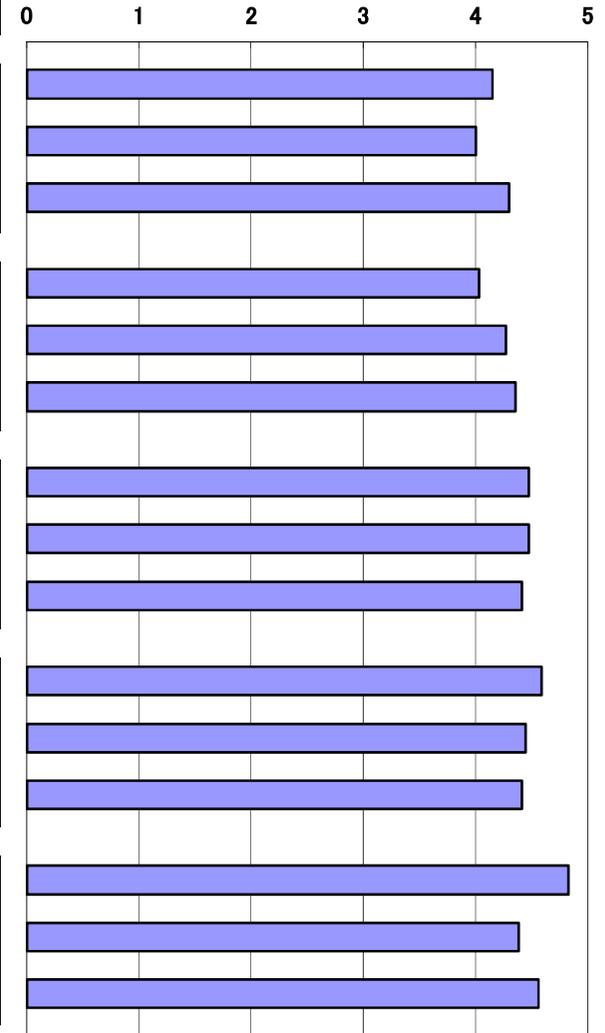


[00]

N=34

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	授業の内容はわかりやすかった。	授業の内容は興味のあるものだった。	この授業は自分にとって価値があった。	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	授業の進行速度は適切だった。	教員の熱意が伝わってきた。	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。
10	9	14	12	14	16	18	18	18	20	18	15	29	17	22
29.4	26.5	41.2	35.3	41.2	47.1	52.9	52.9	52.9	58.8	52.9	44.1	85.3	50.0	64.7
20	19	17	15	15	16	14	14	12	14	13	18	4	13	9
3	3	2	5	5	0	2	2	4	0	3	1	1	4	3
1	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4.15	4.00	4.29	4.03	4.26	4.35	4.47	4.47	4.41	4.59	4.44	4.41	4.82	4.38	4.56
0.69	0.84	0.71	1.04	0.70	0.76	0.61	0.61	0.69	0.49	0.65	0.55	0.45	0.69	0.65



科目コード	100200	科目名	公衆衛生看護活動論	担当教員名	澤井美奈子
-------	--------	-----	-----------	-------	-------

<教員からのコメント>

保健師教育課程の履修を希望している人や公衆衛生看護に関心のある学生さんが履修する選択科目として今年度初めて開講しました。

人々が住んでいる地域でライフサイクルや環境によって変わっていく健康課題について、多くの人が登場する物語形式の事例を展開し、具体的に考えながら現行のサービスなどの関連学習をしています。

課題のひとつ「がん」については地域で活動している住民グループと乳がん看護の専門家を交えたワークショップを体験しました。ここでは、実際に地域としての健康課題から企画を考え、ポスター作成と発表まで行いましたが、これは特に楽しく学びが大きかったようです。ちなみに、この成果は住民グループのその後の活動に反映しており、それがますますやる気につながったようでした。

最終回でまとめの時間をとりましたが、取り扱う内容が盛りだくさんでやや駆け足の授業展開になりましたので、内容を見直し、保健師のイメージ、大変さと面白さを織り交ぜながらよりわかりやすい方法で展開していく予定です。4月の履修登録では70名以上でしたが、前期の保健師教育課程選択必修科目の可否により履修を取り消した人もいました。この授業を保健師教育課程の履修検討のよい機会にもしてほしいと思っています。

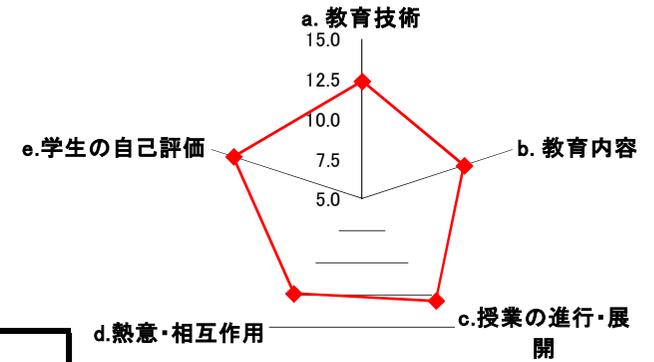
A・B・編入各クラスから選択できるよう全クラス一緒に時間に開講するため時間割が変則的となるのが残念です。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	61	回収数	47	回収率	77.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:疫学
担当者:
逸見 功

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	12.38	2.24
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	46	11.78	2.93
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	12.94	2.14
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	12.36	2.61
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	46	13.54	1.68



[00]

N=54

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	21	8	0	0	0	4.21	0.71
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	17	18	11	1	0	0	4.09	0.82
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	17	18	11	1	0	0	4.09	0.82
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	16	17	8	5	1	0	3.89	1.06
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	15	15	12	3	1	1	3.79	1.15
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	16	20	8	2	1	0	4.02	0.93
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	25	17	5	0	0	0	4.43	0.68
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	23	19	3	1	1	0	4.32	0.85
⑨	授業の進行速度は適切だった。	21	17	6	3	0	0	4.19	0.89
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	20	19	6	2	0	0	4.21	0.82
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	18	16	10	2	1	0	4.02	0.98
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	20	17	7	2	1	0	4.13	0.96
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	35	10	1	0	0	1	4.64	0.84
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	25	15	5	1	0	1	4.30	0.99
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	25	16	4	1	0	1	4.32	0.97



科目コード	100400	科目名	疫学	担当教員名	逸見 功
-------	--------	-----	----	-------	------

<教員からのコメント>

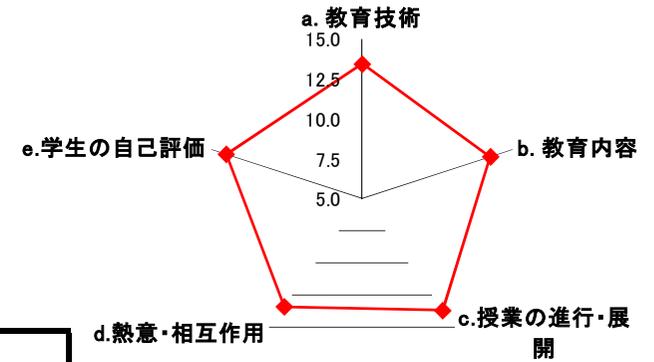
授業がわかりやすく、演習問題をやって理解が深まった、ということでよかったです。
さらに理解しやすいように工夫していきます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	148	回収数	47	回収率	31.8%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:看護管理学 I
 担当者:
 安部陽子,鶴田恵子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	13.47	1.74
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	13.51	1.77
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.66	1.80
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	13.38	1.90
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.04	1.35

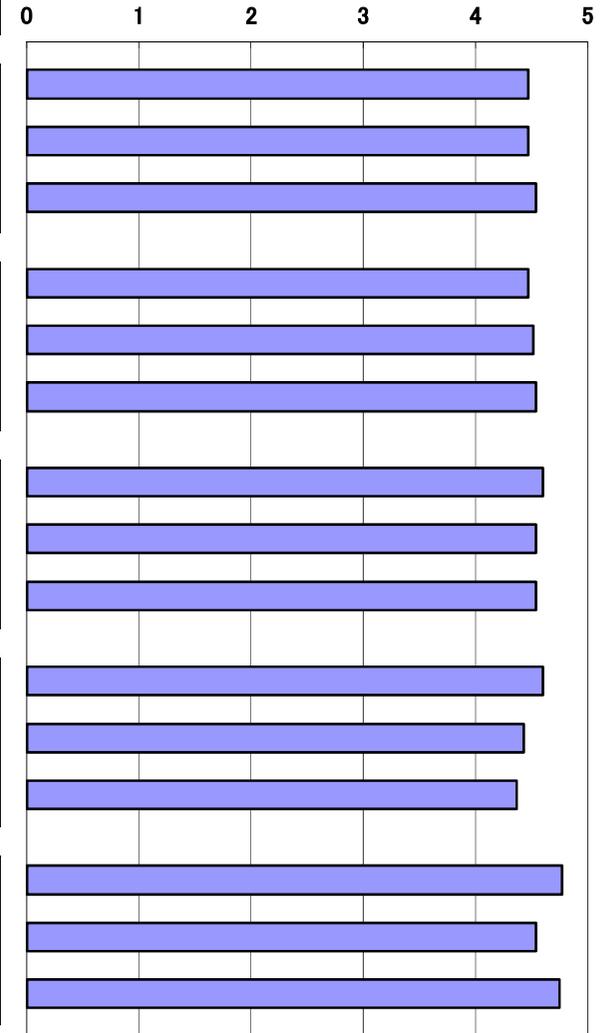


[00]

N=112

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	25	20	1	1	0	0	4.47	0.65
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	26	17	4	0	0	0	4.47	0.65
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	28	16	3	0	0	0	4.53	0.61
59.6		34.0	6.4	0.0	0.0	0.0			
b. 教育内容		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
④	授業の内容はわかりやすかった。	27	15	5	0	0	0	4.47	0.68
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	28	15	4	0	0	0	4.51	0.65
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	27	18	2	0	0	0	4.53	0.58
57.4		38.3	4.3	0.0	0.0	0.0			
c. 授業の進行・展開		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	29	17	1	0	0	0	4.60	0.53
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	30	12	5	0	0	0	4.53	0.68
⑨	授業の進行速度は適切だった。	30	12	5	0	0	0	4.53	0.68
63.8		25.5	10.6	0.0	0.0	0.0			
d. 熱意・相互作用		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	30	15	2	0	0	0	4.60	0.57
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	26	16	4	1	0	0	4.43	0.74
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	14	8	0	0	0	4.36	0.76
53.2		29.8	17.0	0.0	0.0	0.0			
e. 学生の自己評価		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	28	16	3	0	0	0	4.53	0.61
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
76.6		21.3	2.1	0.0	0.0	0.0			



科目コード	1P0100	科目名	看護管理学 I	担当教員名	安部陽子・鶴田恵子
-------	--------	-----	---------	-------	-----------

<教員からのコメント>

今年度から授業時間が半分になり、講義内容の焦点化が必要となりました。シラバスには「授業前に提示する教科書の関連ページに目を通して授業に臨むこと」としてありますが、実際に予習をしてきていただいているかはわかりません。そこで、講義内容の理解を確認するという意図だけでなく、時間的に講義の一部として話すことが難しかった部分で教科書に記載されている内容の理解を促すという意図と、過去の国家試験問題に早くから慣れてもらうという意図をもって、クイズ問題を作成しています。クイズ問題は評価のために行っているのではないため、授業の終了前に行い、教科書を見て解答してもよいし、友人と相談して解答してもよいとしています。また、授業の最後に解答済みのクイズ用紙を提出したかどうかは評価に反映されますが、正解したかどうかは評価に反映されません。しかしながら、「小テストと授業内容が一致していない」ことを改善して欲しいというご意見がありましたので、教育方法としてのクイズ問題の活用を次年度に向けて検討したいと思います。

授業評価のアンケートは試験の前に回収していますし、実際、今年度の学生さんの点数は高く、ほとんどの方がS評価でした。ですから、「授業でやっている部分ではまったくない部分がテストに出て、意味がない」というご意見はクイズのことであると考えます。

また、教材(DVD)による具体例と、抽象的・理論的な内容の関連性について学生さんにより捉え方に相違があることがわかりました。教材内容についても検討したいと思います。

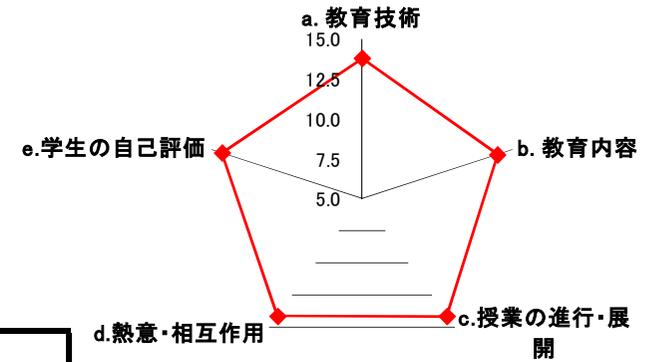
学生さんを「あんたたち」と呼んでいたのは、教員の出身地の方言かと思いますが、気をつけさせていただきたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	148	回収数	47	回収率	31.8%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:看護教育学 I
 担当者:
 佐々木幾美,西田朋子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	13.81	1.75
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	14.00	1.60
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	14.13	1.68
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	14.11	1.63
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.32	1.50

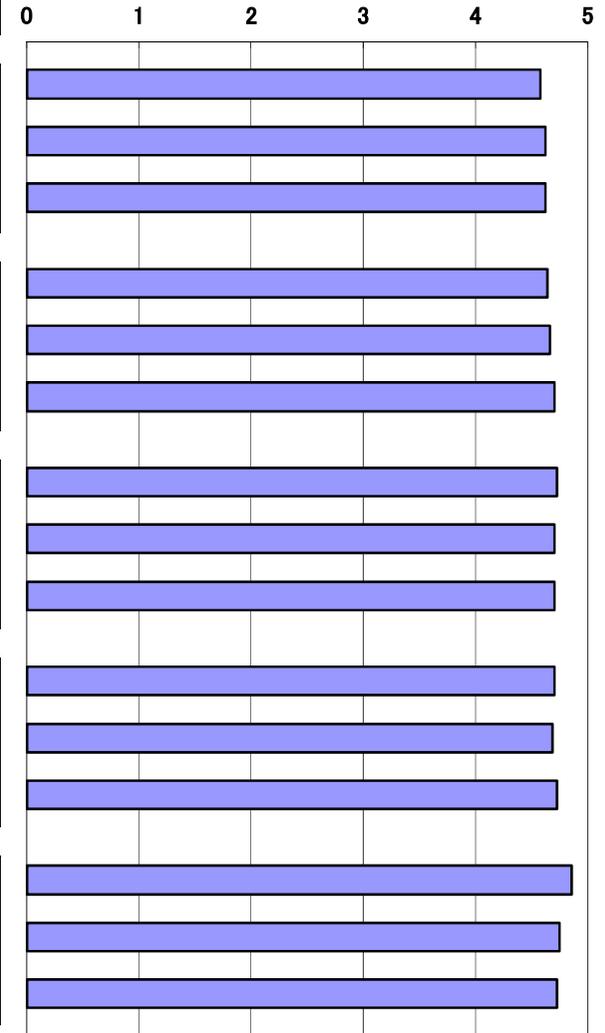


[00]

N=91

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	30	14	3	0	0	0	4.57	0.61
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	32	13	2	0	0	0	4.64	0.56
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	33	12	2	0	0	0	4.66	0.56
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	35	10	2	0	0	0	4.70	0.54
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	36	8	3	0	0	0	4.70	0.58
⑨	授業の進行速度は適切だった。	36	8	3	0	0	0	4.70	0.58
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	36	8	3	0	0	0	4.70	0.58
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	35	9	3	0	0	0	4.68	0.59
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	42	3	2	0	0	0	4.85	0.46
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	38	6	3	0	0	0	4.74	0.56
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	37	7	3	0	0	0	4.72	0.57



科目コード	1P0300	科目名	看護教育学 I	担当教員名	佐々木幾美・西田朋子
-------	--------	-----	---------	-------	------------

<教員からのコメント>

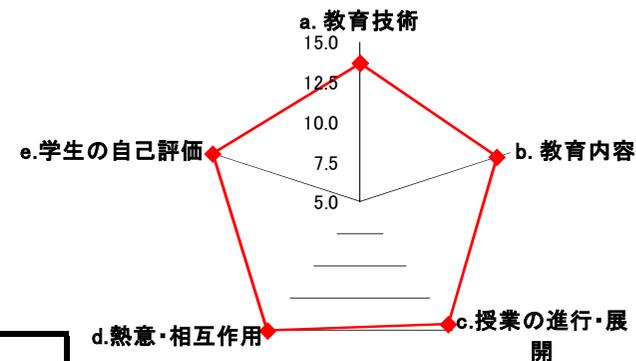
回収率は61.5%とそれほど高くはなかったのですが、授業評価を記入してくださった皆さんからの評価は概ねよかったです、安心しました。必修科目であり、看護教育の制度やその動向など、学生の皆さんにはあまり身近でない内容も含まれている中で、学生の自己評価のポイントが高く、授業に意欲的・積極的取り組み、学びやすい環境づくりに協力したと回答している割合が高いのは、とてもよかったと思います。また、毎回、リフレクションペーパーを記載してもらい、自分たちで考える時間を作りましたが、そのことが評価されていました。さらに、リフレクションペーパーに記載されている質問に対して必ず次の授業で答えるようにしたことも、皆さんのやる気につながり、理解を助けたようでした。今後も、多くの学生の皆さんが生涯にわたって学び続けていく看護教育の制度や看護教育学という領域について興味・関心を持っていただけるように、配布資料や授業の内容を見直して、よりよい授業をめざしたいと思います。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	15	回収数	10	回収率	66.7%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:国際看護学Ⅱ
 担当者:
 岡本 菜穂子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	10	13.70	2.10
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	10	14.10	1.92
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	10	14.50	1.02
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	10	15.00	0.00
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	10	14.80	0.60

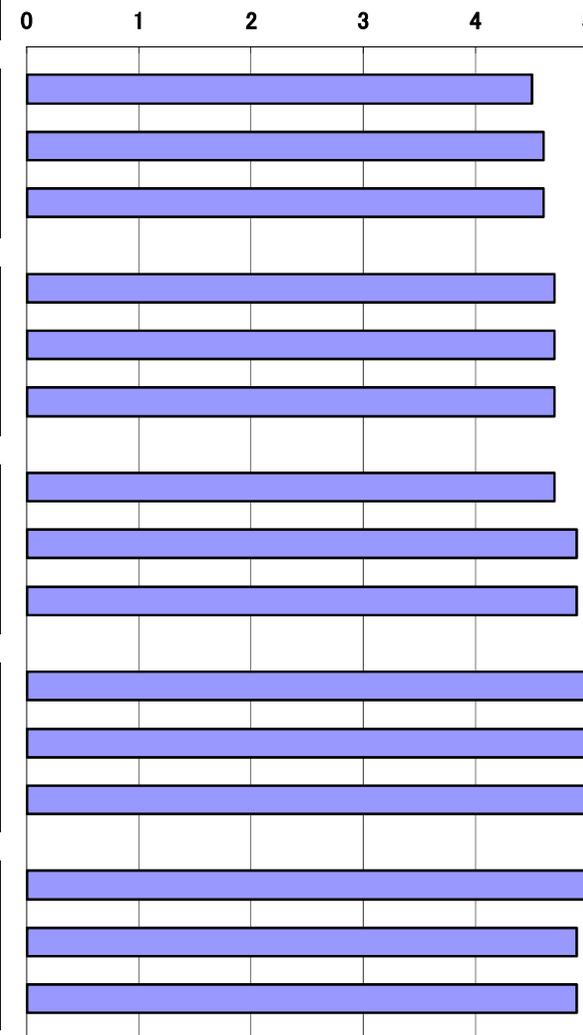


[00]

N=10

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
a. 教育技術									
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	7	1	2	0	0	0	4.50	0.81
		70.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0		
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	7	2	1	0	0	0	4.60	0.66
		70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	7	2	1	0	0	0	4.60	0.66
		70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	8	1	1	0	0	0	4.70	0.64
		80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	8	1	1	0	0	0	4.70	0.64
		80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	8	1	1	0	0	0	4.70	0.64
		80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	1	1	0	0	0	4.70	0.64
		80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0		
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
		90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑨	授業の進行速度は適切だった。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
		90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	0	0	0	0	0	5.00	0.00
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
		90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	1	0	0	0	0	4.90	0.30
		90.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0		



科目コード	1R0200	科目名	国際看護学Ⅱ	担当教員名	岡本菜穂子
-------	--------	-----	--------	-------	-------

<教員からのコメント>

皆さんが積極的にグループワークやディスカッションに取り組んでくださり、授業が深まりました。受講者がさらに増えてくださるようにシラバスの内容を工夫し、国際的な視野を備える人材になられることを期待しております。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

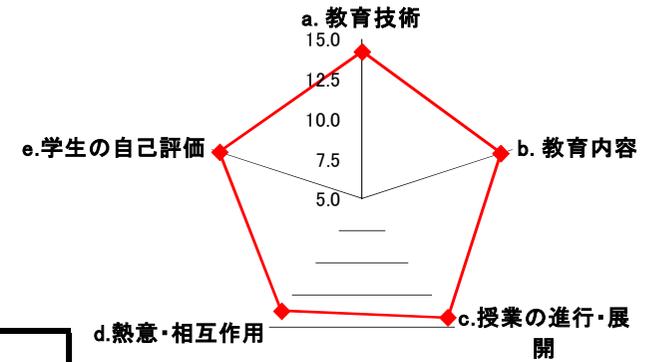
[00]

科目:災害看護論 I

担当者:

小原真理子, 亀井 緑, 槇島敏治

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	46	14.24	1.37
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	46	14.22	1.25
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	14.23	1.43
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	13.70	1.60
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	14.49	0.85



N=68

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	35	9	2	0	0	1	4.62	0.86

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	32	13	1	0	0	1	4.57	0.84
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41

c. 授業の進行・展開

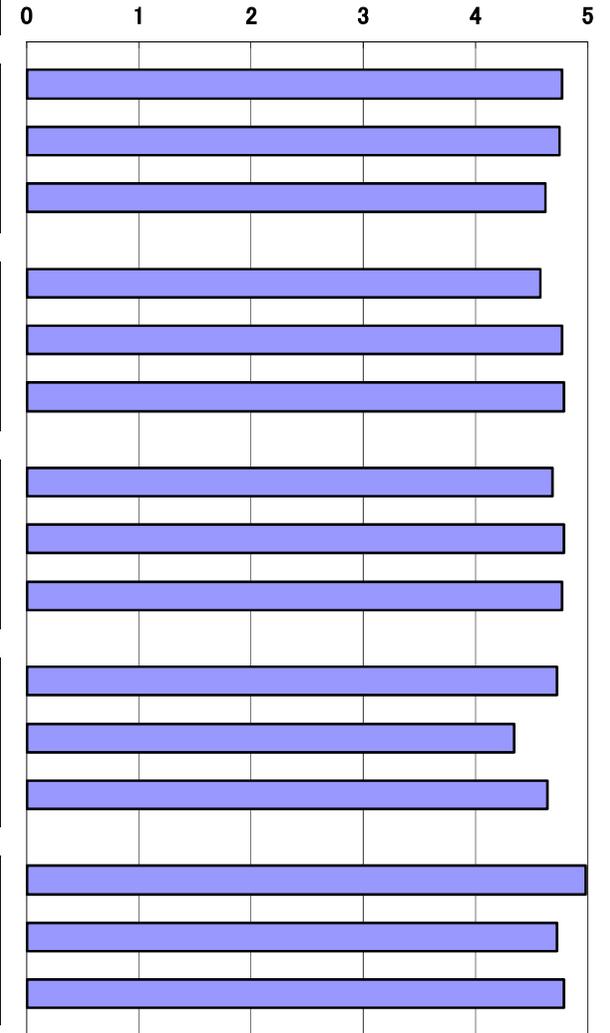
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	37	8	0	1	1	0	4.68	0.77
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	25	13	9	0	0	0	4.34	0.78
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	35	8	3	1	0	0	4.64	0.70

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	46	1	0	0	0	0	4.98	0.14
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	39	6	2	0	0	0	4.79	0.50



科目コード	1R0401	科目名	災害看護論I	担当教員名	小原真理子・亀井縁・埴島敏治
-------	--------	-----	--------	-------	----------------

<教員からのコメント

- ・リフレクションシートに記載された授業の質問や意見を、次回の授業に反映させてゆきたいと思います。
- ・本授業の評価点や自由記載を通して、災害看護への興味や学び、防災への動機づけになったことが確認できました。今後も災害看護の基本とともに、授業の中で教員の経験知、そして日本及び世界における近年の災害発生状況について情報提供し、災害看護の責務や役割の実際について引き続き教授していきたいと思っています。
 - ・授業の一環として参加している救護訓練や地域防災セミナーを、学生の皆さんが本学の教育の特性であると前向きに受け留めていることが伝わってきました。訓練の現場、そして取り組む医療者に直接関われる訓練への参加は、学生にとって学びの場と理解しております。また地域防災セミナーへの参加を通して、住民と共に地域に根差した防災について学ぶことの意義や楽しさを見出していることも、セミナーの現場や提出レポートからも伝わっております。今後も当プログラムは継続していきます。
 - ・今後、2年次、3年次は選択授業となります。1年での学びを活動に繋げる災害看護活動論の授業を選択し、各災害看護の活動場面を想定したシミュレーションを通して、更に学びを深めることを期待しています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

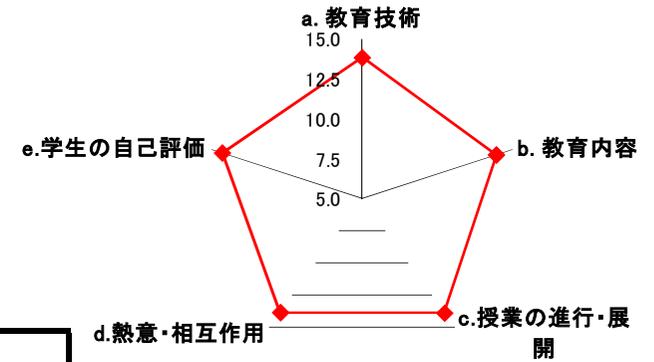
履修者数	81	回収数	47	回収率	58.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:災害看護論 I

担当者:

小原真理子, 亀井 緑, 植島敏治

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	13.87	1.82
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	46	13.93	1.74
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	47	13.85	1.62
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	13.83	1.77
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	46	14.30	1.14



[00]

N=77

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	34	10	3	0	0	0	4.66	0.59
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	34	7	6	0	0	0	4.60	0.70

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	33	11	3	0	0	0	4.64	0.60
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	34	10	1	1	0	1	4.57	0.92

c. 授業の進行・展開

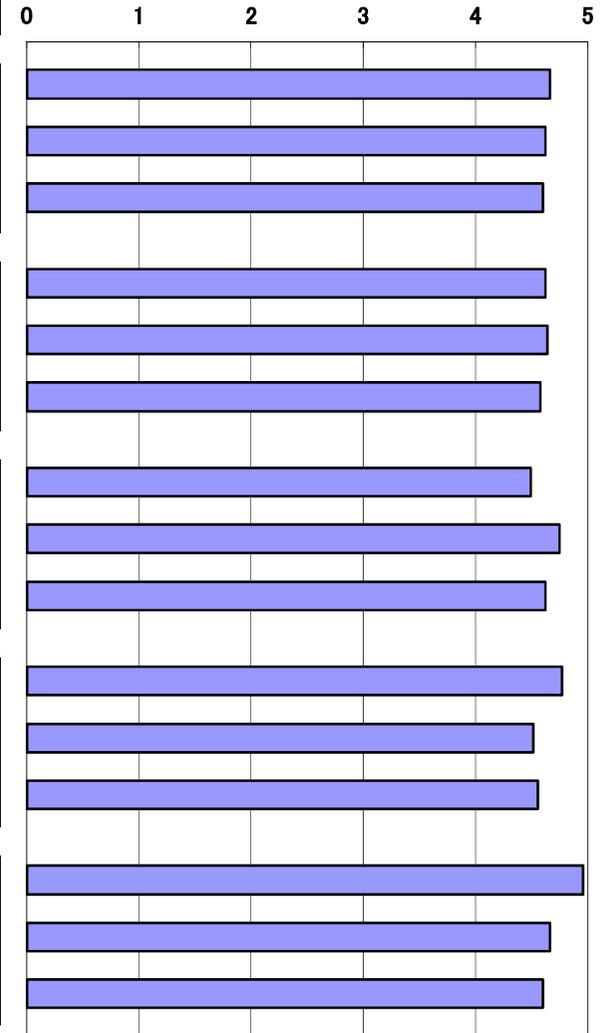
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	31	10	4	2	0	0	4.49	0.82
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	38	6	3	0	0	0	4.74	0.56
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	32	12	3	0	0	0	4.62	0.60

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	38	7	2	0	0	0	4.77	0.51
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	31	9	7	0	0	0	4.51	0.74
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	33	8	5	1	0	0	4.55	0.77

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	46	0	1	0	0	0	4.96	0.29
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	32	14	1	0	0	0	4.66	0.52
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	35	8	3	0	0	1	4.60	0.89



科目コード	1R0402	科目名	災害看護論I	担当教員名	小原真理子・亀井縁・埴島敏治
-------	--------	-----	--------	-------	----------------

<教員からのコメント>

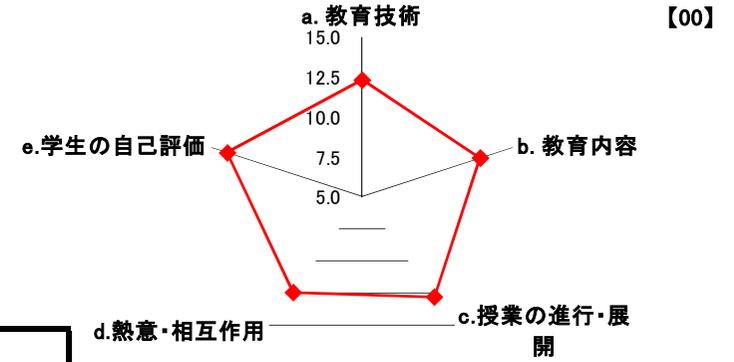
- ・学生のコメント(話すスピードが速い)は真摯にうけとめ、次の授業の改善に活かしたいと思っています。
- ・授業の評価点や災害看護活動の具体例の引用や映像の使い方等、授業内容や方法について、好意的に受け留めていることがわかりました。今後も映像による効果的な授業をプログラムしていきたいと思っています。
- ・本授業を通して、「日赤らしい授業」、「赤十字社の一員としての自覚と責任を感じた」学生もいました。今後も災害看護の基本とともに、授業の中で教員の経験知、そして日本及び世界における近年の災害発生状況について情報提供し、災害看護の責務や役割の実際について引き続き教授していきたいと思っています。
- ・授業の一環として参加している救護訓練や地域防災セミナーを、好意的に受け留めている記載もありました。訓練の現場、そして取り組む医療者に直接関われる訓練への参加は、学生にとって学びの場と理解しております。また地域防災セミナーへの参加を通して、住民と共に地域に根差した防災について学ぶことの意義や楽しさを見出していることも、セミナーの現場や提出レポートからも伝わっております。今後も当プログラムは継続していきます。
- ・今後、2年次、3年次は選択授業となります。1年での学びを活動に繋げる災害看護活動論の授業を選択し、各災害看護の活動場面を想定したシミュレーションを通して、更に学びを深めることを期待しています。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	150	回収数	47	回収率	31.3%
------	-----	-----	----	-----	-------

科目:看護学概論Ⅱ
 担当者:
 高田早苗,守田美奈子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	47	12.34	2.03
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	47	12.85	2.24
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	46	12.78	2.05
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	47	12.43	2.29
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	47	13.98	1.28



N=92

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術		強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
①	授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	15	25	7	0	0	0	4.17	0.66
②	授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	14	20	10	3	0	0	3.96	0.87
③	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	16	26	4	1	0	0	4.21	0.68
b. 教育内容									
④	授業の内容はわかりやすかった。	19	21	5	2	0	0	4.21	0.80
⑤	授業の内容は興味のあるものだった。	21	20	4	2	0	0	4.28	0.79
⑥	この授業は自分にとって価値があった。	23	20	2	2	0	0	4.36	0.76
c. 授業の進行・展開									
⑦	授業は、正規の時間に始まり、終わった。	22	13	9	3	0	0	4.15	0.94
⑧	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	21	22	3	0	0	1	4.30	0.87
⑨	授業の進行速度は適切だった。	19	22	5	1	0	0	4.26	0.73
d. 熱意・相互作用									
⑩	教員の熱意が伝わってきた。	22	20	4	1	0	0	4.34	0.72
⑪	教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	15	20	7	5	0	0	3.96	0.94
⑫	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	18	20	6	3	0	0	4.13	0.87
e. 学生の自己評価									
⑬	私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	45	1	1	0	0	0	4.94	0.32
⑭	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	24	19	3	1	0	0	4.40	0.70
⑮	私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	32	13	2	0	0	0	4.64	0.56



科目コード	H10200	科目名	看護学概論Ⅱ	担当教員名	高田早苗・守田美奈子
-------	--------	-----	--------	-------	------------

<教員からのコメント>

この授業は、4年次の最後の授業です。これまでの学び(特に実習での体験)をGWを通して振り返りながら、看護倫理を中心に、それぞれの看護の考え方を深めていく事を狙いとしています。看護の倫理を考えるきっかけになったことや、社会に出る前に看護の視点を再認識できてよかったという声、さらに理事長の講義を聴いて、この大学に入ってよかったと感じたという意見も多く書かれていました。グループの人数が多いことや講義の開講時期に関する課題等のご意見も頂きました。授業評価を参考にさらに改善を加えていきたいと思ひます。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	5	回収数	4	回収率	80.0%
------	---	-----	---	-----	-------

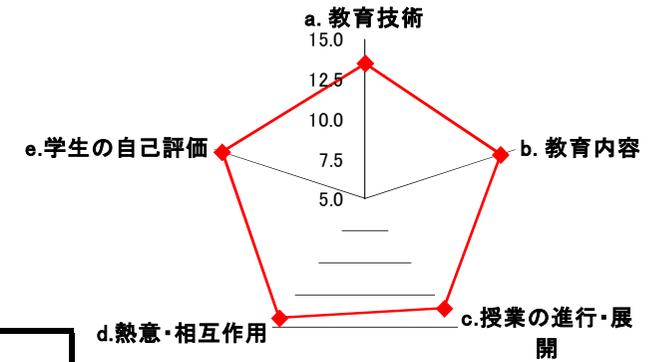
[00]

科目:地域看護学概論Ⅱ

担当者:

岡本有子,福井小紀子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	4	13.50	1.50
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	4	14.00	1.22
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	4	13.50	1.50
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	4	14.25	1.30
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	4	14.50	0.87



N=4

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	2	2	0	0	0	0	4.50	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	2	2	0	0	0	0	4.50	0.50
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	2	2	0	0	0	0	4.50	0.50

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	2	2	0	0	0	0	4.50	0.50
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.75	0.43
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	3	1	0	0	0	0	4.75	0.43

c. 授業の進行・展開

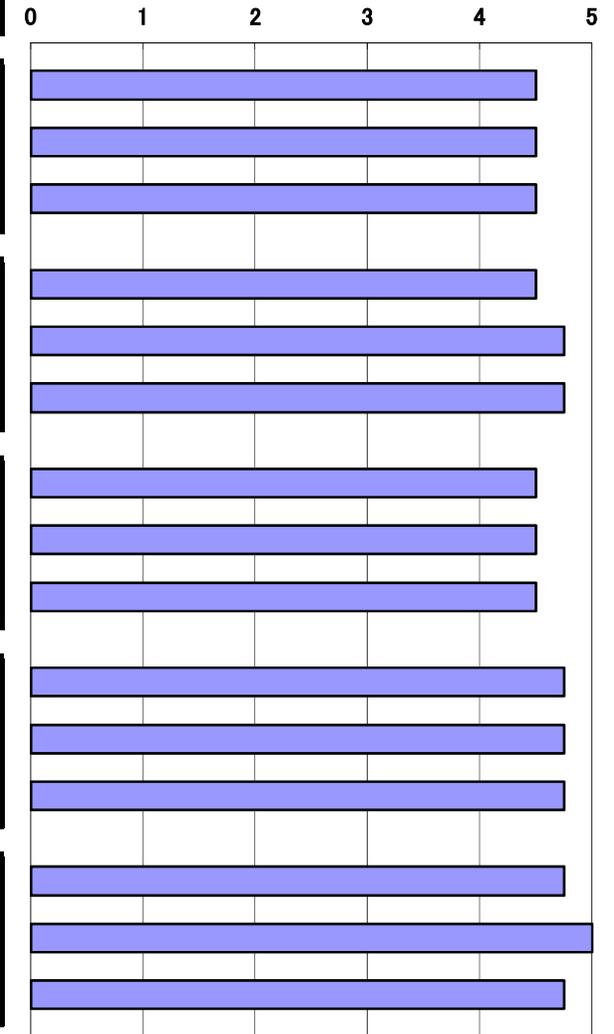
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	2	2	0	0	0	0	4.50	0.50
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	2	2	0	0	0	0	4.50	0.50
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	2	2	0	0	0	0	4.50	0.50

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	3	1	0	0	0	0	4.75	0.43
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	3	1	0	0	0	0	4.75	0.43
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	3	1	0	0	0	0	4.75	0.43

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	3	1	0	0	0	0	4.75	0.43
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.00	0.00
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	3	1	0	0	0	0	4.75	0.43



科目コード	O10900	科目名	地域看護学概論Ⅱ	担当教員名	岡本有子,福井小紀子
-------	--------	-----	----------	-------	------------

<教員からのコメント>

高い評価をいただき、ありがとうございます。皆さんが興味を持てる内容となり、よかったです。講義中のディスカッションおよび皆さんのレポートは、教員側もとても勉強になりました。残念ながら、本科目は新カリに相当する科目はございませんが、この科目でいただいたコメントは、別の講義等に活かしていきたいと考えております。

授業(講義)評価結果(2014年度後期)

履修者数	14	回収数	11	回収率	78.6%
------	----	-----	----	-----	-------

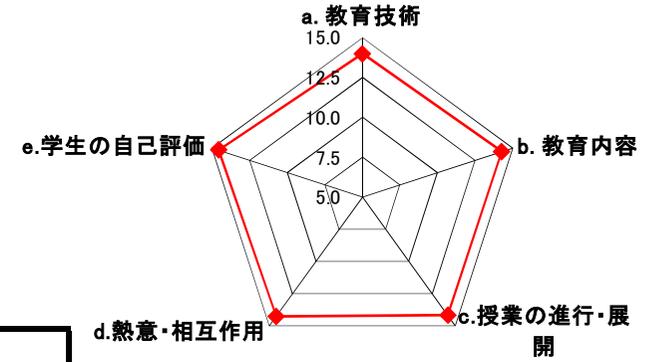
[00]

科目:赤十字国際活動論演習

担当者:

東浦 洋

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	3,314	13.06	2.34	11	14.00	1.28
b. 教育内容	3,312	12.95	2.49	11	14.27	1.21
c. 授業の進行・展開	3,312	13.40	2.11	11	14.18	1.34
d. 熱意・相互作用	3,300	13.23	2.27	11	14.27	1.21
e. 学生の自己評価	3,304	13.83	1.62	11	14.55	0.99



N=11

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 授業で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	6	5	0	0	0	0	4.55	0.50
② 授業では、黒板、OHP、ビデオ、スライドなどの使い方が効果的だった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
③ 教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45

b. 教育内容

④ 授業の内容はわかりやすかった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑤ 授業の内容は興味のあるものだった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑥ この授業は自分にとって価値があった。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39

c. 授業の進行・展開

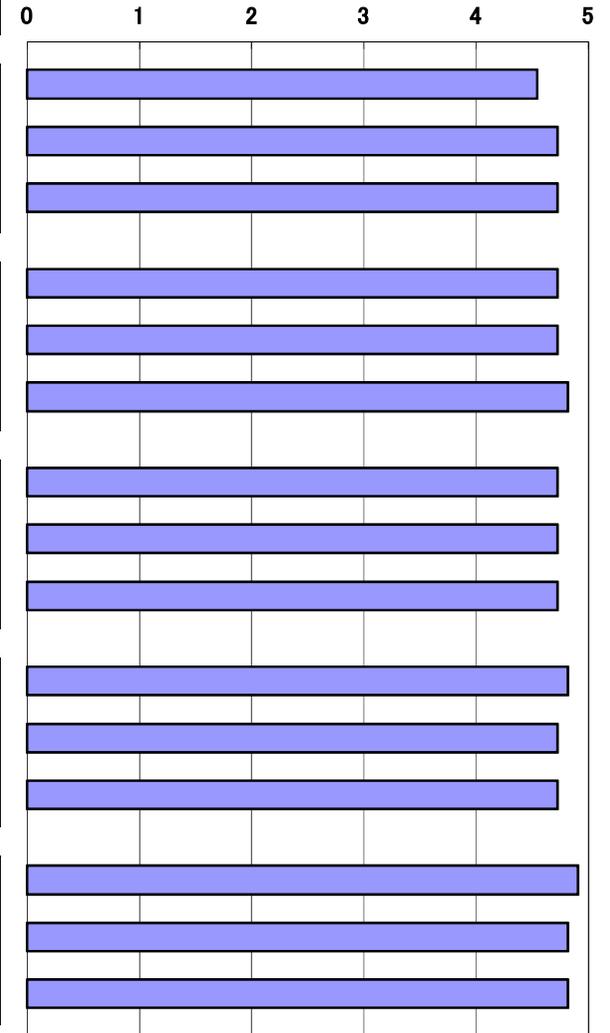
⑦ 授業は、正規の時間に始まり、終わった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑧ シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑨ 授業の進行速度は適切だった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	8	3	0	0	0	0	4.73	0.45

e. 学生の自己評価

⑬ 私の授業への出席率は((5)は9割以上、(4)は8~7割程度、(3)は6~5割程度、(2)は4割程度、(1)3割以下)だった。	10	1	0	0	0	0	4.91	0.29
⑭ 私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39
⑮ 私は授業の学びやすい環境作り(私語、携帯電話・メール、途中入退室をしない等)に協力した。	9	2	0	0	0	0	4.82	0.39



科目コード	1A0300	科目名	赤十字国際活動論演習	担当教員名	東浦 洋
-------	--------	-----	------------	-------	------

<教員からのコメント>

シラバス上の担当の先生のご都合から、突然私がピンチヒッターとしてこの演習を担当しました。担当が決まった時点では、スイスでの訪問先など何もアレンジされていない状況でした。そのため、出発前の準備に相当の時間を割かなければなりませんでした。事前学習を担当しないまま、皆さんを国際機関に訪問するのは、正直言って、少しばかり不安でした。また、シラバス上に記載されている所要額と相当の開きが生じたために、参加者が少なかったことは誠に残念でした。しかし、内容はシラバス以上のものになったと自負しております。

圧巻は、その場所で最初のジュネーブ条約が150年前に調印されたちょうどその日(8月22日)に、通常は内部に入ることさえ困難なアラバマホールを訪問し、儀典長から説明を聞くことができたことでした。余談を言えば、彼は、ジュネーブを訪れる世界の元首など要人だけを担当されるとのことでした。視界不良のユングフラウヨッホでは、皆さんの「アナ雪」パフォーマンスのおかげで、メンヒとユングフラウがその勇姿を見せましたね。何度か訪れたことのある私ですら、感動を覚えたものでした。

赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、世界保健機関、国連難民高等弁務官事務所、スイス赤十字での説明も熱意にあふれたものであったと思います。3年生を中心に「訪問記」をまとめていただきました。参加された方々の良き記念になるであろうと思いますし、今後の企画の参考になると思います。3月末にジュネーブに再訪した際に、この「訪問記」はスイス滞在中にお世話になった関係者の方々に手渡してきました。

今回の演習には山元先生と太田先生が同行していただき、種々お手伝いいただきました。この機会にお二人に謝意を表します。

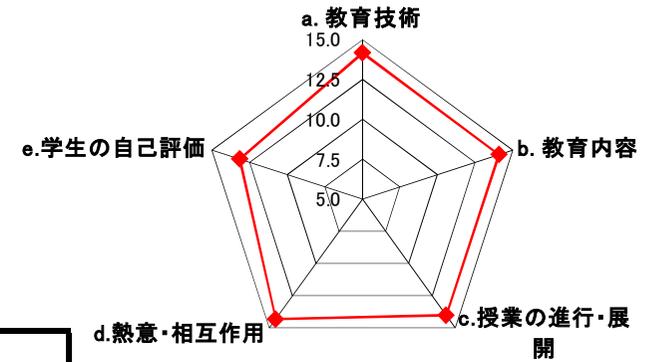
授業(演習)評価結果(2014年度後期)

履修者数	602	回収数	485	回収率	80.6%
------	-----	-----	-----	-----	-------

[00]

科目:
担当者:

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	484	14.18	1.48
b. 教育内容	484	14.08	1.63	484	14.08	1.63
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	483	14.02	1.59
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	485	14.33	1.41
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	480	13.16	2.41



N=485

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	367	105	12	1	0	0	4.73	0.51
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	372	92	20	0	0	1	4.72	0.57
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	373	91	18	3	0	0	4.72	0.56

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	370	92	21	1	0	1	4.71	0.59
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	359	100	19	5	1	1	4.67	0.65
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	358	104	21	0	1	1	4.68	0.61

c. 授業の進行・展開

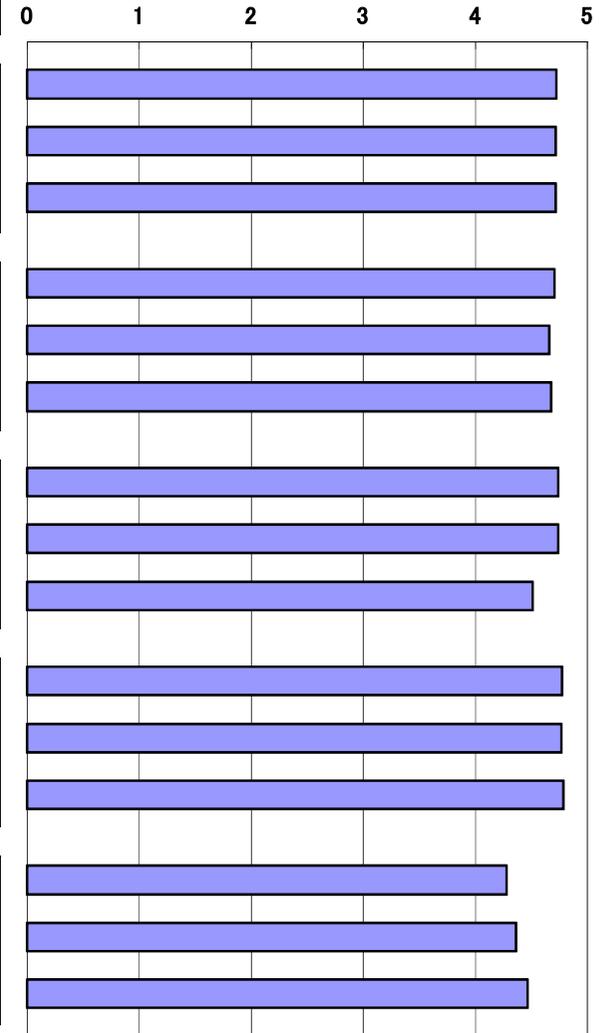
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	377	92	16	0	0	0	4.74	0.51
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	381	86	16	1	1	0	4.74	0.54
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	326	109	31	13	4	2	4.51	0.85

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	393	75	17	0	0	0	4.78	0.49
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	393	75	15	1	1	0	4.77	0.53
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	398	73	13	0	1	0	4.79	0.50

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	285	96	73	18	12	1	4.28	1.03
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	291	113	57	15	9	0	4.36	0.94
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	298	133	47	3	0	4	4.47	0.80



授業(演習)評価結果(2014年度後期)

履修者数	72	回収数	65	回収率	90.3%
------	----	-----	----	-----	-------

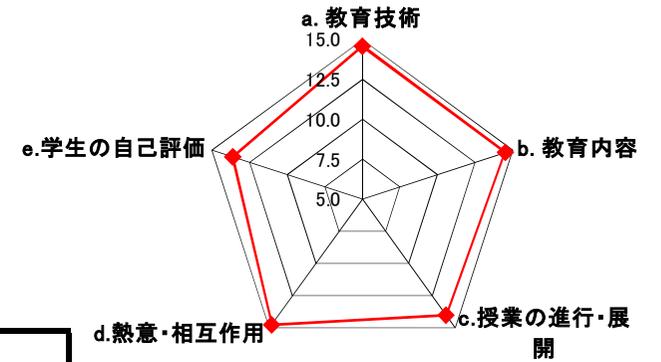
[00]

科目:看護技術論Ⅱ①

担当者:

樋口佳栄,田中孝美,吉田みつ子,殿城友紀,安島幹子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	47	14.60	1.08
b. 教育内容	484	14.08	1.63	47	14.49	1.24
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	47	14.02	1.41
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	47	14.74	0.98
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	47	13.62	2.21



N=65

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	39	7	1	0	0	0	4.81	0.44
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	45	1	1	0	0	0	4.94	0.32

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	43	2	2	0	0	0	4.87	0.44
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	38	7	2	0	0	0	4.77	0.51

c. 授業の進行・展開

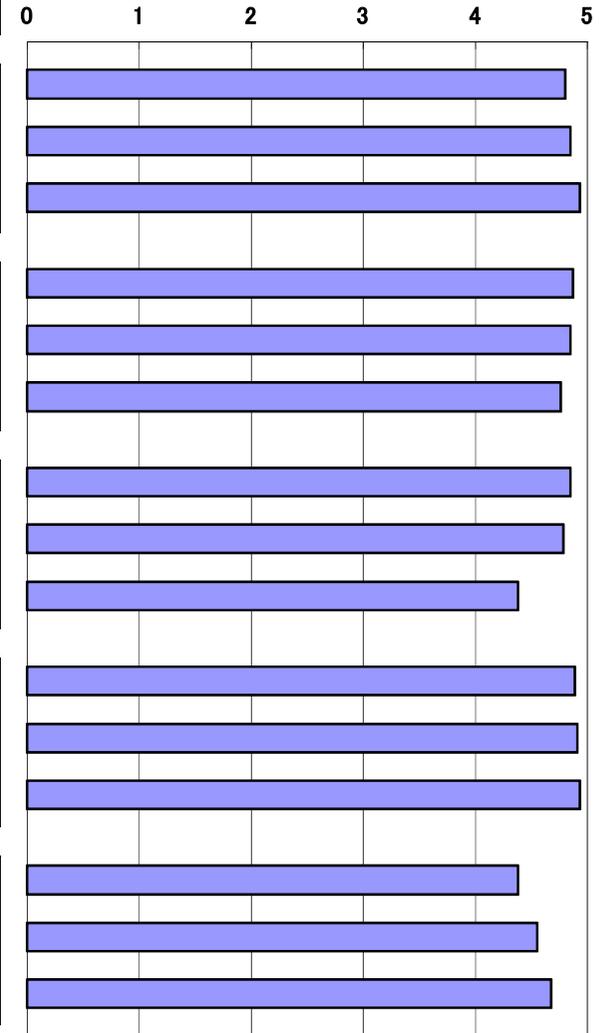
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	38	8	1	0	0	0	4.79	0.46
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	27	13	5	2	0	0	4.38	0.84

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	43	3	1	0	0	0	4.89	0.37
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	44	2	1	0	0	0	4.91	0.35
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	45	1	1	0	0	0	4.94	0.32

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	32	5	7	2	1	0	4.38	1.02
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	33	7	7	0	0	0	4.55	0.74
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	37	5	5	0	0	0	4.68	0.66



科目コード	1J0201	科目名	看護技術論Ⅱ①	担当教員名	樋口佳栄,田中孝美,吉田みつ子,殿城友紀,安島幹子
-------	--------	-----	---------	-------	---------------------------

<教員からのコメント>

たくさんのご意見をくださりありがとうございました。デモンストレーションから多くのことを学んでくださっていたようで教員としても励みになります。今後も以下のことについて努力を重ねたいと思っております。

1. 演習になるべく時間がかけられるように講義を工夫いたします。
2. 時間内に終われるように努力します。
3. より一層伝わりやすいデモンストレーションになるように工夫を重ねます。
4. 授業内での振り返りの時間をもう少しとれるように工夫します。

授業(演習)評価結果(2014年度後期)

履修者数	69	回収数	47	回収率	68.1%
------	----	-----	----	-----	-------

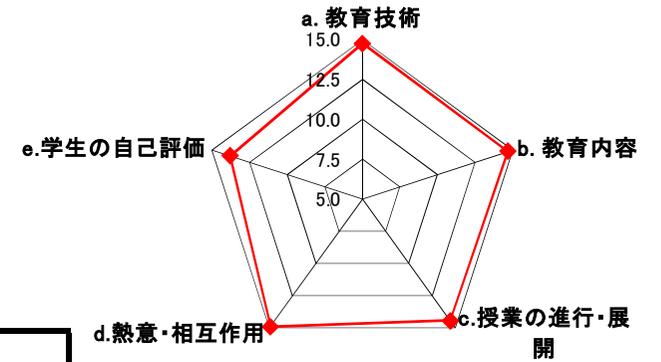
[00]

科目:看護技術論Ⅱ①

担当者:

樋口佳栄,田中孝美,吉田みつ子,殿城友紀,安島幹子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	47	14.77	0.72
b. 教育内容	484	14.08	1.63	47	14.68	0.83
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	47	14.45	0.96
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	47	14.89	0.47
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	47	13.79	2.05



N=63

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	45	2	0	0	0	0	4.96	0.20

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	43	4	0	0	0	0	4.91	0.28
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33

c. 授業の進行・展開

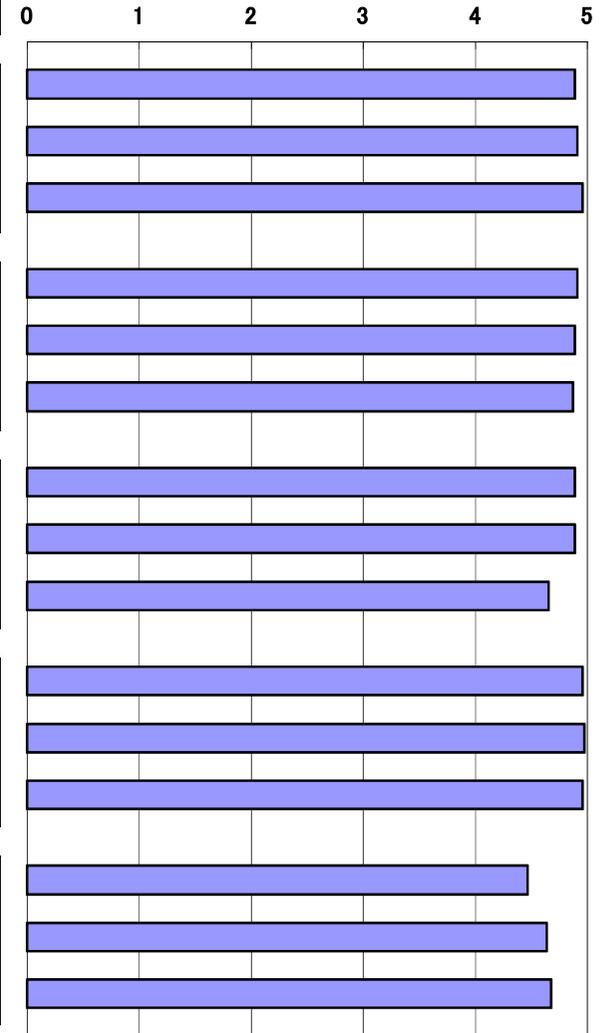
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	43	3	1	0	0	0	4.89	0.37
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	34	10	3	0	0	0	4.66	0.59

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	45	2	0	0	0	0	4.96	0.20
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	46	1	0	0	0	0	4.98	0.14
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	45	2	0	0	0	0	4.96	0.20

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	34	4	6	3	0	0	4.47	0.94
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	36	5	6	0	0	0	4.64	0.70
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	35	9	3	0	0	0	4.68	0.59



科目コード	1J0202	科目名	看護技術論Ⅱ①	担当教員名	樋口佳栄,田中孝美,吉田みつ子,殿城友紀,安島幹子
-------	--------	-----	---------	-------	---------------------------

<教員からのコメント>

たくさんご意見をくださりありがとうございました。デモンストレーションから多くのことを学んでくださったようで教員としても励みになります。今後も以下のことについて工夫と努力を重ねていきたいと考えています。

1. 演習になるべく時間をかけることができるよう講義を工夫いたします。
2. 時間内に終われるように努力いたします。
3. オフィスアワーでのアドバイスが不十分だったとのご意見をいただきました。よりの確なアドバイスが行えるよう教員間でも工夫いたします。

授業(演習)評価結果(2014年度後期)

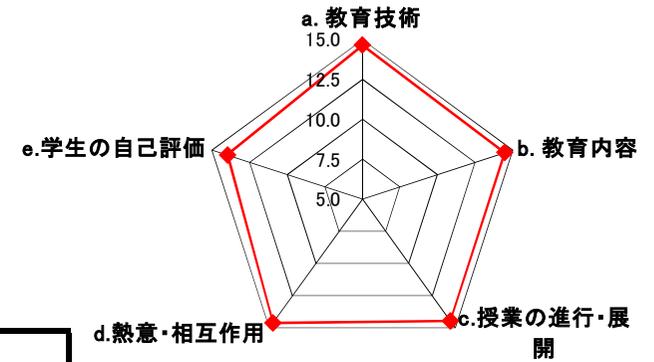
履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅲ②

担当者:

樋口佳栄,吉田みつ子,殿城友紀,田中孝美,川原由佳里,源川奈央子,安島幹子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	47	14.66	0.88
b. 教育内容	484	14.08	1.63	47	14.47	1.37
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	47	14.47	1.38
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	47	14.62	1.08
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	46	13.98	2.33



[00]

N=69

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	42	5	0	0	0	0	4.89	0.31
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	40	5	1	1	0	0	4.79	0.58
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43

c. 授業の進行・展開

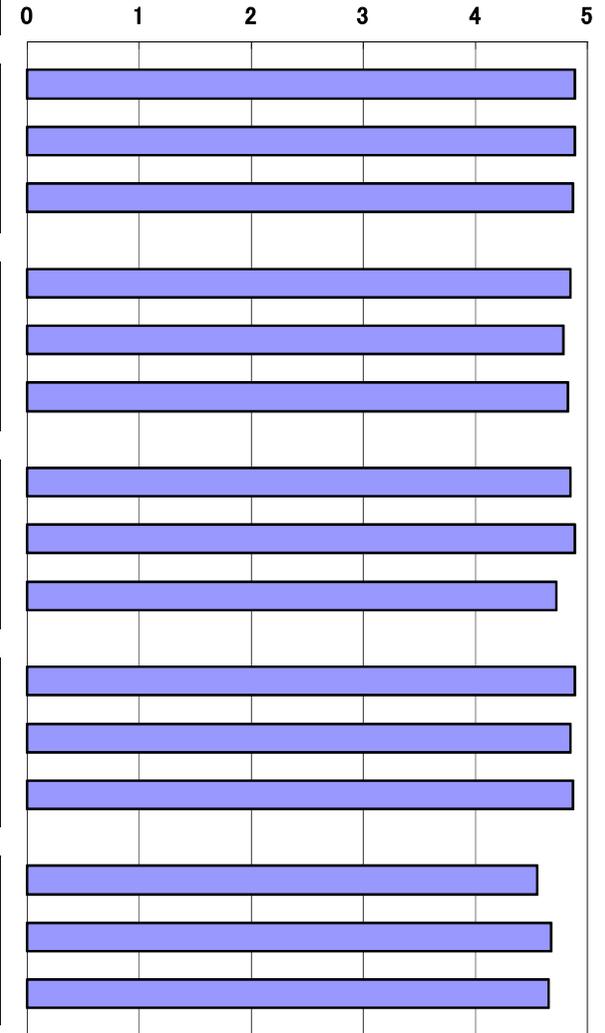
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	43	3	1	0	0	0	4.89	0.37
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	40	3	2	2	0	0	4.72	0.74

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	43	3	1	0	0	0	4.89	0.37
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	42	4	0	1	0	0	4.85	0.50
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	41	6	0	0	0	0	4.87	0.33

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	37	2	6	1	1	0	4.55	0.94
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	39	4	2	1	1	0	4.68	0.83
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	38	6	1	1	0	1	4.66	0.91



科目コード	1J0501	科目名	看護技術論Ⅲ②	担当教員名	樋口佳栄,吉田みつ子,殿城友紀,田中孝美,川原由佳里, 源川奈央子,安島幹子
-------	--------	-----	---------	-------	---

<教員からのコメント>

たくさんご意見をくださりありがとうございました。質問しやすかったなど学びやすい演習になっているところもあるようで教員としても励みになりました。率直なご要望も書いてくださりありがとうございました。今後も以下のことについて工夫を努力を重ねます。

1. 演習になるべく時間がかげられるように講義を工夫します。
2. デモンストレーションと演習で重点をおいているところが異なって感じられた場面もあったようです。ポイントが伝わるようにより一層工夫を重ねます。
3. 空き時間などに実習室がもっと気軽に使えるように検討いたします。

授業(演習)評価結果(2014年度後期)

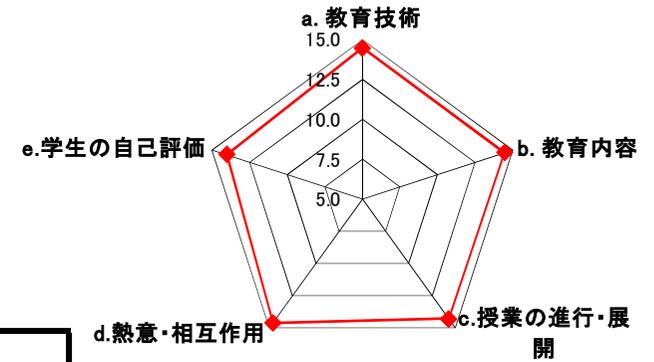
履修者数	69	回収数	47	回収率	68.1%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:看護技術論Ⅲ②

担当者:

樋口佳栄,吉田みつ子,殿城友紀,田中孝美,川原由佳里,源川奈央子,安島幹子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	47	14.49	1.29
b. 教育内容	484	14.08	1.63	47	14.45	1.25
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	47	14.30	1.29
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	47	14.62	1.18
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	46	14.02	1.73



[00]

N=60

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	41	5	1	0	0	0	4.85	0.41
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	37	9	1	0	0	0	4.77	0.47

c. 授業の進行・展開

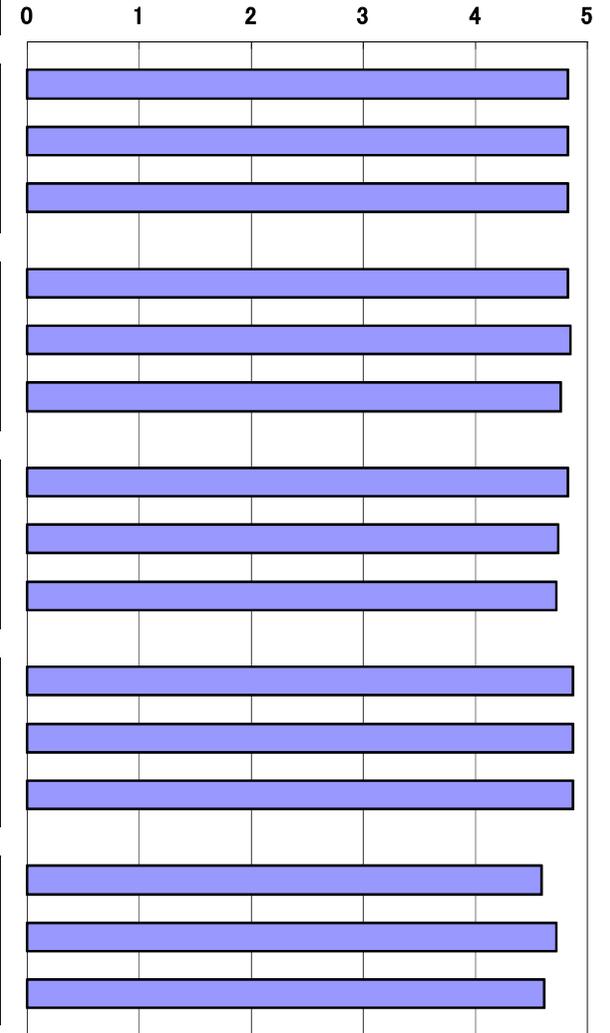
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	40	6	1	0	0	0	4.83	0.43
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	38	6	3	0	0	0	4.74	0.56
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	37	7	3	0	0	0	4.72	0.57

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	42	4	1	0	0	0	4.87	0.39

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	36	3	8	0	0	0	4.60	0.76
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	37	7	3	0	0	0	4.72	0.57
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	36	7	3	0	0	1	4.62	0.89



科目コード	1J0502	科目名	看護技術論Ⅲ②	担当教員名	樋口佳栄,吉田みつ子,殿城友紀,田中孝美,川原由佳里, 源川奈央子,安島幹子
-------	--------	-----	---------	-------	---

<教員からのコメント>

コメントから楽しく学んでくださったことが伝わってきて、教員としても励みになります。

いくつかご要望も書いてくださりありがとうございました。

今後も以下のことについて工夫と努力を重ねたいと考えております。

1. 演習になるべく時間がかけられるように、講義を工夫いたします。
2. 時間内に終われるように努力をいたします。
3. 実際の現場ではどのように行われているのかも知りたいというご意見も頂きました。リアルタイムで行われている方法にも触れながら授業できるように工夫いたします。

授業(演習)評価結果(2014年度後期)

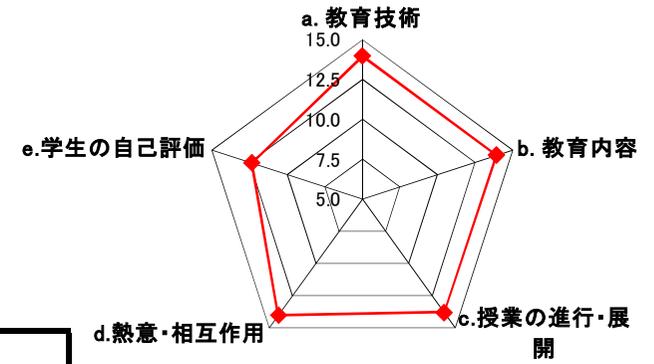
履修者数	72	回収数	47	回収率	65.3%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:健康レベル別看護学演習 I

担当者:

下村裕子丹羽淳子,和田美也子,住谷ゆかり,山本伊都子,梅田亜矢,餘目千史,川上明希

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	47	13.98	1.51
b. 教育内容	484	14.08	1.63	47	13.91	1.46
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	46	13.80	1.69
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	47	14.02	1.74
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	46	12.35	2.68



[00]

N=67

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	36	9	2	0	0	0	4.72	0.53
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	30	13	3	1	0	0	4.53	0.71

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	31	15	1	0	0	0	4.64	0.52
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	32	13	2	0	0	0	4.64	0.56
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	32	13	2	0	0	0	4.64	0.56

c. 授業の進行・展開

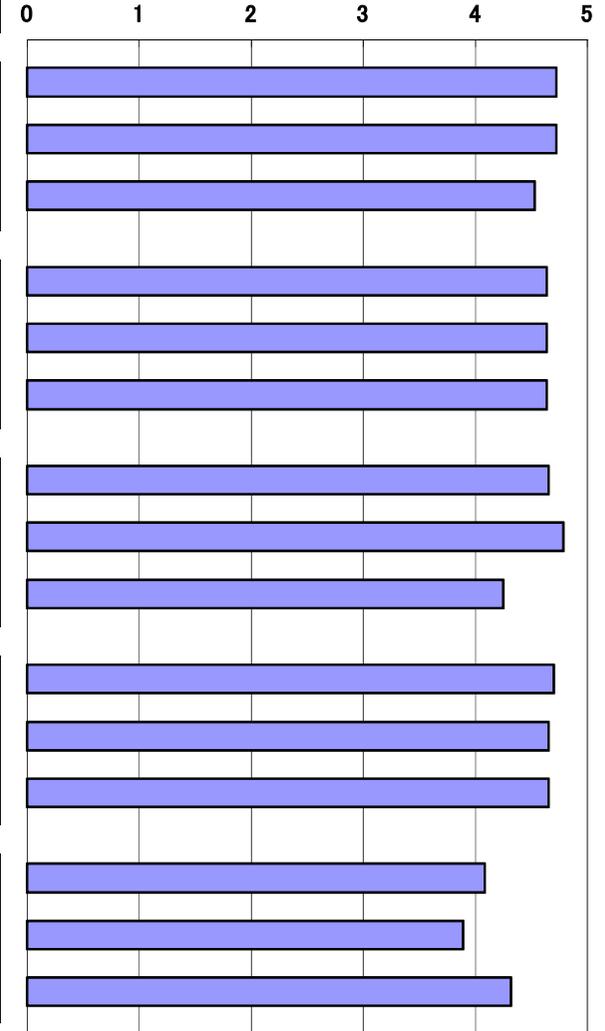
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	33	12	2	0	0	0	4.66	0.56
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	37	10	0	0	0	0	4.79	0.41
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	29	10	3	2	2	1	4.26	1.23

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	35	10	1	0	1	0	4.66	0.72
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	35	10	1	0	1	0	4.66	0.72

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	22	13	7	4	1	0	4.09	1.07
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	21	11	7	5	3	0	3.89	1.26
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	24	18	3	1	0	1	4.32	0.95



科目コード	1N0501	科目名	健康レベル別看護学演習 I	担当教員名	下村裕子,丹羽淳子,和田美也子,住谷ゆかり,山本伊都子, 梅田亜矢,餘目千史,川上明希
-------	--------	-----	---------------	-------	--

<教員からのコメント>

レベルⅡ実習の経験を踏まえ、積極的に技術演習に取り組んでもらえてよかったです。また、演習ですので、できるだけ少人数の学生で、多くの教員・指導者が関われるように努めていることが、学びにつながっているようでよかったですと思います。臨床の状況に近く、より実践的であることを目指しているため、応用的で複合的な演習が多かったことが、少し複雑だったのだと思いますが、その分、まとめ資料(復習できるプリント)が充実した内容になるように努力しました。活用してもらえたとのコメントをいただき、今後も頑張っ続けていきたいと思ひます。時間配分は、毎年計画した時間に実際の時間を記録して、翌年の時間配分に活かしていますが、演習中に時間が余っているグループと、コメントにあるように時間が不足していると感じている人がいることが現実のようです。引き続き効果的な時間配分になるように検討を続けていきます。授業評価およびコメントをありがとうございました。

授業(演習)評価結果(2014年度後期)

履修者数	74	回収数	47	回収率	63.5%
------	----	-----	----	-----	-------

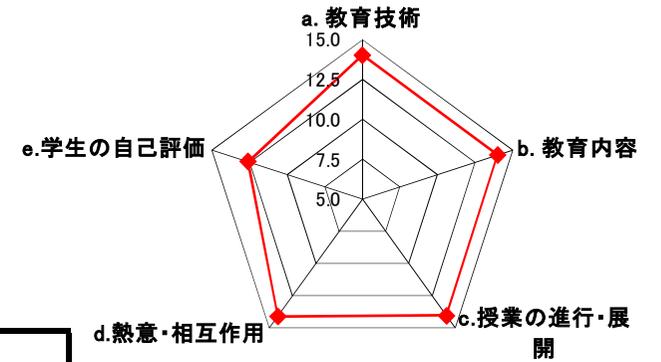
[00]

科目:健康レベル別看護学演習 I

担当者:

下村裕子,丹羽淳子,和田美也子,住谷ゆかり,山本伊都子,梅田亜矢,餘目千史,川上明希

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	47	14.04	1.34
b. 教育内容	484	14.08	1.63	47	13.98	1.47
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	47	14.04	1.47
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	47	14.11	1.39
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	47	12.60	2.60



N=74

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	33	14	0	0	0	0	4.70	0.46
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	33	12	1	1	0	0	4.64	0.63

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	30	15	1	1	0	0	4.57	0.64
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	34	12	1	0	0	0	4.70	0.50

c. 授業の進行・展開

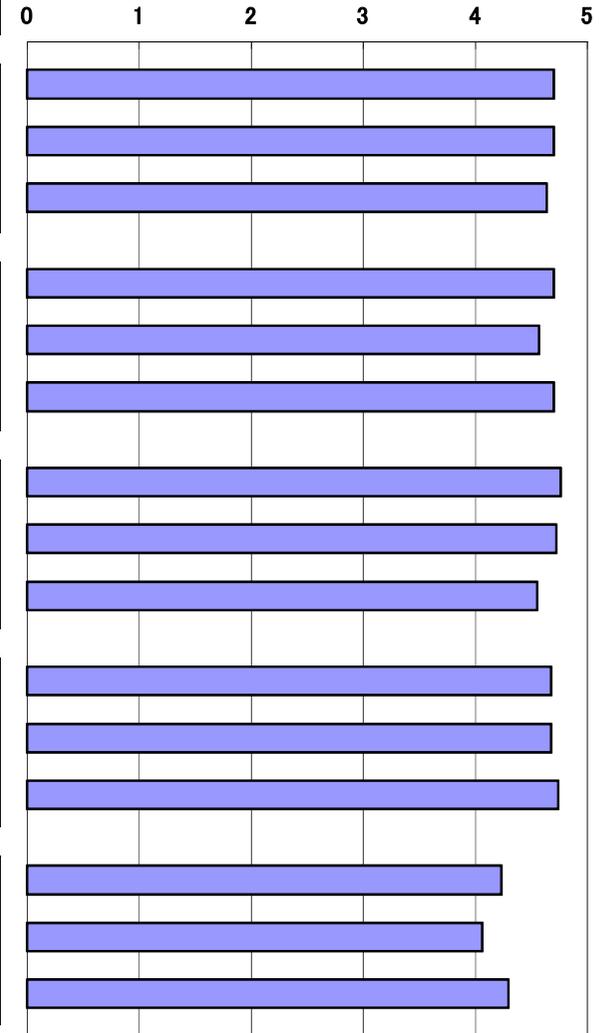
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	36	11	0	0	0	0	4.77	0.42
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	35	11	1	0	0	0	4.72	0.49
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	31	13	1	2	0	0	4.55	0.74

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	34	11	2	0	0	0	4.68	0.55
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	36	10	1	0	0	0	4.74	0.48

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	23	17	4	1	2	0	4.23	0.99
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	21	16	3	6	1	0	4.06	1.10
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	21	19	7	0	0	0	4.30	0.71



科目コード	1N0502	科目名	健康レベル別看護学演習 I	担当教員名	下村裕子,丹羽淳子,和田美也子,住谷ゆかり,山本伊都子, 梅田亜矢,餘目千史,川上明希
-------	--------	-----	---------------	-------	--

<教員からのコメント>

レベルⅡ実習の経験を踏まえ、積極的に技術演習に取り組んでもらえてよかったです。また、演習ですので、できるだけ少人数の学生で、多くの教員・指導者が関われるように努めていることが、学びにつながっているようでよかったですと思います。臨床の状況に近く、より実践的であることを目指しているため、応用的で複合的な演習が多かったことが、少し複雑だったのだと思いますが、その分、まとめ資料(復習できるプリント)が充実した内容になるように努力しました。活用してもらえたとのコメントをいただき、今後も頑張っけて続けて行きたいと思ひます。クラスBが4限・5限に配置されている件に対するコメントは理解できます。前期に2科目ある別の科目では、科目別にクラスABを逆転できるのですが、後期の1科目場合、科目途中でのチェンジは難しいのが現実です。レベルⅡ実習前に行いたかったというコメントも理解できます。学習の順序性には、いろいろな効果がありますので、このようなコメントをしてくださったことも、皆さんの成長の証のように思ひます。授業評価およびコメントをありがとうございました。

授業(演習)評価結果(2014年度後期)

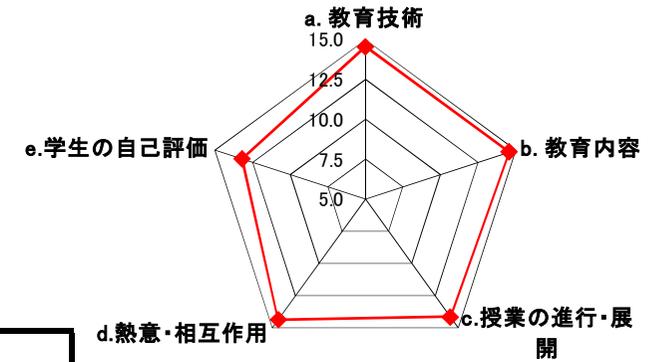
履修者数	28	回収数	21	回収率	75.0%
------	----	-----	----	-----	-------

科目:災害看護活動論Ⅱ

担当者:

小原真理子, 亀井 縁, 安島幹子

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	21	14.57	1.05
b. 教育内容	484	14.08	1.63	21	14.57	1.05
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	21	14.14	1.36
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	21	14.38	1.17
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	21	13.19	2.26



[00]

N=21

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35

c. 授業の進行・展開

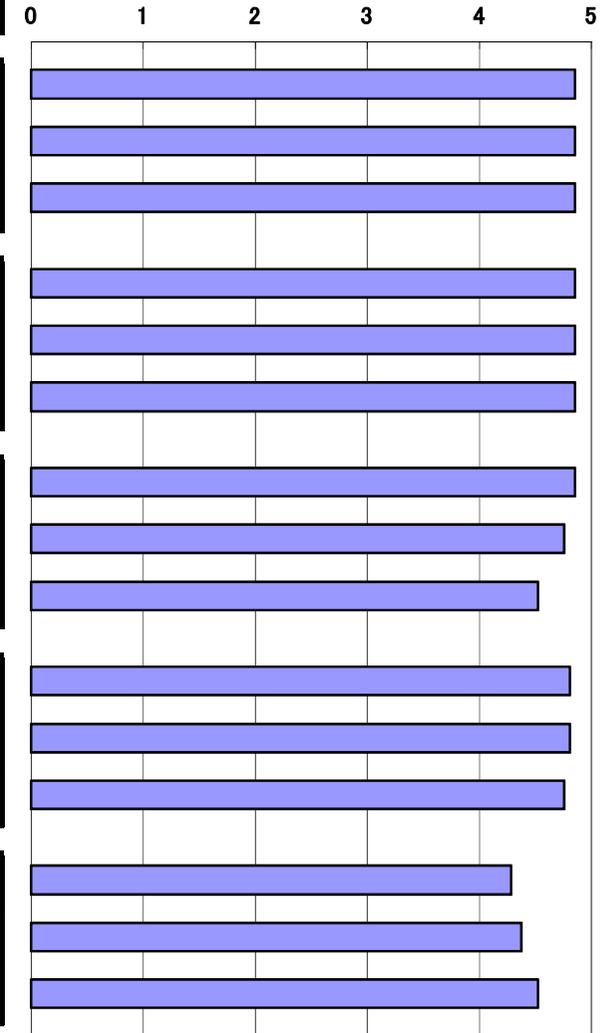
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	18	3	0	0	0	0	4.86	0.35
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	16	5	0	0	0	0	4.76	0.43
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	14	5	1	1	0	0	4.52	0.79

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	17	4	0	0	0	0	4.81	0.39
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	17	4	0	0	0	0	4.81	0.39
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	16	5	0	0	0	0	4.76	0.43

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	12	4	4	1	0	0	4.29	0.93
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	13	4	3	1	0	0	4.38	0.90
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	12	8	1	0	0	0	4.52	0.59



科目コード	1RO700	科目名	災害看護活動論II	担当教員名	小原真理子・亀井縁・安島幹子
-------	--------	-----	-----------	-------	----------------

<教員からのコメント>

- ・「災害とこころのケア」の演習科目は大変に高得点の評価でした。選択科目ですが、履修した学生の授業の学びや満足度が高かったと捉えています。
- ・具体的には、実際にあったこころのケアの事例を学生が状況分析・解釈し、具体的な場面に下したロールプレイや全体の演習を通して、被災者(遺族ケアを含む)のこころのケア、救援者のこころのケアなど、学びが大きかったと思います。学生のワークに同席し、状況の分析・解釈の深さに、感動さえ覚えたこともありました。
- ・毎回の授業で、被災による衝撃的な事実や状況に「こころ」が動揺したが、それを学びとして受け留めていると記載がありました。そのことは、グループでの取り組み(ディブリーフィング)等を通して、話し合いの内容が深まったからこそと理解しています。今後の学習に活かされることを期待しています。

授業(演習)評価結果(2014年度後期)

履修者数	67	回収数	19	回収率	28.4%
------	----	-----	----	-----	-------

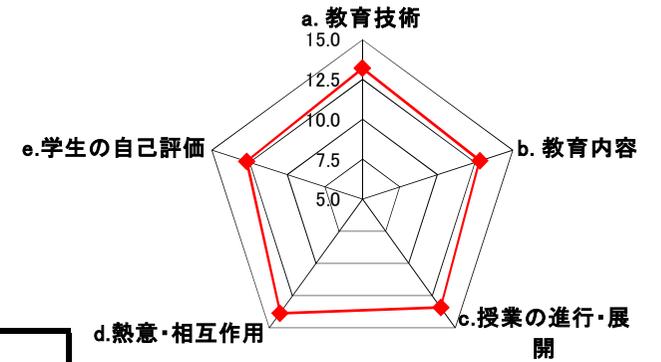
[00]

科目: 研究方法論Ⅱ

担当者:

谷津裕子, 遠藤公久, 坂口千鶴, 川名
る, 安部陽子, 山崎裕二, 岡本菜穂
子, 齋藤英子, 藤田淳子, 堀井湖浪

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	19	13.21	1.54
b. 教育内容	484	14.08	1.63	19	12.79	2.02
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	19	13.42	1.79
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	19	13.84	1.35
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	19	12.68	2.45



N=19

強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	9	10	0	0	0	0	4.47	0.50
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	9	8	2	0	0	0	4.37	0.67
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	7	12	0	0	0	0	4.37	0.48

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	7	10	1	1	0	0	4.21	0.77
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	8	8	3	0	0	0	4.26	0.71
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	8	9	2	0	0	0	4.32	0.65

c. 授業の進行・展開

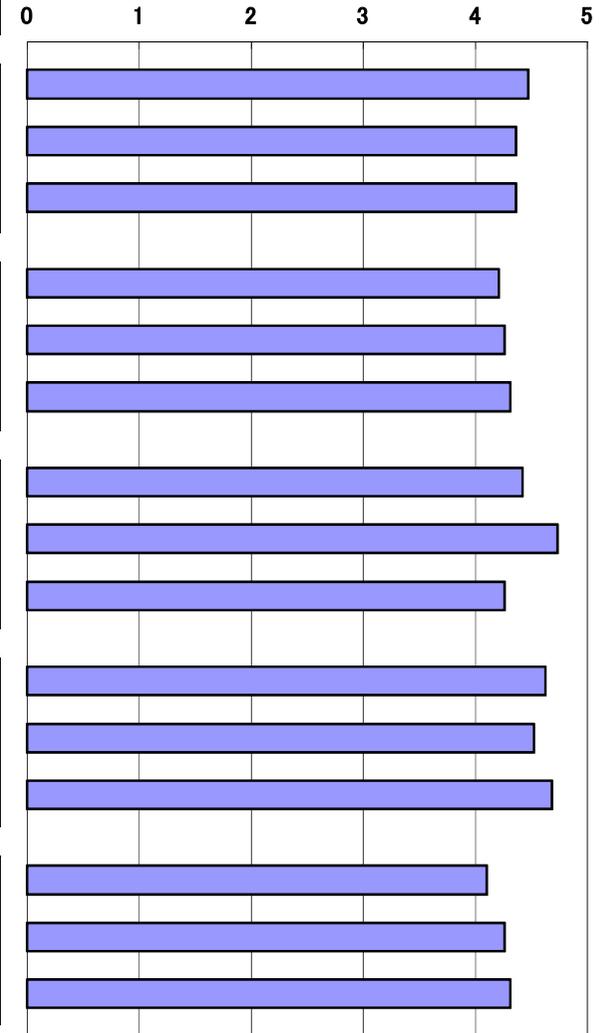
⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	9	9	1	0	0	0	4.42	0.59
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	14	5	0	0	0	0	4.74	0.44
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	10	6	2	0	1	0	4.26	1.02

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	12	7	0	0	0	0	4.63	0.48
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	10	9	0	0	0	0	4.53	0.50
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	13	6	0	0	0	0	4.68	0.46

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	8	8	1	1	1	0	4.11	1.07
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	9	8	1	0	1	0	4.26	0.96
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	8	9	2	0	0	0	4.32	0.65



科目コード	1T0201	科目名	研究方法論Ⅱ(クラスA)	担当教員名	谷津・遠藤・坂口・川名・安部・山崎・岡本(菜)・齋藤・藤田・堀井
-------	--------	-----	--------------	-------	----------------------------------

<教員からのコメント>

【良かった点】

・少人数のグループ学習であったために分からないことを補いながら取り組むことができたこと、担当教員の丁寧な指導により納得しながら演習できたこと、研究計画書作成の説明やマニュアルが分かりやすかったこと、次年度の卒業研究のために役立ったことなどが挙げられていました。来年度もこれらの点を踏襲して進めていきたいと思いません。

【改善すべき点】

- ・演習時間が短く、特に第1回目の提出までの時間が足りないことが挙げられていました。来年度は時間割を工夫したいと思います。
- ・グループの中に熱心に取り組む人とそうでない人とがおり不公平だと感じたという声がありました。個人の取り組みを反映できるよう、今年度はグループワーク(研究計画書)評価と個人(筆記試験)評価の2本立て評価に変更したのですが、それでもやはりグループワークでの取り組み状況が評価に反映されにくいことが課題です。来年度は個人の取り組みが反映できるような評価方法を取り入れられるよう検討します。
- ・教員により指導内容が異なる場合があること、指示内容が不明瞭な教員がおり連絡係を十分活用しにくい状況があったことが指摘されました。来年度は教員間で基本的ルールを確認し、統一性のある指導ができるよう努めます。
- ・卒論発表会と授業が重なり、聴講できなかった発表があったことが残念だったというコメントがありました。時間割上難しい点もあるのですが、卒業発表会に参加した皆さんの感想文からは非常によい学びができたことがわかりましたので、できる限り先輩の発表が聞けるように時間割を調整していきたいと思いません。

【メッセージ】

・はじめて研究計画書を作成した学生にとって戸惑いが多かったと思います。繰り返しの学習と実践が大切です。4年次の研究Ⅰ・Ⅱで学習する、優れた研究論文を多数読むなどして、研究方法論Ⅰ・Ⅱでの学びを定着させましょう。

授業(演習)評価結果(2014年度後期)

履修者数	79	回収数	47	回収率	59.5%
------	----	-----	----	-----	-------

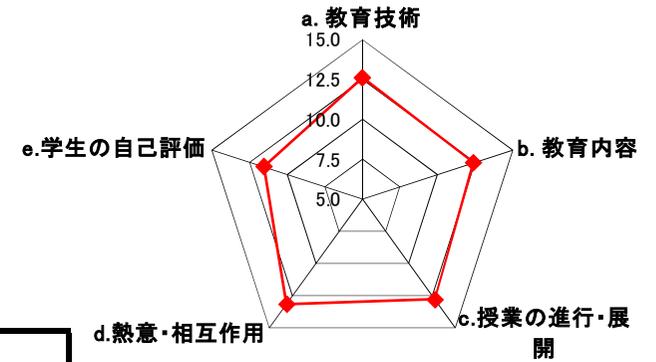
[00]

科目: 研究方法論Ⅱ

担当者:

谷津裕子, 遠藤公久, 坂口千鶴, 川名
る, 安部陽子, 山崎裕二, 岡本菜穂
子, 齋藤英子, 藤田淳子, 堀井湖浪

	全体			有効数	平均得点	標準偏差
	有効数	平均得点	標準偏差			
a. 教育技術	484	14.18	1.48	46	12.63	2.04
b. 教育内容	484	14.08	1.63	46	12.39	2.33
c. 授業の進行・展開	483	14.02	1.59	46	12.80	2.22
d. 熱意・相互作用	485	14.33	1.41	47	13.15	2.05
e. 学生の自己評価	480	13.16	2.41	46	11.57	2.59



N=47

強く 思う	そう 思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均	標準偏差
5点	4点	3点	2点	1点			

a. 教育技術

① 演習で使われたテキスト、配付資料などは授業の理解に役立った。	17	24	5	1	0	0	4.21	0.71
② 演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	15	21	10	0	0	1	4.02	0.93
③ 教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	21	20	5	1	0	0	4.30	0.74

b. 教育内容

④ 技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	18	18	10	0	0	1	4.09	0.96
⑤ 演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	15	21	7	2	1	1	3.94	1.08
⑥ 実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	19	19	7	0	1	1	4.11	1.04

c. 授業の進行・展開

⑦ 学生への指示・安全への配慮は適切だった。	22	18	7	0	0	0	4.32	0.72
⑧ 演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	23	16	7	0	1	0	4.28	0.87
⑨ 演習の時間配分は適切だった。	21	16	7	1	1	1	4.11	1.10

d. 熱意・相互作用

⑩ 教員の熱意が伝わってきた。	25	15	7	0	0	0	4.38	0.73
⑪ 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況であった。	24	16	7	0	0	0	4.36	0.73
⑫ 教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	25	16	6	0	0	0	4.40	0.70

e. 学生の自己評価

⑬ 私は事前学習をして演習に臨んだ。	10	20	12	2	2	1	3.66	1.12
⑭ 私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	10	24	10	1	2	0	3.83	0.93
⑮ 私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	14	18	14	1	0	0	3.96	0.82



科目コード	1T0202	科目名	研究方法論Ⅱ(クラスB+編入生)	担当教員名	谷津・遠藤・坂口・川名・安部・山崎・岡本(菜)・齋藤・藤田・堀井
-------	--------	-----	------------------	-------	----------------------------------

<教員からのコメント>

【良かった点】

・少人数のグループ学習であったために分からないことを補いながら取り組むことができたこと、担当教員の丁寧な指導により納得しながら演習できたこと、研究計画書作成の説明やマニュアルが分かりやすかったこと、次年度の卒業研究のために役立ったことなどが挙げられていました。来年度もこれらの点を踏襲して進めていきたいと思いません。

【改善すべき点】

- ・演習時間が短く、特に第1回目の提出までの時間が足りないことが挙げられていました。来年度は時間割を工夫したいと思います。
- ・グループの中に熱心に取り組む人とそうでない人とがおり不公平だと感じたという声がありました。個人の取り組みを反映できるよう、今年度はグループワーク(研究計画書)評価と個人(筆記試験)評価の2本立て評価に変更したのですが、それでもやはりグループワークでの取り組み状況が評価に反映されにくいことが課題です。来年度は個人の取り組みが反映できるような評価方法を取り入れられるよう検討します。
- ・教員により指導内容が異なる場合があること、指示内容が不明瞭な教員がおり連絡係を十分活用しにくい状況があったことが指摘されました。来年度は教員間で基本的ルールを確認し、統一性のある指導ができるよう努めます。
- ・卒論発表会と授業が重なり、聴講できなかった発表があったことが残念だったというコメントがありました。時間割上難しい点もあるのですが、卒業発表会に参加した皆さんの感想文からは非常によい学びができたことがわかりましたので、できる限り先輩の発表が聞けるように時間割を調整していきたいと思いません。

【メッセージ】

・はじめて研究計画書を作成した学生にとって戸惑いが多かったと思います。繰り返しの学習と実践が大切です。4年次の研究Ⅰ・Ⅱで学習する、優れた研究論文を多数読むなどして、研究方法論Ⅰ・Ⅱでの学びを定着させましょう。

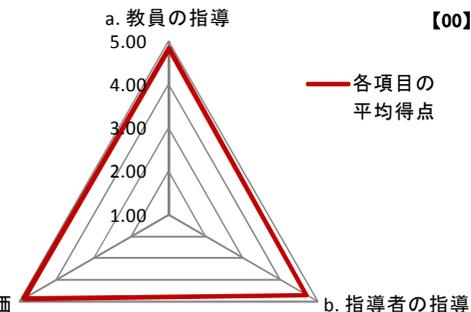
授業(実習)評価結果(2014年度レベル I 実習)

配布数	142	回収数	133	回収率	93.7%
-----	-----	-----	-----	-----	-------

科目:看護援助論実習(レベル I)

担当者:守田美奈子、他

	全体			有効数	平均得点	標準偏差	各項目の平均得点
	有効数	平均得点	標準偏差				
a. 教員の指導	133	28.96	2.05	133	28.96	2.05	4.83
b. 指導者の指導	133	23.50	2.78	133	23.50	2.78	4.70
c. 学生の自己評価	133	14.62	0.92	133	14.62	0.92	4.87



N=133

	強く そう思う	そう思う	どちらとも いえない	そうは 思わない	全くそうは 思わない	不明	平均得点		標準偏差	
	5点	4点	3点	2点	1点		担当者	科目全体	担当者	科目全体

a. 教員の指導

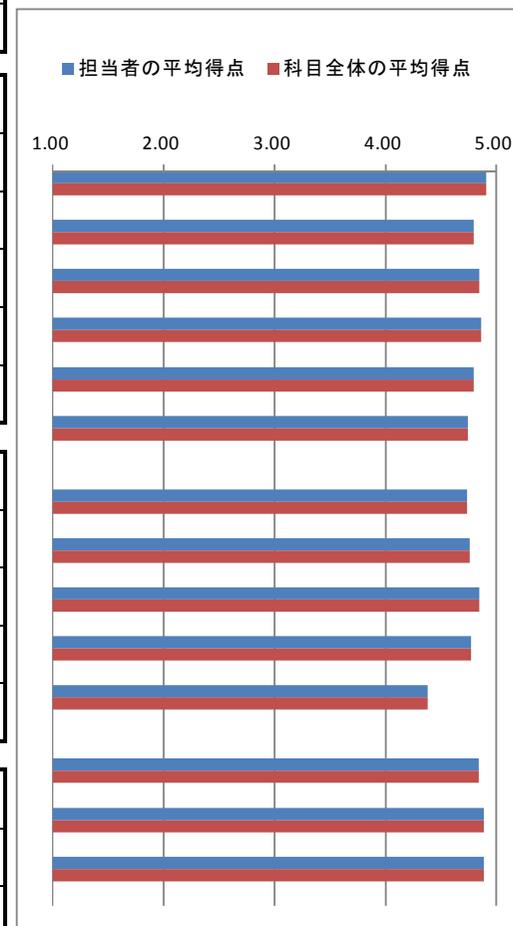
① 教員は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	122	10	1	0	0	0	4.91	4.91	0.31	0.31
② 教員は、学生の大学での学びを理解して助言していた。	112	17	2	2	0	0	4.80	4.80	0.53	0.53
③ 教員の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	116	14	3	0	0	0	4.85	4.85	0.42	0.42
④ 教員は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた	119	11	2	1	0	0	4.86	4.86	0.44	0.44
⑤ 教員は、相談しやすい雰囲気があった。	112	15	6	0	0	0	4.80	4.80	0.50	0.50
⑥ 教員と実習指導者の連携がとれていた。	104	24	5	0	0	0	4.74	4.74	0.52	0.52

b. 指導者の指導

⑦ 実習指導者は、学生の理解や反応をみながら指導していた。	107	20	4	1	1	0	4.74	4.74	0.62	0.62
⑧ 実習指導者は、受け持ち患者の状況を的確にとらえ助言していた。	108	20	4	0	1	0	4.76	4.76	0.58	0.58
⑨ 実習指導者の助言は、実習目標の到達に活かせるものであった。	118	12	2	0	1	0	4.85	4.85	0.50	0.50
⑩ 実習指導者は、学生の考えを尊重しながら、指導にあっていた。	110	18	4	0	1	0	4.77	4.77	0.57	0.57
⑪ 実習指導者は、相談しやすい雰囲気があった。	81	29	17	5	1	0	4.38	4.38	0.90	0.90

c. 学生の自己評価

⑫ 学生は、主体的・積極的に実習に取り組んだ。	115	15	3	0	0	0	4.84	4.84	0.42	0.42
⑬ 学生は、グループメンバー同士で学びを深めることができた。	122	7	4	0	0	0	4.89	4.89	0.40	0.40
⑭ 学生は、実習目標に到達できるように努力した。	119	13	1	0	0.0	0.0	4.89	4.89	0.34	0.34



科目コード	1S0100	科目名	看護援助論実習(レベルⅠ)	担当教員名	守田美奈子、他
-------	--------	-----	---------------	-------	---------

<教員からのコメント>

実習指導に関して、皆さんからは概ね高い評価を頂いていると判断致しました。ただし、教員と臨床指導者の連携が不十分であったり、指導者の指導の在り方に関して課題も残るところもありました。実習での学びは、受け持ち患者の状況や病棟全体の雰囲気、指導体制、教員および臨床実習指導者の指導の仕方等、様々な要因が絡み合っ生まれてくると思われます。1年生の皆さんにとって初めての体験が多いので、その点を十分に配慮しながら、実習での学びが豊かになるよう、今後も実習指導体制をより整えられるよう努力していききたいと思います。